

UF<sub>6</sub>蒸発・加水分解設備 ①  
(転換加工室)

符号	機器名	変更内容
1-1	UO <sub>2</sub> F <sub>2</sub> 貯槽(1)-A	改造
1-2	UO <sub>2</sub> F <sub>2</sub> 貯槽(2)-A	改造
1-3	UO <sub>2</sub> F <sub>2</sub> 貯槽(1)-B	改造
1-4	UO <sub>2</sub> F <sub>2</sub> 貯槽(2)-B	改造
1-5	UO <sub>2</sub> F <sub>2</sub> 貯槽(1)-C	改造
1-6	UO <sub>2</sub> F <sub>2</sub> 貯槽(2)-C	改造
1-7	熱交換器(UO <sub>2</sub> F <sub>2</sub> 貯槽)(1)	改造
1-8	熱交換器(UO <sub>2</sub> F <sub>2</sub> 貯槽)(2)	改造
1-9	飛散防止カバー(1)	新設
1-10	飛散防止カバー(2)	新設
1-11	液受槽(1)	改造
1-12	液受槽(2)	改造
1-13	調液貯槽(1)-A	改造
1-14	調液貯槽(2)-A	改造
1-15	調液貯槽(1)-B	改造
1-16	調液貯槽(2)-B	改造
1-17	熱交換器(調液貯槽)(1)	改造
1-18	熱交換器(調液貯槽)(2)	改造
1-19	堰(UO <sub>2</sub> F <sub>2</sub> 貯槽)(1)	新設
1-20	堰(UO <sub>2</sub> F <sub>2</sub> 貯槽)(2)	新設

沈殿設備 ②  
(転換加工室)

符号	機器名	変更内容
2-1	沈殿槽(1)-A	改造
2-2	沈殿槽(2)-A	改造
2-3	沈殿槽(1)-B	改造
2-4	沈殿槽(2)-B	改造
2-5	熟成槽(1)-A	改造
2-6	熟成槽(2)-A	改造
2-7	熟成槽(1)-B	改造
2-8	熟成槽(2)-B	改造
2-9	熟成槽(1)-C	改造
2-10	熟成槽(2)-C	改造
2-11	熟成槽(1)-D	改造
2-12	熟成槽(2)-D	改造
2-13	熟成槽(1)-E	改造
2-14	熟成槽(2)-E	改造
2-15	堰(液貯槽)(1)	新設
2-16	堰(液貯槽)(2)	新設
2-17	加水設備共通架台	改造

洗浄設備 ③  
(転換加工室)

符号	機器名	変更内容
3-1	遠心分離機(洗浄用)(1)	改造
3-2	遠心分離機(洗浄用)(2)	改造
3-3	洗浄槽(1)-A	改造
3-4	洗浄槽(2)-A	改造
3-5	洗浄槽(1)-B	改造
3-6	洗浄槽(2)-B	改造
3-7	洗浄槽(1)-C	改造
3-8	洗浄槽(2)-C	改造
3-9	洗浄槽(1)-D	改造
3-10	洗浄槽(2)-D	改造
3-11	洗浄ろ液分離槽(1)	改造
3-12	洗浄ろ液分離槽(2)	改造
3-13	堰(洗浄槽)	新設
3-14	洗浄設備共通架台(1)	改造
3-15	洗浄設備共通架台(2)	改造

名 称 化学処理施設  
機器配置図

図 番 図イ配-1(12/15)  
工場棟  
転換工場

固液分離設備 ④  
(転換加工室)

符号	機器名	変更内容
4-1	遠心分離機(固液分離用)(1)	改造
4-2	遠心分離機(固液分離用)(2)	改造
4-3	ろ液分離槽(1)-A	改造
4-4	ろ液分離槽(2)-A	改造
4-5	ろ液分離槽(1)-B	改造
4-6	ろ液分離槽(2)-B	改造
4-7	仕上げる過機(1)	改造
4-8	仕上げる過機(2)	改造
4-9	濃縮液受槽(1)	改造
4-10	濃縮液受槽(2)	改造
4-11	清澄液受槽(1)-A	改造
4-12	清澄液受槽(2)-A	改造
4-13	清澄液受槽(1)-B	改造
4-14	清澄液受槽(2)-B	改造
4-15	清澄液受槽(1)-C	改造
4-16	清澄液受槽(2)-C	改造
4-17	再生液貯槽(1)-A	改造
4-18	再生液貯槽(2)-A	改造
4-19	再生液貯槽(1)-B	改造
4-20	再生液貯槽(2)-B	改造
4-21	再生液貯槽(1)-C	改造
4-22	再生液貯槽(2)-C	改造
4-23	洗浄液受槽(1)	改造
4-24	洗浄液受槽(2)	改造
4-25	ろ過器(転換工程)(1)-A	改造
4-26	ろ過器(転換工程)(2)-A	改造
4-27	ろ過器(転換工程)(1)-B	改造
4-28	ろ過器(転換工程)(2)-B	改造

乾燥設備 ⑤  
(転換加工室)

符号	機器名	変更内容
5-1	予備成型乾燥機(1)	改造
5-2	予備成型乾燥機(2)	改造
5-3	乾燥機(1)	改造
5-4	乾燥機(2)	改造
5-5	粉末回収ボックス(1)-A	改造
5-6	粉末回収ボックス(2)-A	改造
5-7	粉末回収ボックス(1)-B	改造
5-8	粉末回収ボックス(2)-B	改造
5-9	粉末回収ボックス(1)-C	改造
5-10	粉末回収ボックス(2)-C	改造
5-11	ADUスクラバ(1)	改造
5-12	ADUスクラバ(2)	改造
5-13	ADUプロータータンク(1)	改造
5-14	ADUプロータータンク(2)	改造
5-15	ADU受けホッパー(1)	改造
5-16	ADU受けホッパー(2)	改造
5-17	ADUバグフィルター(1)	改造
5-18	ADUバグフィルター(2)	改造
5-19	ADUバックアップフィルター(1)	改造
5-20	ADUバックアップフィルター(2)	改造
5-21	堰(ADUスクラバ)(1)	改造
5-22	堰(ADUスクラバ)(2)	改造

焙焼還元設備 ⑥  
(転換加工室)

符号	機器名	変更内容
6-1	リサイクル粉搬送装置(1)	改造
6-2	リサイクル粉搬送装置(2)	変更なし
6-3	リサイクル粉投入ボックス(1)	改造
6-4	リサイクル粉投入ボックス(2)	改造
6-5	リサイクル粉受けホッパー(1)	改造
6-6	リサイクル粉受けホッパー(2)	改造
6-7	ポリユーマ(1)	改造
6-8	ポリユーマ(2)	改造
6-9	ロータリーキルン(1)	改造
6-10	ロータリーキルン(2)	改造
6-11	ダストチャンバ(1)	変更なし
6-12	ダストチャンバ(2)	変更なし
6-13	ガスヒータ(1)	改造
6-14	ガスヒータ(2)	改造
6-15	ADU設備共通架台(1)	改造
6-16	ADU設備共通架台(2)	改造

名 称 化学処理施設

図 番 図イ配-1(13/15)

機器配置図

工場棟  
転換工場

混合設備 ⑦  
(転換加工室)

符号	機器名	変更内容
7-1	大型混合装置	改造
7-2	サンブラ(1)	改造
7-3	サンブラ(2)	改造
7-4	バックアップフィルタ(サンブラ)	改造
7-5	回転混合機(金属容器(粉末)混合)	改造
7-6	サンプリング台	改造

濃縮度混合設備 ⑧

(転換加工室)

符号	機器名	変更内容
8-1	粉碎機	改造
8-2	粉末輸送装置②	改造
8-3	バックアップフィルタ(粉末輸送装置②)	改造
8-4	粉末充填ボックス	改造
8-5	粉末放出しボックス	改造
8-6	濃縮度混合工程用クレーン	改造
8-7	粉末輸送装置①ホッパ部①	改造 <sup>*1</sup>
8-8	バグフィルタ(粉末輸送装置①)	改造
8-9	粉末回収ボックス	変更なし
8-10	バックアップフィルタ(粉末輸送装置①)	改造

濃縮度混合設備 ⑧  
(転換加工室)

符号	機器名	変更内容
8-11	混合装置	改造
8-12	粉末梱包機	改造
8-13	充填装置	改造
8-14	粉末輸送装置①ホッパ部②	改造
8-15	粗成型用プレス	改造
8-16	スラグコンベア	改造
8-17	粉末集塵装置	改造
8-18	バックアップフィルタ(粉末集塵装置)	改造
8-19	造粒機	改造
8-20	アンダーサイズ粉受器	変更なし
8-21	小分け装置	変更なし
8-22	リフタ	改造
8-23	濃縮設備共通架台	改造
8-24	造粒設備共通架台	改造

ウラン回収設備(第1系列) ⑨

(転換加工室)

符号	機器名	変更内容
9-1	原料フードボックス	改造
9-2	溶解槽	改造
9-3	遠心ろ過機	改造
9-4	溶解液受槽	改造
9-5	ろ過器(1)-A	変更なし
9-6	ろ過器(1)-B	変更なし
9-7	沈殿槽	改造
9-8	遠心分離機	改造
9-9	乾燥機	改造
9-10	洗浄液受けポット	改造
9-11	ろ液受槽(1)	改造

ウラン回収設備(第1系列) ⑩  
(転換加工室)

符号	機器名	変更内容
9-12	ろ過器(2)	変更なし
9-13	箱形乾燥機(1)	改造 <sup>*1</sup>
9-14	箱形乾燥機(2)	改造 <sup>*1</sup>
9-15	明け替えフードボックス①	改造 <sup>*1</sup>
9-16	バックアップフィルタ(明け替えフードボックス)①	改造 <sup>*1</sup>
9-17	pH調整槽(1)	改造
9-18	pH調整槽(2)	改造
9-19	ろ過機(廃液用)	改造
9-20	ろ過器(3)	新設
9-21	ろ液受槽(2)	改造
9-22	堰(ウラン回収第1系列)	新設
9-23	解砕機	改造
9-24	輸送装置	改造
9-25	バックアップフィルタ(輸送装置)	改造 <sup>*1</sup>
9-26	仮焼炉	改造
9-27	粉末受けホッパ	改造
9-28	精製共通架台	改造
9-29	流動仮焼炉共通架台	改造

\*1：既設を撤去し、新規に製作し設置する。

名	化学処理施設	
称	機器配置図	
図	図イ配-1(14/15)	工場棟
番		転換工場

ウラン回収設備(第2系列) ⑩  
(廃棄物処理室)

符号	機器名	変更内容
10-1	イオン交換装置(吸着塔)(1)	改造
10-2	イオン交換装置(吸着塔)(2)	改造
10-3	イオン交換装置(吸着塔)(3)	改造
10-4	イオン交換装置(吸着塔)(4)	改造
10-5	イオン交換装置(吸着塔)(5)	改造
10-6	イオン交換装置(吸着塔)(6)	改造
10-7	イオン交換装置(吸着塔)(7)	改造
10-8	イオン交換装置(吸着塔)(8)	改造
10-9	イオン交換装置(吸着塔)(9)	改造
10-10	イオン交換装置(吸着塔)(10)	改造
10-11	イオン交換装置(吸着塔)(11)	改造
10-12	イオン交換装置(吸着塔)(12)	改造
10-13	堰(ウラン回収第2系列-1)	新設
10-14	廃液処理共通架台	改造

ウラン回収設備(第2系列) ⑩  
(チエックタンク室)

符号	機器名	変更内容
10-15	酸洗装置	改造
10-16	オーバーフロー液受槽	改造
10-17	投入ボックス(1)	改造
10-18	投入ボックス(2)	改造
10-19	浮出槽(1)	改造
10-20	浮出槽(2)	改造
10-21	抜出ボックス(1)	変更なし
10-22	抜出ボックス(2)	変更なし
10-23	中間槽(1)	改造
10-24	中間槽(2)	改造
10-25	ろ過器(中間槽)(1)	変更なし
10-26	ろ過器(中間槽)(2)	変更なし
10-27	溶出液受槽(1)	改造
10-28	溶出液受槽(2)	改造
10-29	溶出液受槽(3)	改造
10-30	リサイクル液受槽(1)	改造
10-31	リサイクル液受槽(2)	改造
10-32	リサイクル液受槽(3)	改造
10-33	洗浄液受槽(1)	改造
10-34	洗浄液受槽(2)	改造
10-35	沈殿槽(1)	改造
10-36	沈殿槽(2)	改造
10-37	遠心分離機	改造
10-38	ろ液受槽	改造
10-39	仕上げる過器	変更なし
10-40	清澄液受槽	改造
10-41	乾燥機	改造
10-42	乾燥排気フィルタ	変更なし

ウラン回収設備(第2系列) ⑩  
(チエックタンク室)

符号	機器名	変更内容
10-43	ADU受ホッパ	改造
10-44	ADU抜出ボックス	変更なし
10-45	ヒュームフード(2)	改造
10-46	箱型乾燥機	改造
10-47	堰(ウラン回収第2系列-2)	新設
10-48	浮出側共通架台	改造
10-49	沈殿側共通架台	変更なし

ウラン回収設備(第2系列) ⑩  
(乾燥加工室)

符号	機器名	変更内容
10-50	粉砕機	改造
10-51	スクラップ仮焼炉	改造
10-52	ヒュームフード(1)	改造

ウラン回収設備(第3系列) ⑪  
(除塵室・分析室 作業室(2))

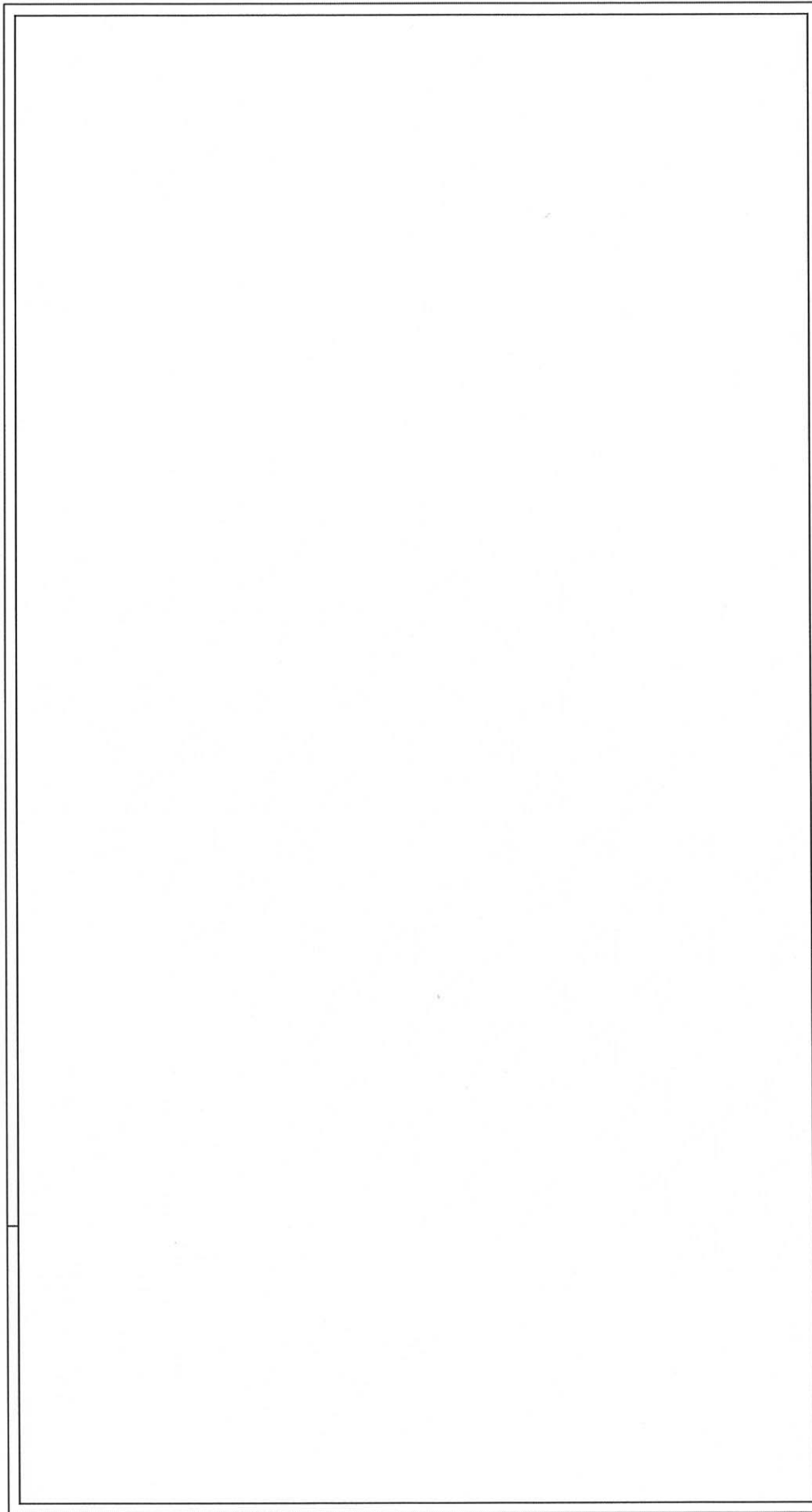
符号	機器名	変更内容
11-1	回転混合機	改造
11-2	粉末回収ボックス	改造

名	化学処理施設	
称	機器配置図	
図	図イ配-1(15/15)	工場棟
番		転換工場

<p>凡例 ■ : 火災評価対象  ▲ : 評価対象設備 (配管除く)  — : 屋外ダクト  — : 廃液処理設備(1), (4)屋外配管  - - - : A重油用タンクローリーの経路  - - - : 液化アンモニアローリーの経路  - - - : 灯油用タンクローリーの経路</p>		名 称	外部火災・爆発源と機器配置図
		図 番	図イ配-2 —

<div style="border: 1px solid black; width: 95%; margin: 5px auto; min-height: 750px;"></div>	<p>凡例 <input checked="" type="checkbox"/> : 弁    <input type="checkbox"/> P : ポンプ    <input type="checkbox"/> L : 液位計    <input type="checkbox"/> T : 温度計</p> <p>#1 : <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 50px; height: 15px;"></span>        #2 : 気体汚染設備としての申請範囲        #3 : 飛散防止カバー外設置</p> <p>—— (赤/青線) : 今回申請配管        ———— : インターロック信号線        - - - - : 前回までの申請範囲        - · - · : 設工事申請対象外        - · - · : 飛散防止カバー</p>
UF <sub>6</sub> 蒸発・加水分解設備系統図	
図番 図イ系-1(1/2)	工場棟 転換工場

本系統図は第1系列分の系統構成を表記



凡例  : 弁    P : ポンプ    L : 液位計    T : 温度計

\*1 :  : 気体検漏設備としての申請範囲

\*2 : 飛散防止カバー外設置

\*3 : 飛散防止カバー外設置

—— (赤/青線) : 今回申請配管

—— : インターロック信号線

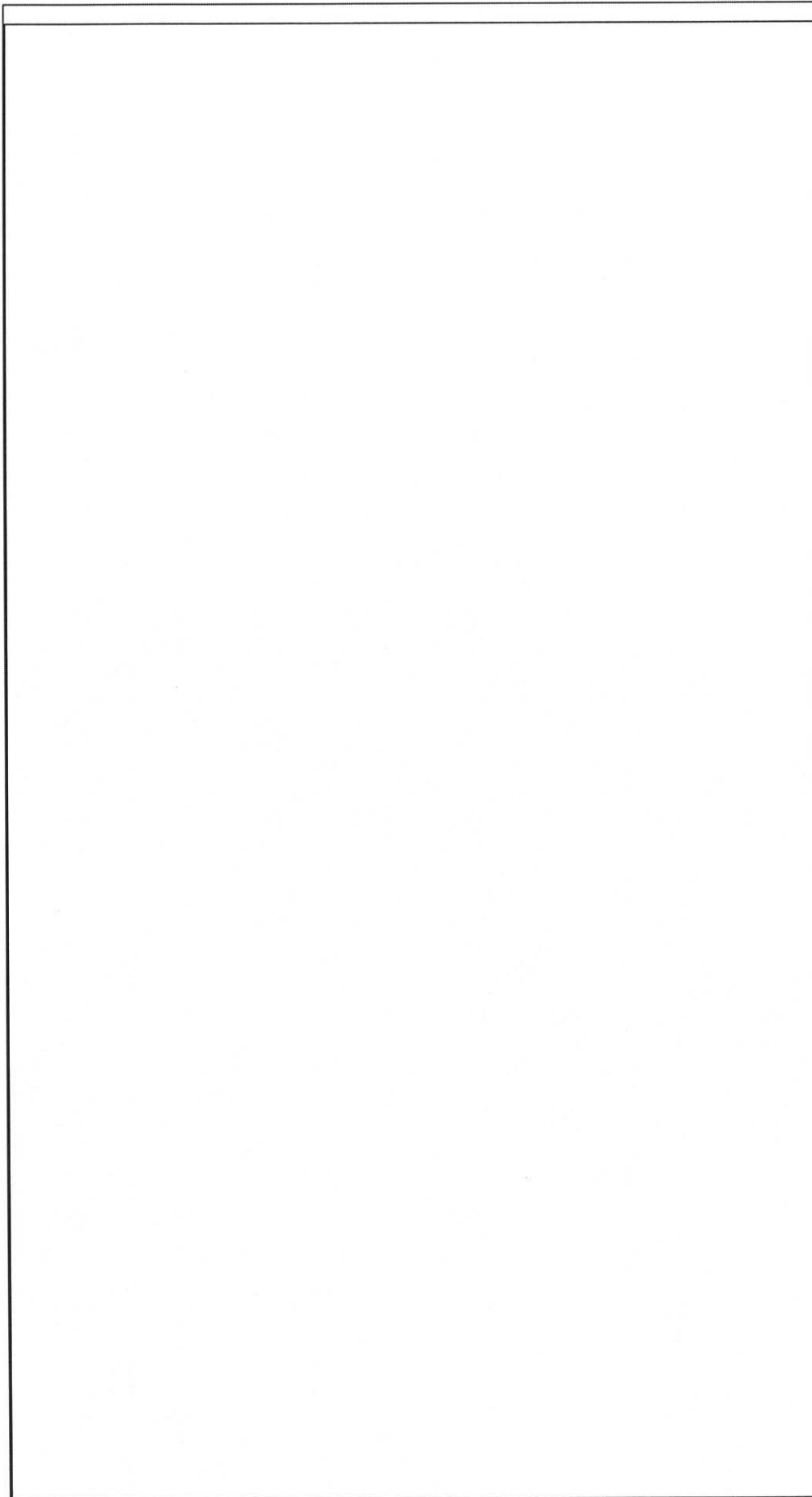
----- : 前回までの申請範囲

----- : 設工認申請対象外

----- : 飛散防止カバー

名称	UF <sub>6</sub> 蒸発・加水分解設備系統図	
図番	図イ系-1(2/2)	工場棟 転換工場

本系統図は第2系列分の系統構成を表記



凡例 : 弁 : 逆止弁 : ポンプ : 液位計 : 流量計

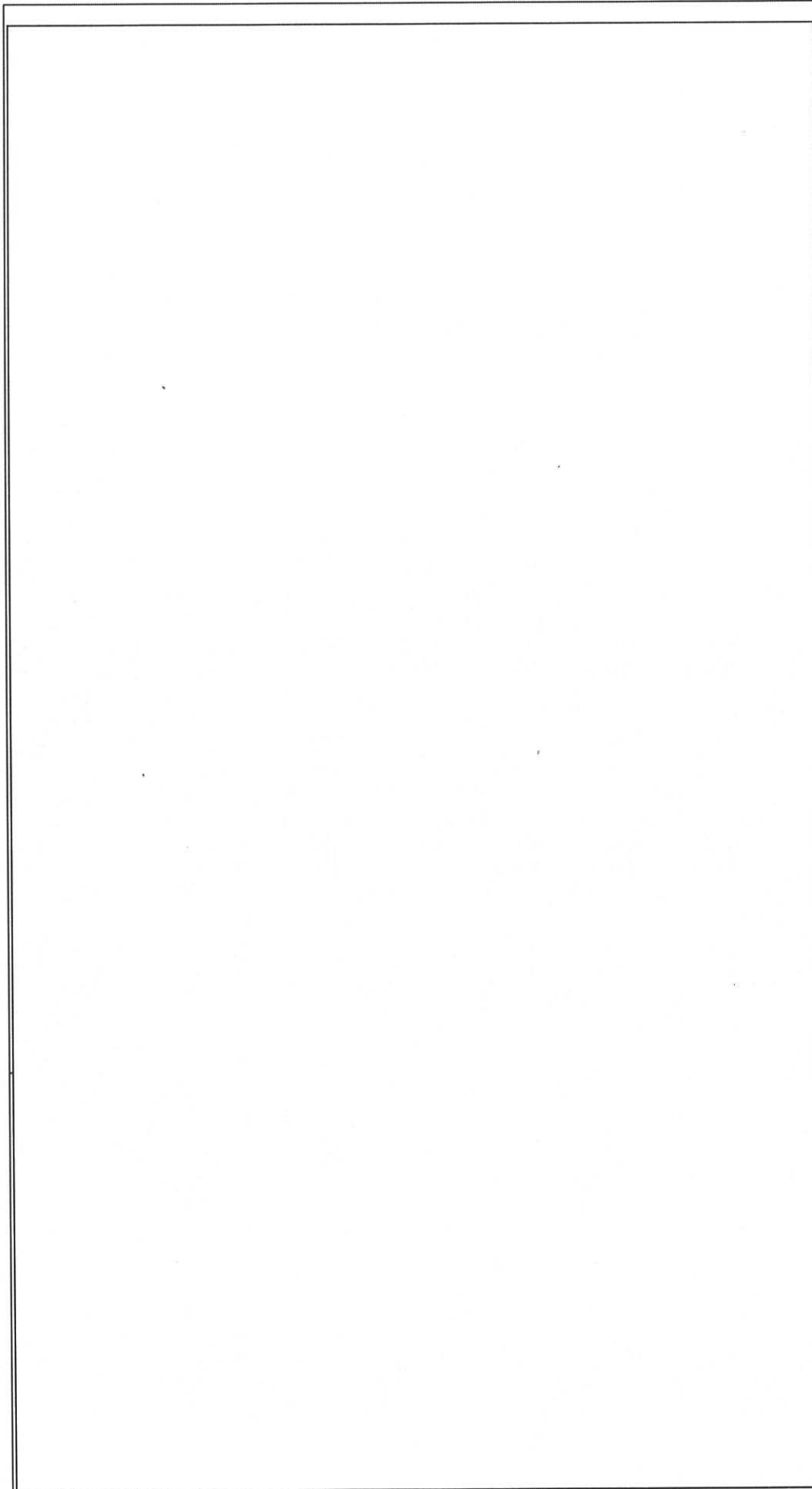
\*1: [ ] クラシオン配管系統 PVC, 50A  
 \*2: [ ] クラシオン配管系統 PVC, 50A

— (赤/青/橙/緑線) : 今回申請配管  
 — : インターロッキング信号線  
 - - - - : 設工認申請対象外

名称	沈殿設備系統図	
図番	図イ系-2 (1/2)	工場棟 転換工場

本系統図は第1系列分の系統構成を表記

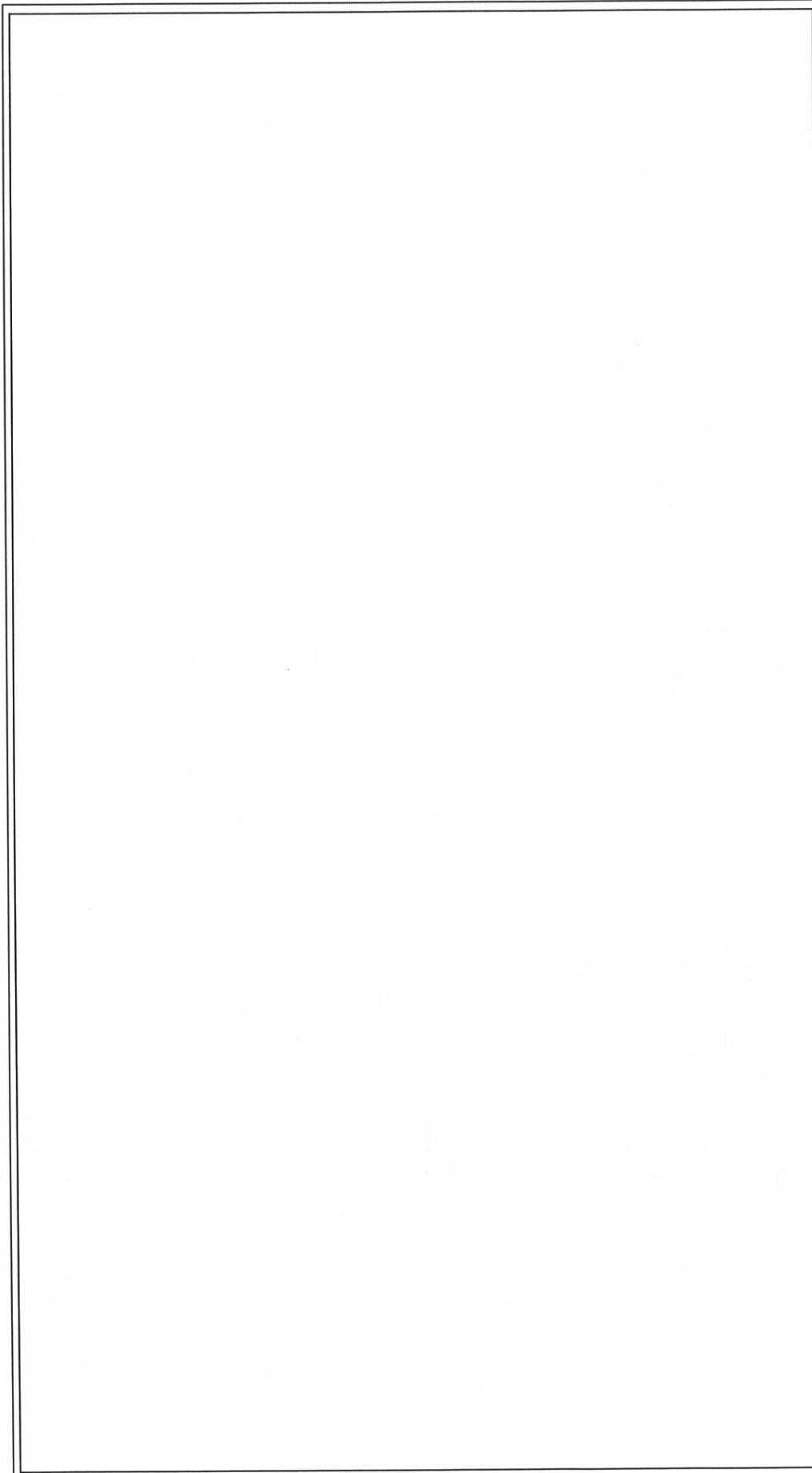




- 凡例
- ☒ : 弁
  - N : 逆止弁
  - P : ホンプ
  - L : 液位計
  - F : 流量計
  - \*1 : [ ] プラン配管系統 PVC [ ]
  - \*2 : (45) インターロック信号線
  - (赤/青/橙/緑線) : 今回申請配管
  - : インターロック信号線
  - : 設工事申請対象外

名称		沈殿設備系統図	
図番	図イ系-2(2/2)	工場棟	転換工場

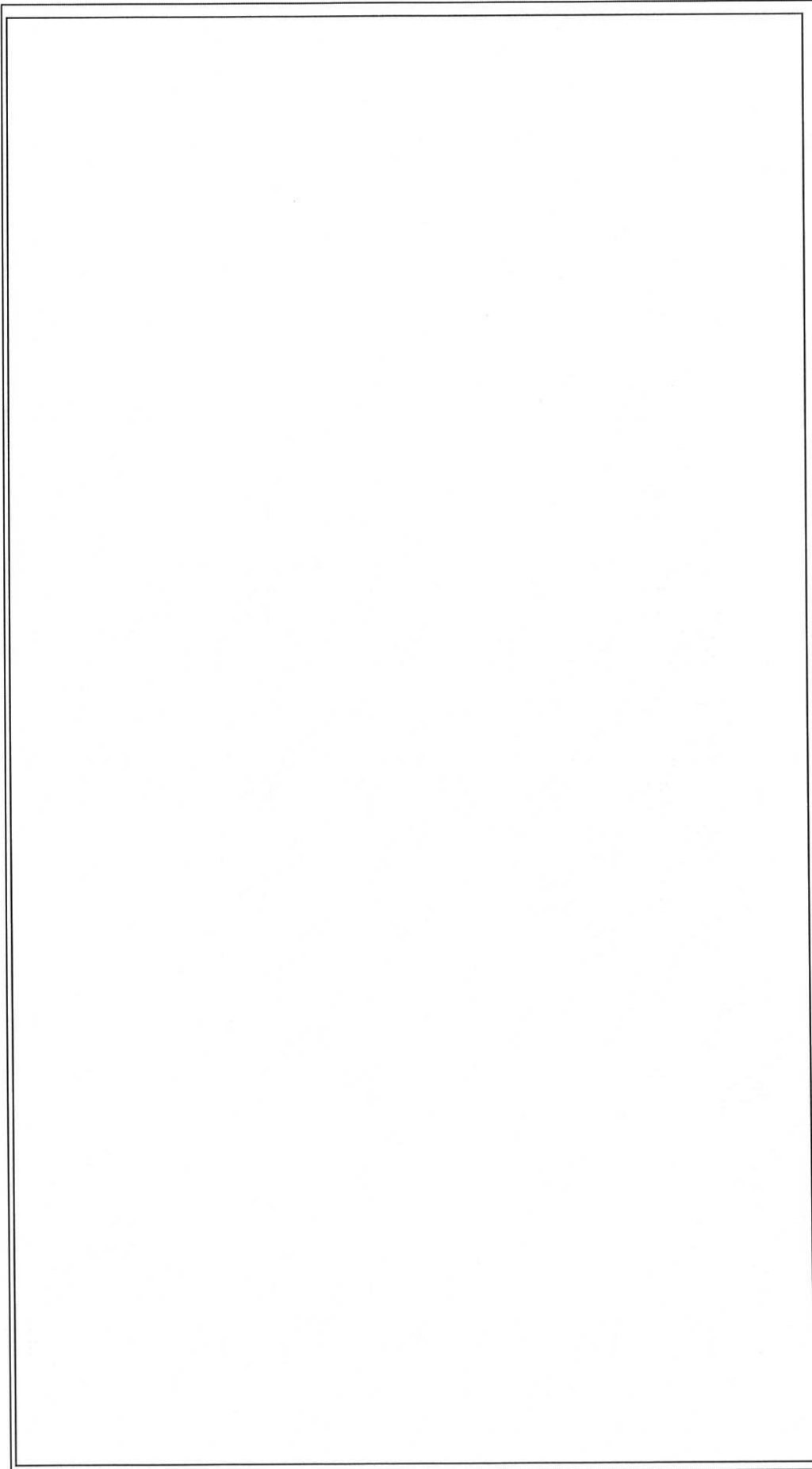
本系統図は第2系列分の系統構成を表記



凡例 : 井    : 逆止弁    : ポンプ    : 駆動部    : 液位計  
 — (赤/青/藍/緑線) : 今回申請配管 色の区分は配管の系統範囲を示す  
 — : インターロック信号線  
 - - - - : 設工認申請対象外

名称	洗浄設備系統図	
図番	図イ系-3(1/2)	工場棟 転換工場

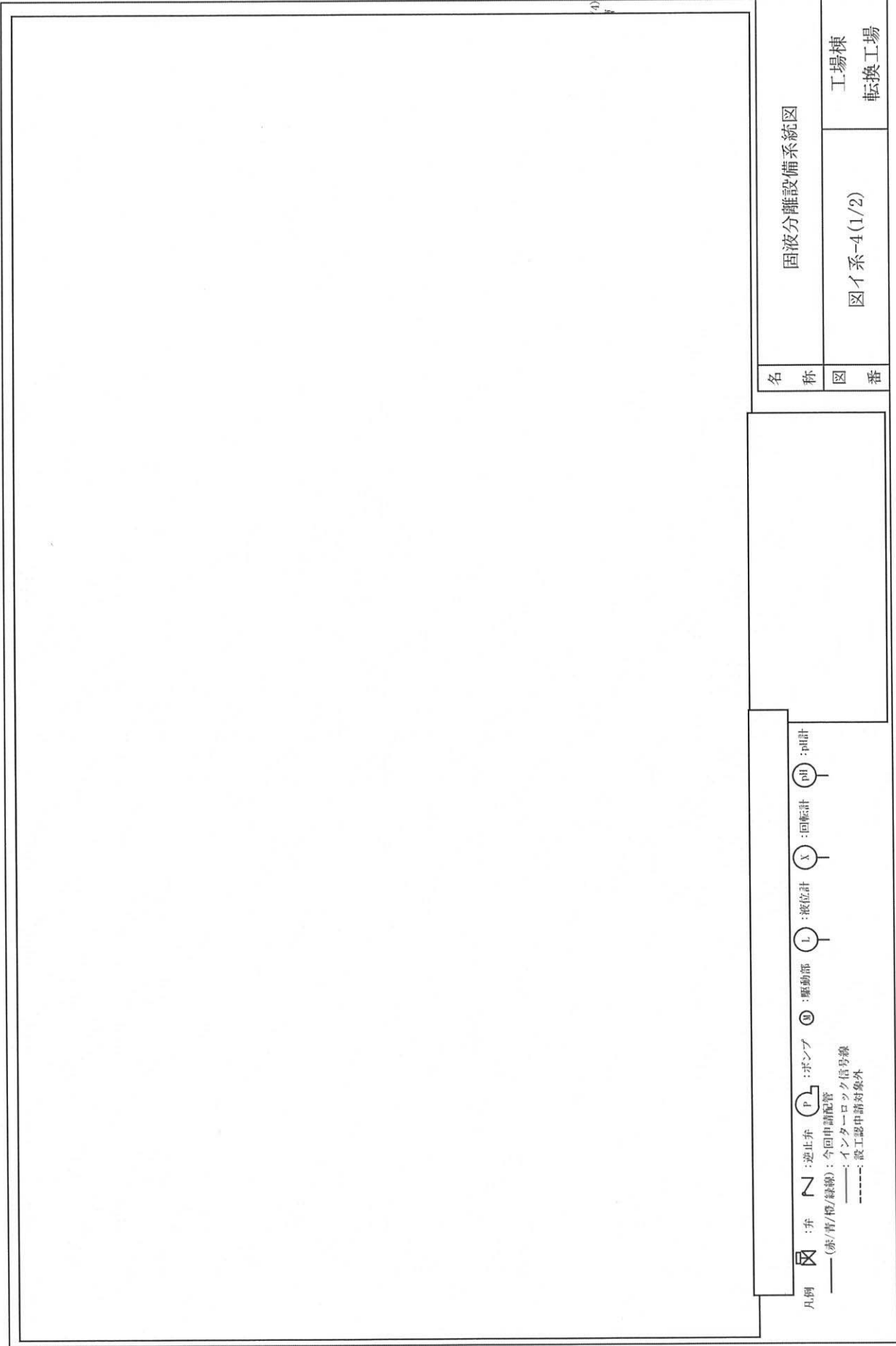
本系統図は第1系列分の系統構成を表記



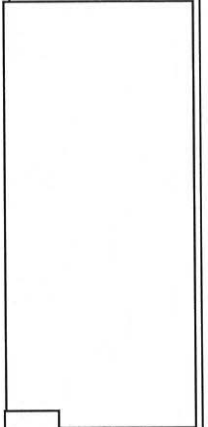
凡例  
 : 弁  
 : 逆止弁  
 : ポンプ  
 : 駆動部  
 : 液位計  
 —— (赤/青/橙/緑線) : 今回申請配管 色の区分は配管の系統範囲を示す  
 - - - - : インターロック信号線  
 - - - - - : 設工部申請対象外

名称	洗淨設備系統図	
図番	図イ系-3(2/2)	工場棟 転換工場

本系統図は第2系列分の系統構成を表記



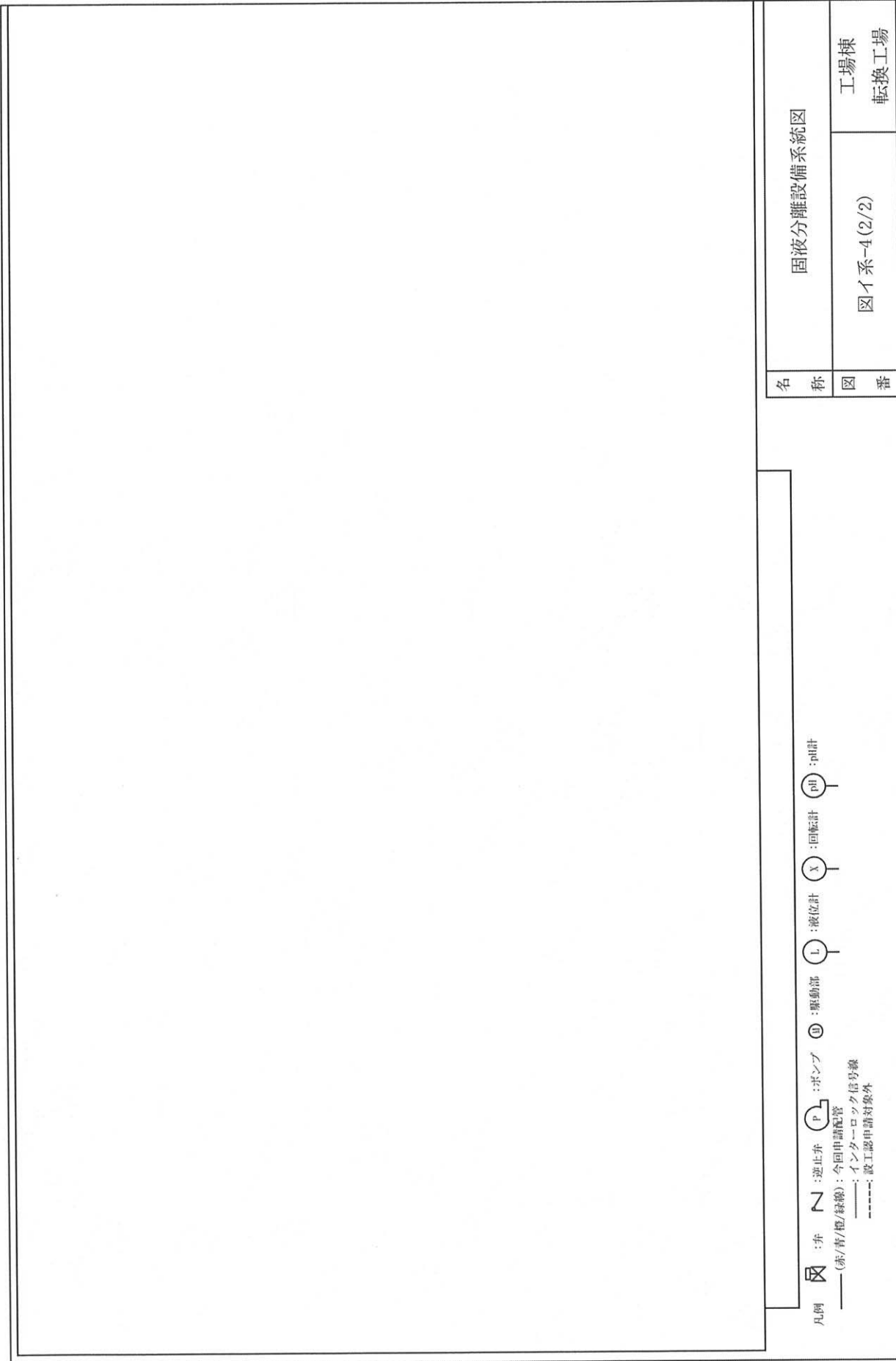
固液分離設備系統図	
名称	工場棟
図番	図イ系-4(1/2) 転換工場



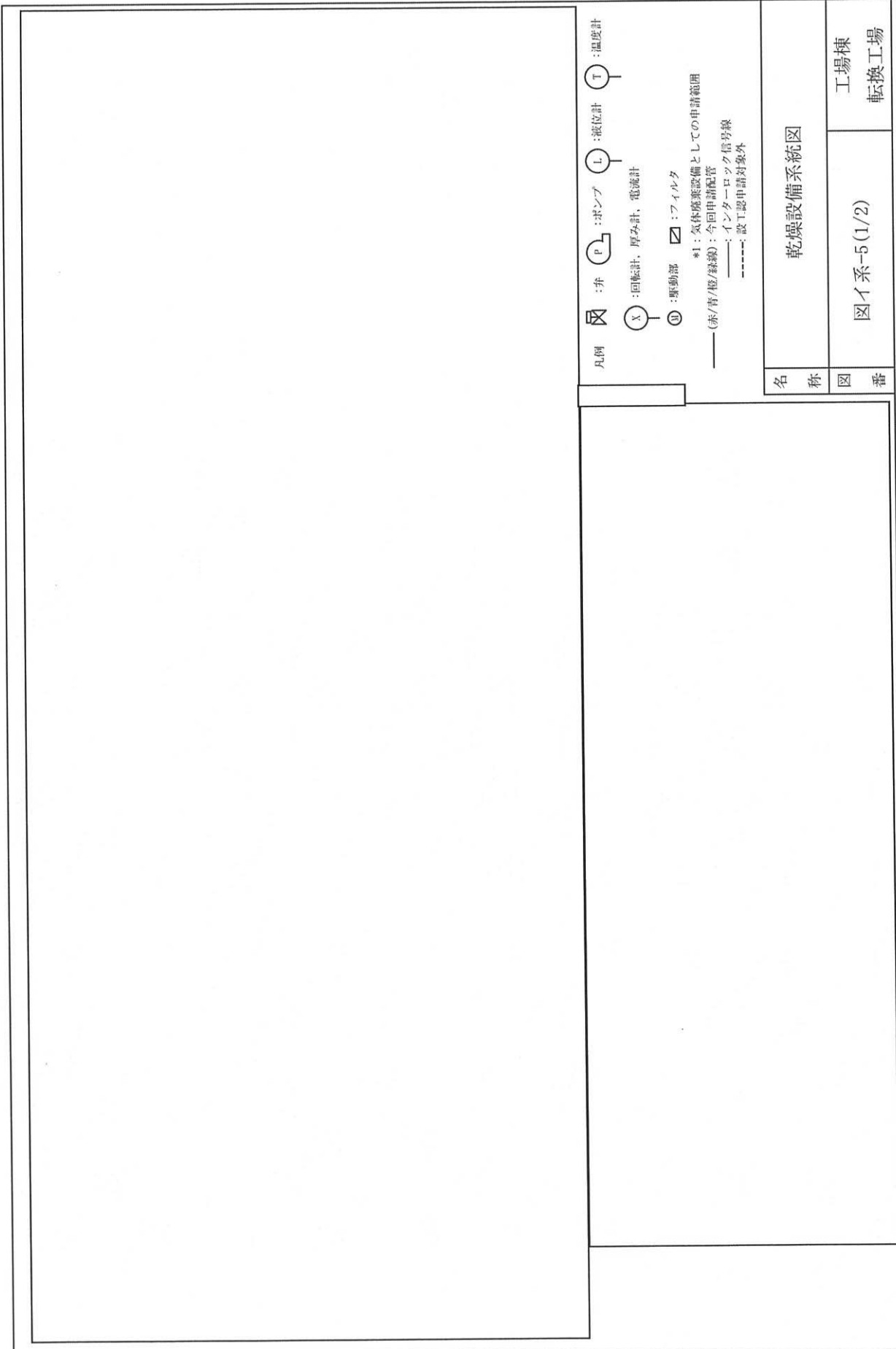
凡例

: 弁  
 : 逆止弁  
 : ポンプ  
 : 駆動部  
 : 液位計  
 : 回数計  
 : pH計  
 (赤/青/橙/緑線) : 今回申請配管  
 : インターロック信号線  
 : 竣工認申請対象外

本系統図は第1系列分の系統構成を表記



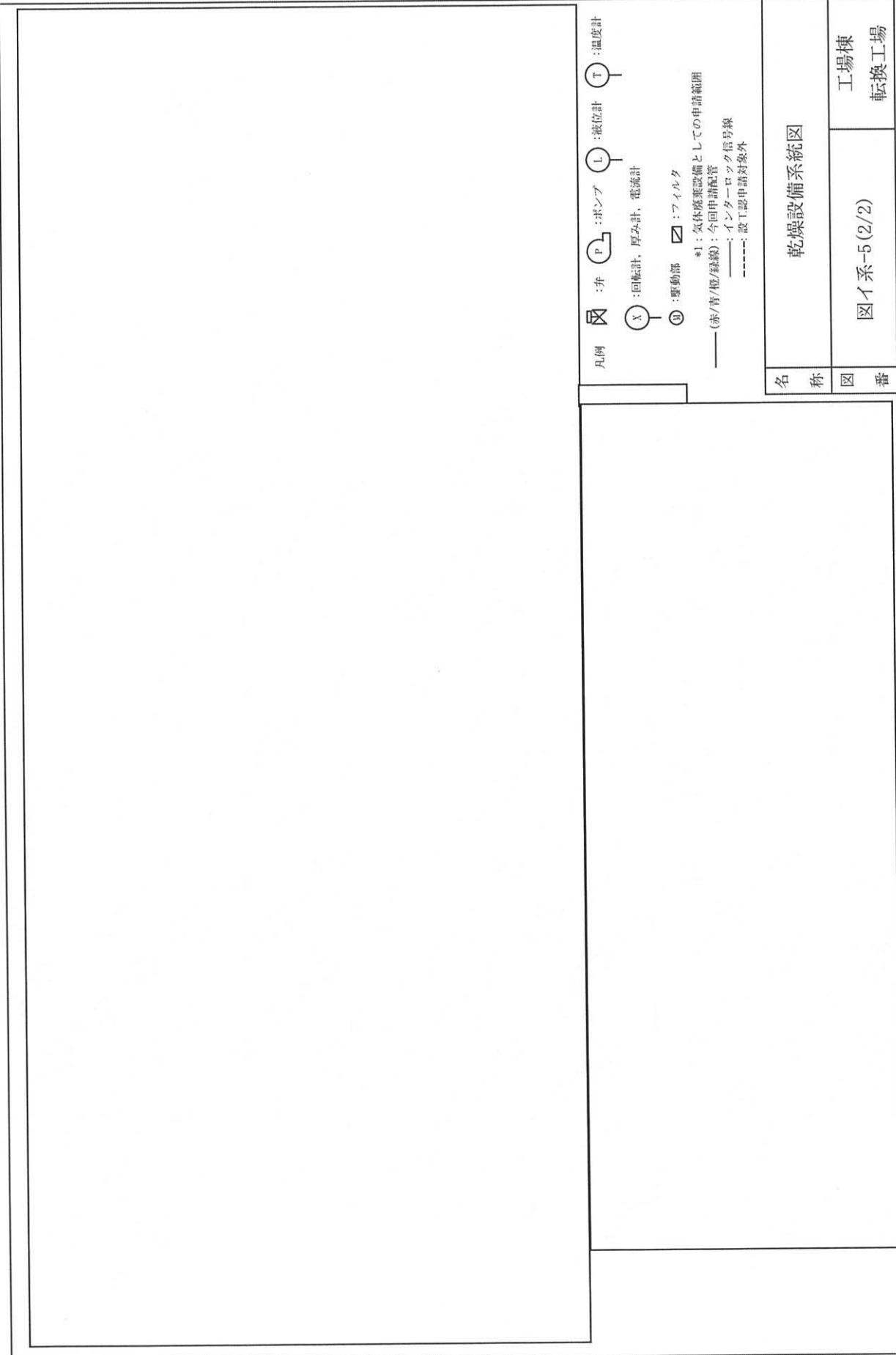
本系統図は第2系列分の系統構成を表記



- 凡例
- : 弁
  - P** : ポンプ
  - L** : 液位計
  - T** : 温度計
  - X** : 回転計, 厚み計, 電流計
  - ①** : 駆動部
  - : フィルタ
- \*1: 気体廃棄設備としての申請範囲  
 —— (赤/青/橙/緑線): 今回申請配管  
 ———: インターロック信号線  
 - - - - -: 設工認申請対象外

名	乾燥設備系統図	
称		
図	図イ系-5 (1/2)	工場棟
番		転換工場

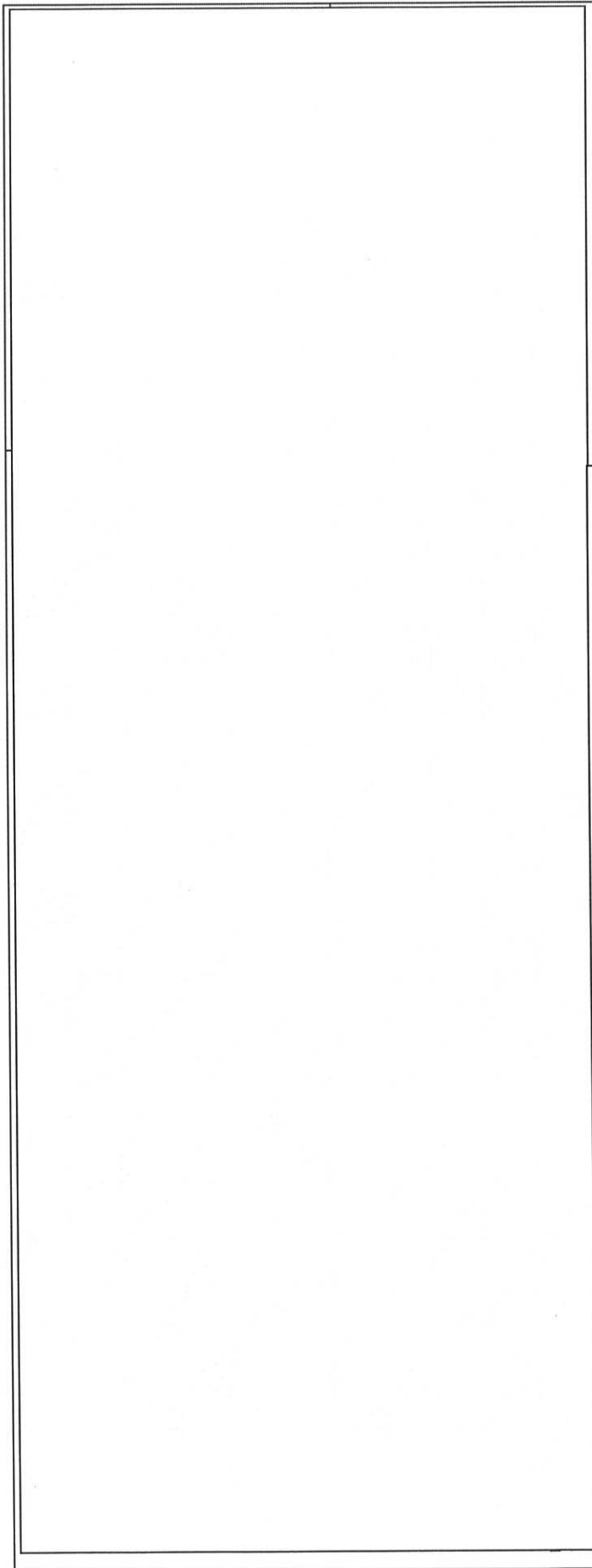
本系統図は第1系列分の系統構成を表記



凡例  : 弁    P : ポンプ    L : 液位計    T : 温度計  
 (X) : 回転計, 厚み計, 電流計    (M) : 駆動部    □ : フィルタ  
 \*1: 気体検漏設備としての申請範囲  
 —— (赤/青/緑線): 今回申請配管    ———: インターロック信号線  
 -----: 設工認申請対象外

名	乾燥設備系統図	
称		
図	図イ系-5(2/2)	工場棟
番		転換工場

本系統図は第2系列分の系統構成を表記



凡例

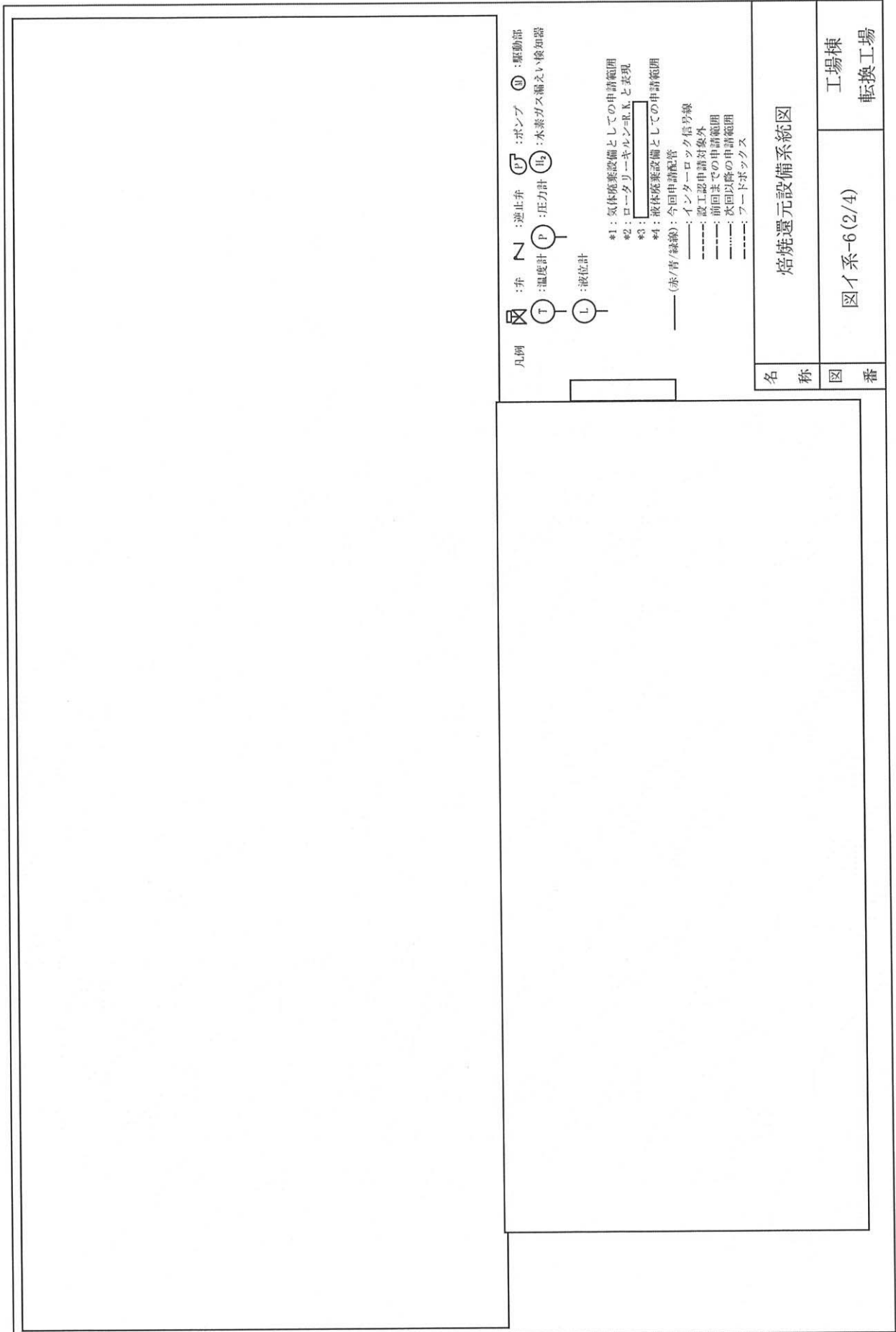
: 弁  
 : 温度計  
 : 液位計  
 : 逆止弁  
 : ポンプ  
 : 水素ガス漏えい検知器  
 : 駆動部

: 液位計  
 : ロータリーバルブ  
 \*1: 気体廃棄設備としての申請範囲  
 \*2: ロータリーキルン=RLKと表現  
 \*3:   
 \*4: 液体廃棄設備としての申請範囲  
 — (赤/青/緑線) : 今回申請配管  
 ————— : インターロッキング信号線  
 - - - - - : 設工認申請対象外  
 - - - - - : 前回までの申請範囲  
 ..... : 次回以降の申請範囲  
 - - - - - : フードボックス

名称	焙焼還元設備系統図	
図番	図イ系-6(1/4)	工場棟 転換工場

本系統図は第1系列分の系統構成を表記





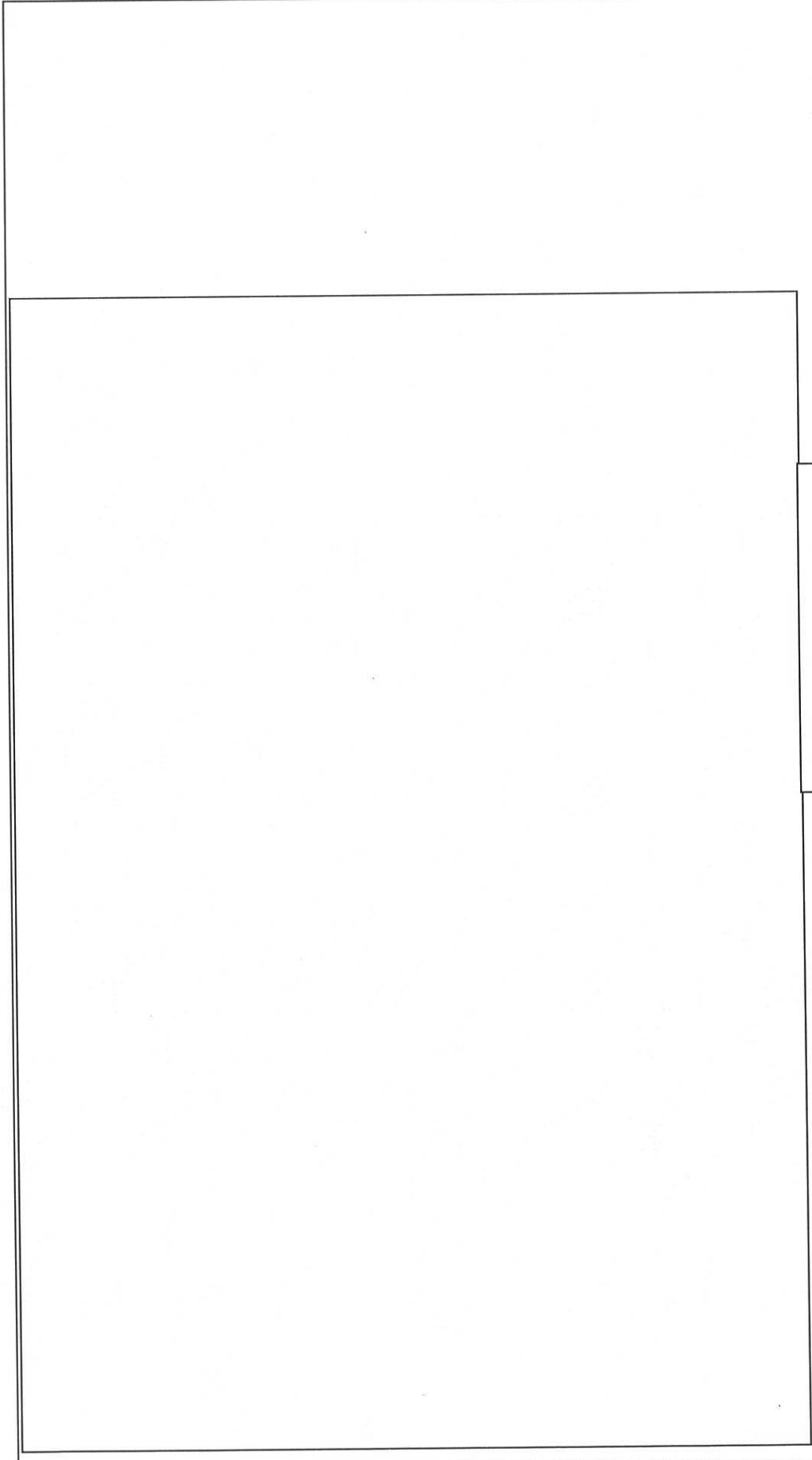
凡例

: 弁  
 : 温度計  
 : 圧力計  
 : 逆止弁  
 : ポンプ  
 : 駆動部  
 : 水素ガス漏えい検知器  
 : 液位計

\*1: 気体液薬設備としての申請範囲  
 \*2: ロータリーキーレンジャーと表現  
 \*3:   
 \*4: 液体液薬設備としての申請範囲  
 — (赤/青/緑線): 今回申請配管  
 —————: インターロック信号線  
 - - - - -: 設工認申請対象外  
 - - - - -: 前回までの申請範囲  
 - - - - -: 次回以降の申請範囲  
 - - - - -: アートボックス

名 称	焙焼還元設備系統図	
図 番	図イ系-6(2/4)	工場棟 転換工場

本系統図は第2系列分の系統構成を表記

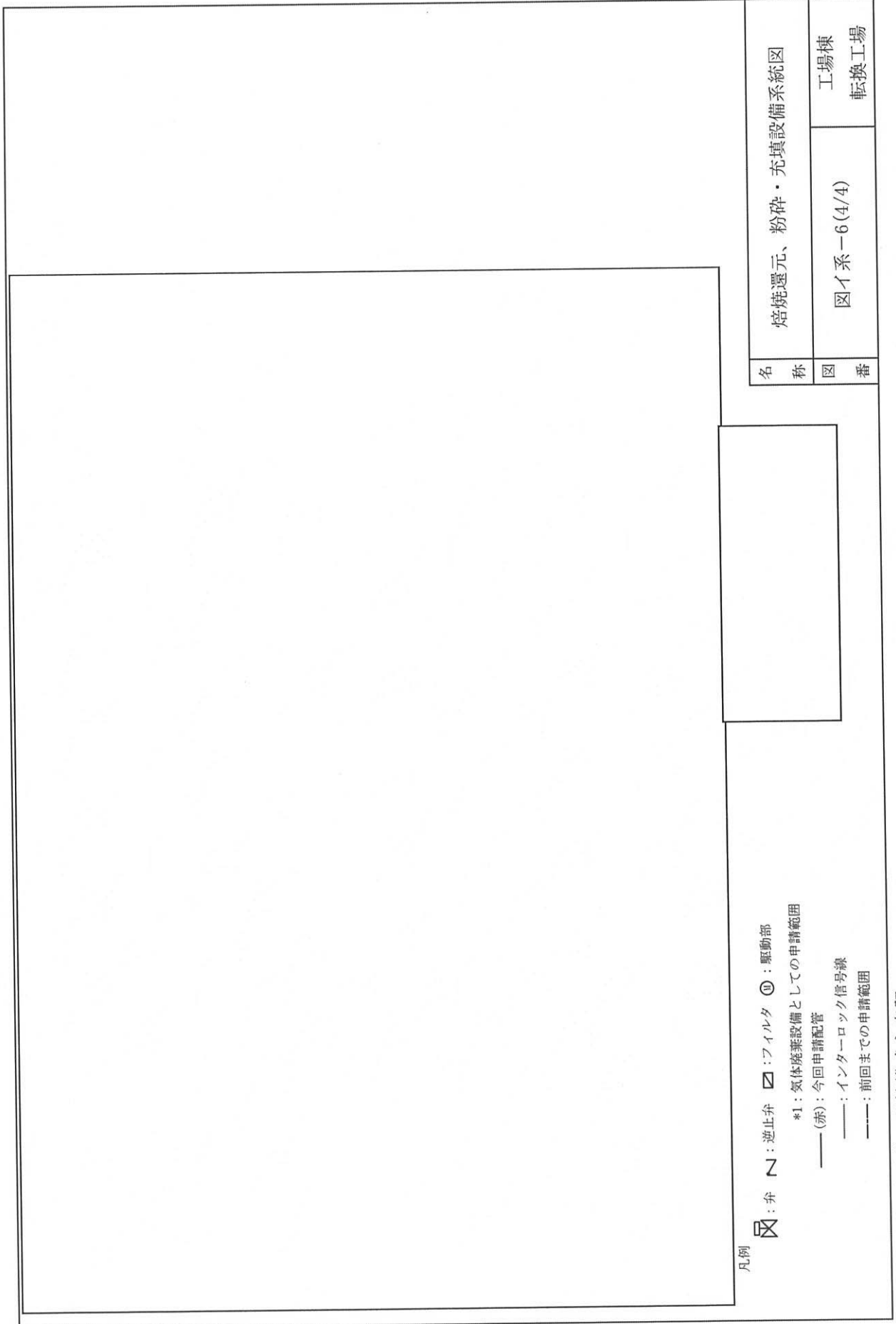


凡例

- ☑ : 弁
- N : 逆止弁
- ☒ : フィルタ
- Ⓜ : 駆動部
- \*1 : 気体廃棄設備としての申請範囲
- (赤) : 今回申請配管
- : インターロック信号線
- : 前回までの申請範囲

名称	焙焼還元、粉碎・充填設備系統図	
図番	図イ系-6(3/4)	工場棟 転換工場

本系統図は第1系列分の系統構成を表記



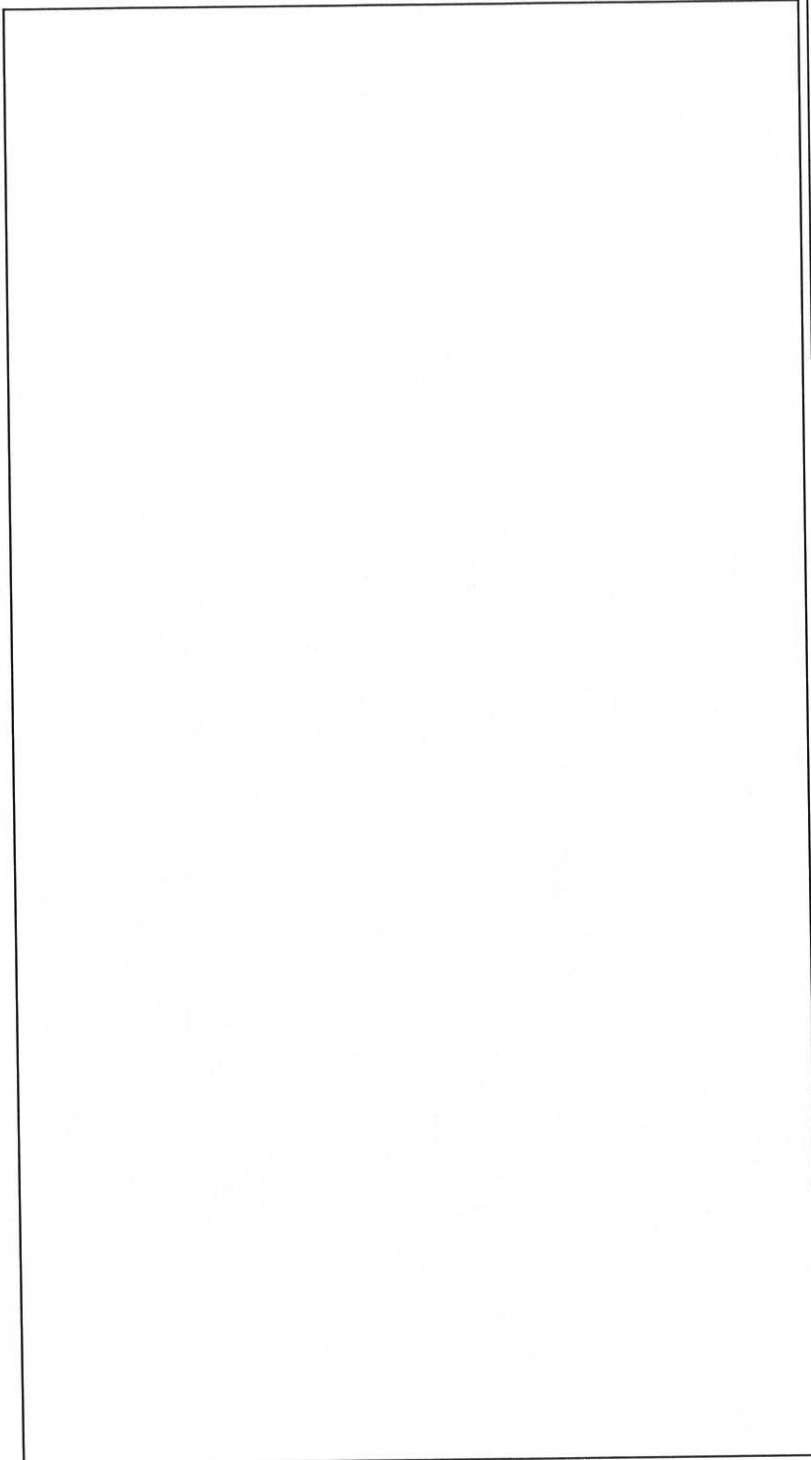
凡例

- ☑ : 弁
- N : 逆止弁
- ☒ : フィルタ
- Ⓜ : 駆動部
- \*1 : 気体廃棄設備としての申請範囲
- (赤) : 今回申請配管
- : インターロック信号線
- : 前回までの申請範囲

名称	焙焼還元、粉碎・充填設備系統図	
図番	図イ系-6 (4/4)	工場棟 転換工場

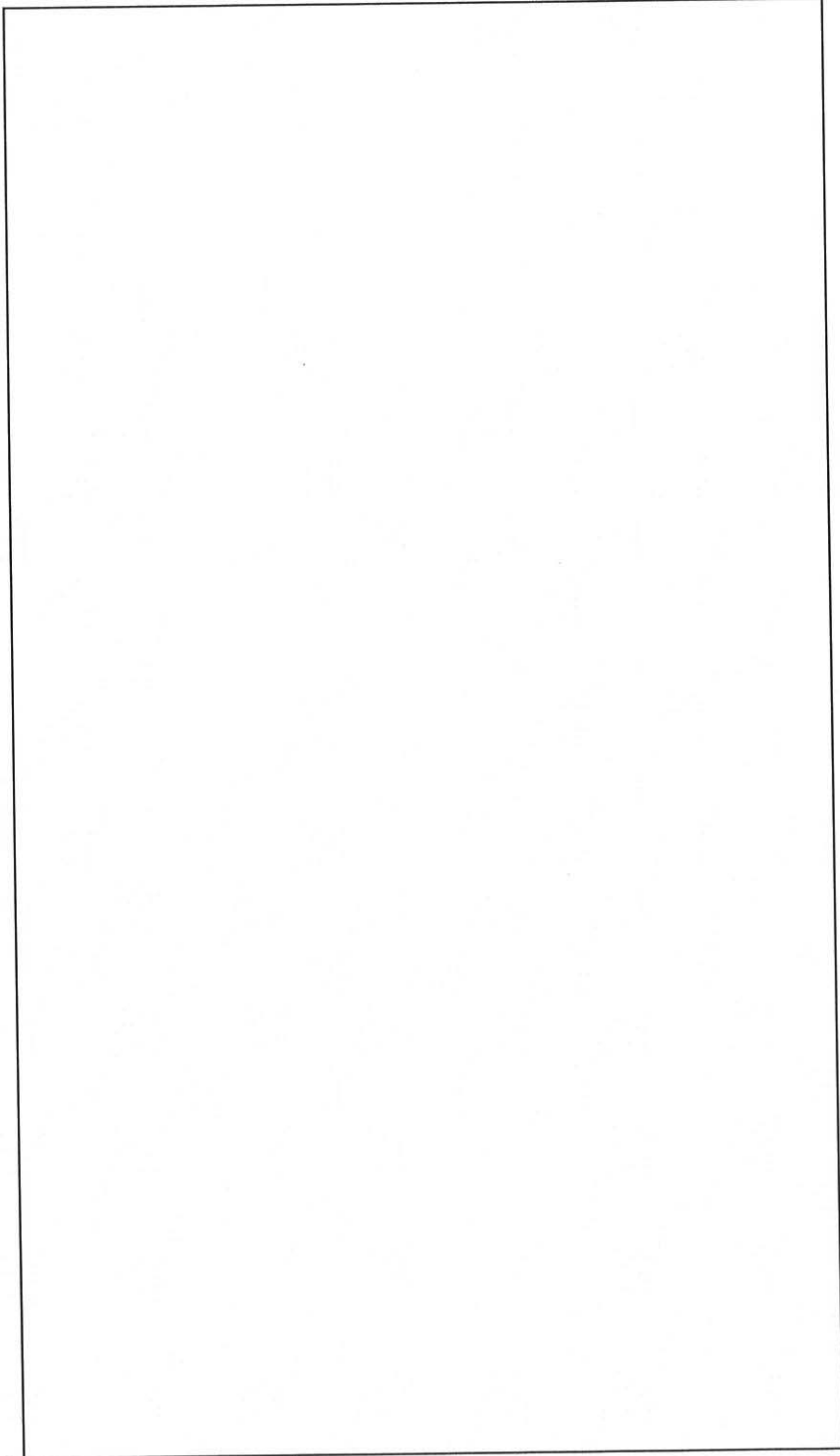
本系統図は第2系列分の系統構成を表記

(轉換加工室)



名称	混合設備系統図
図番	図イ系-7
	工場棟 轉換工場

(転換加工室)



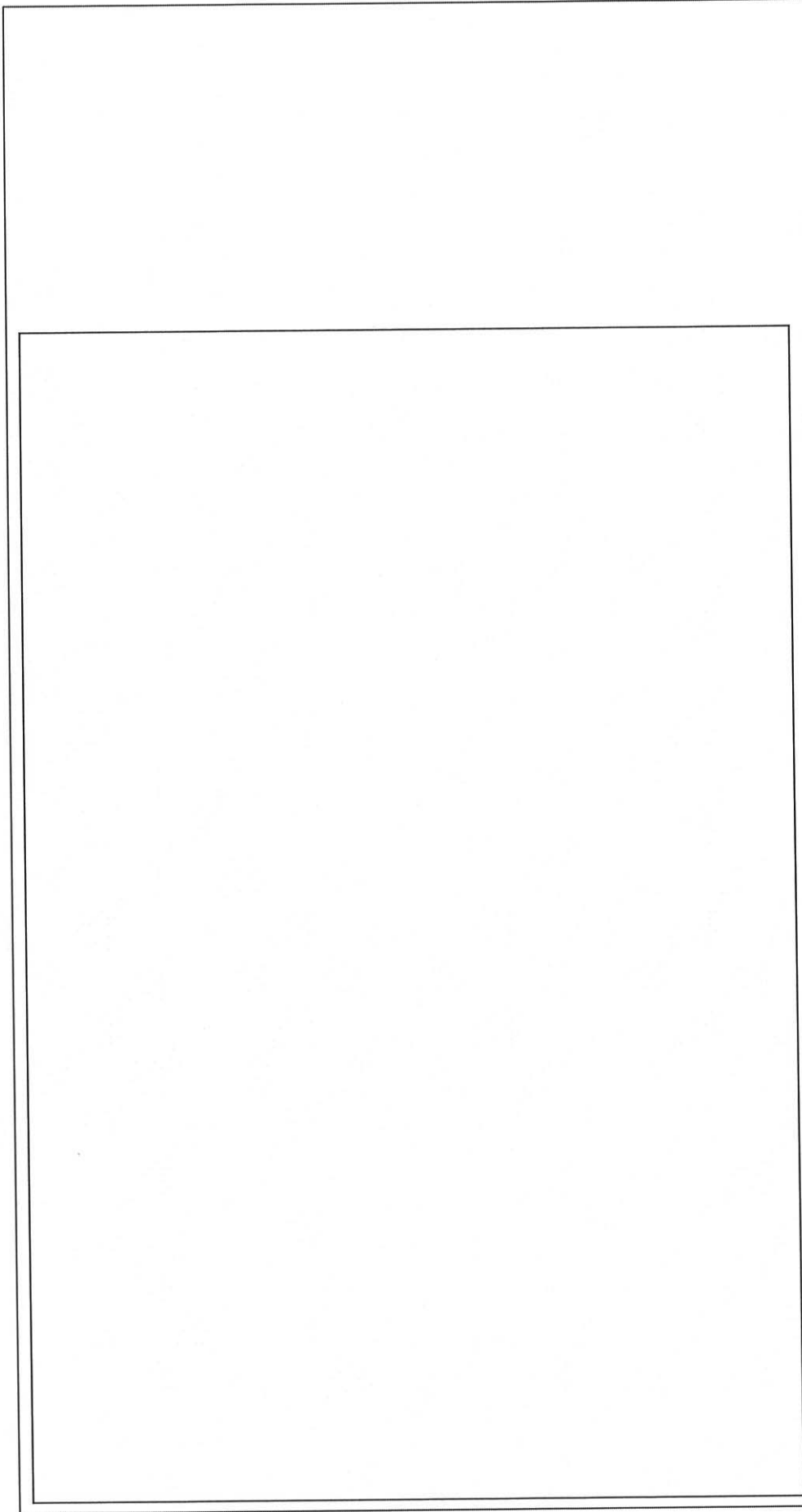
- 凡例
- ☑ : フィルタ
  - : 被水防護カバー
  - ⊙ : プロワ
  - ⊗ : ローターバルブ
  - (赤/黒/青線) : 今回申請配管 色の区分は配管の系統範囲を示す
  - : フードボックス
- \*1 : 気体廃棄設備としての申請範囲

名称	濃縮度混合設備系統図	
図番	図イ系-8(1/3)	工場棟 転換工場

(転換加工室)

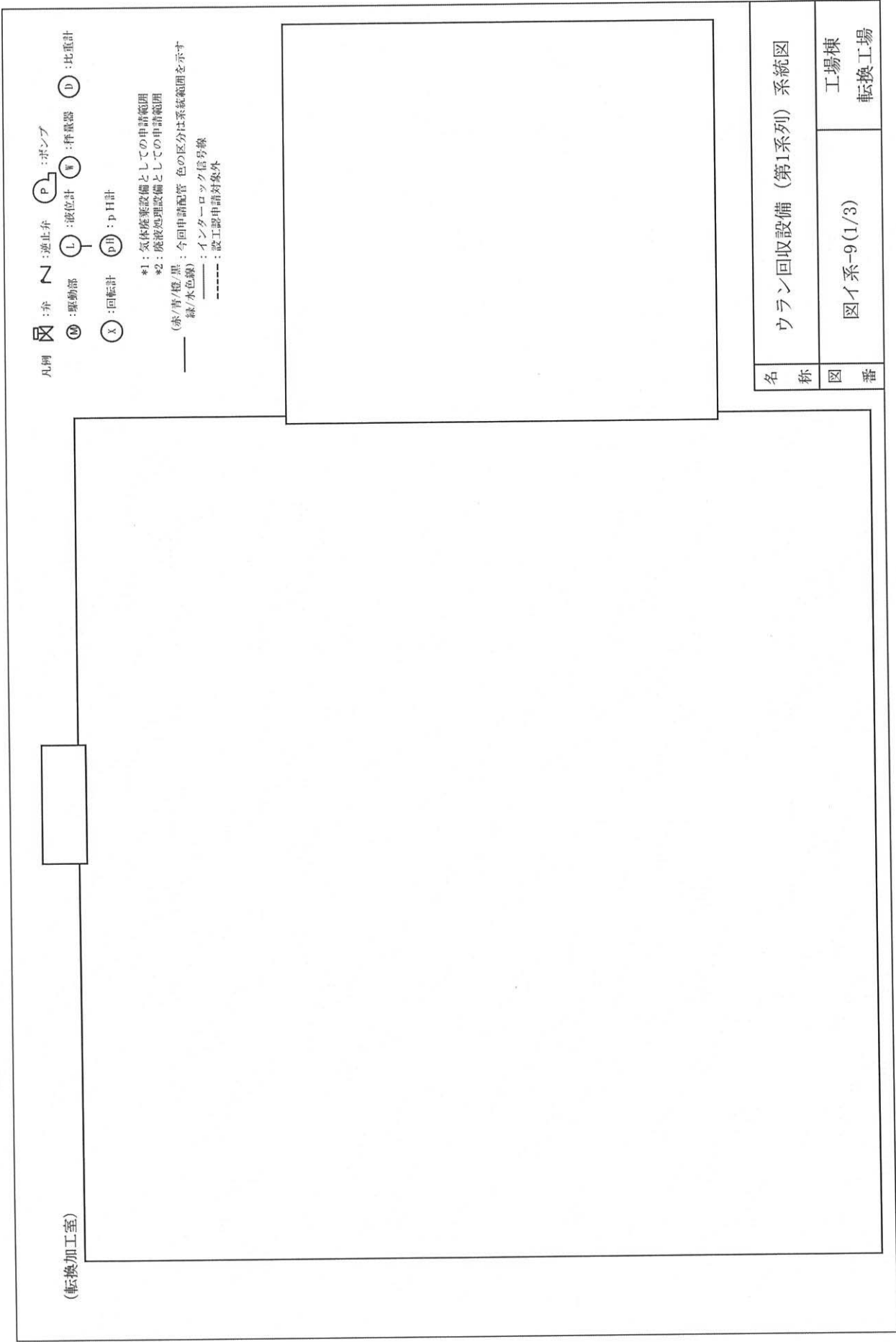
- 凡例
- ☒ : 弁
  - ☒ : 三方弁
  - Ⓜ : 駆動部
  - ☒ : フィルタ
  - ☒ : 被水防護カバー
  - Ⓜ : プロロウ
  - ⊗ : ロータリーバルブ
  - ∨ : 逆止弁
  - (赤/青/黒/橙線) : 今回申請配管 色の区分は配管の系統範囲を示す
- \*1 : 気体保護設備としての申請範囲  
----- : フードボックス

名	濃縮度混合設備系統図	
称		
図	図イ系-8(2/3)	工場棟
番		転換工場



凡例  :ファイルタ (F) :ファン  
 — (赤/青/黒/橙線) :今回申請配管 色の区分は配管の系統範囲を示す  
 \*1 : 気体廃棄設備としての申請範囲

名称	濃縮度混合設備系統図	
図番	図イ系-8(3/3)	工場棟 転換工場



(転換加工室)


凡例  
 X : 弁  
 〰 : 逆止弁  
 P : ポンプ  
 L : 液位計  
 W : 秤量器  
 D : 比重計  
 X : 回転計  
 pH : pH計

\*1: 気体処理設備としての申請範囲  
 \*2: 廃液処理設備としての申請範囲  
 (赤/青/橙/黒: 今回申請配管 色の区分は系統範囲を示す  
 緑/水色線) : インターロック信号線  
 ----- : 設工認申請対象外

名	ウラン回収設備 (第1系列) 系統図	
称		
図	図イ系-9(1/3)	工場棟
番		転換工場



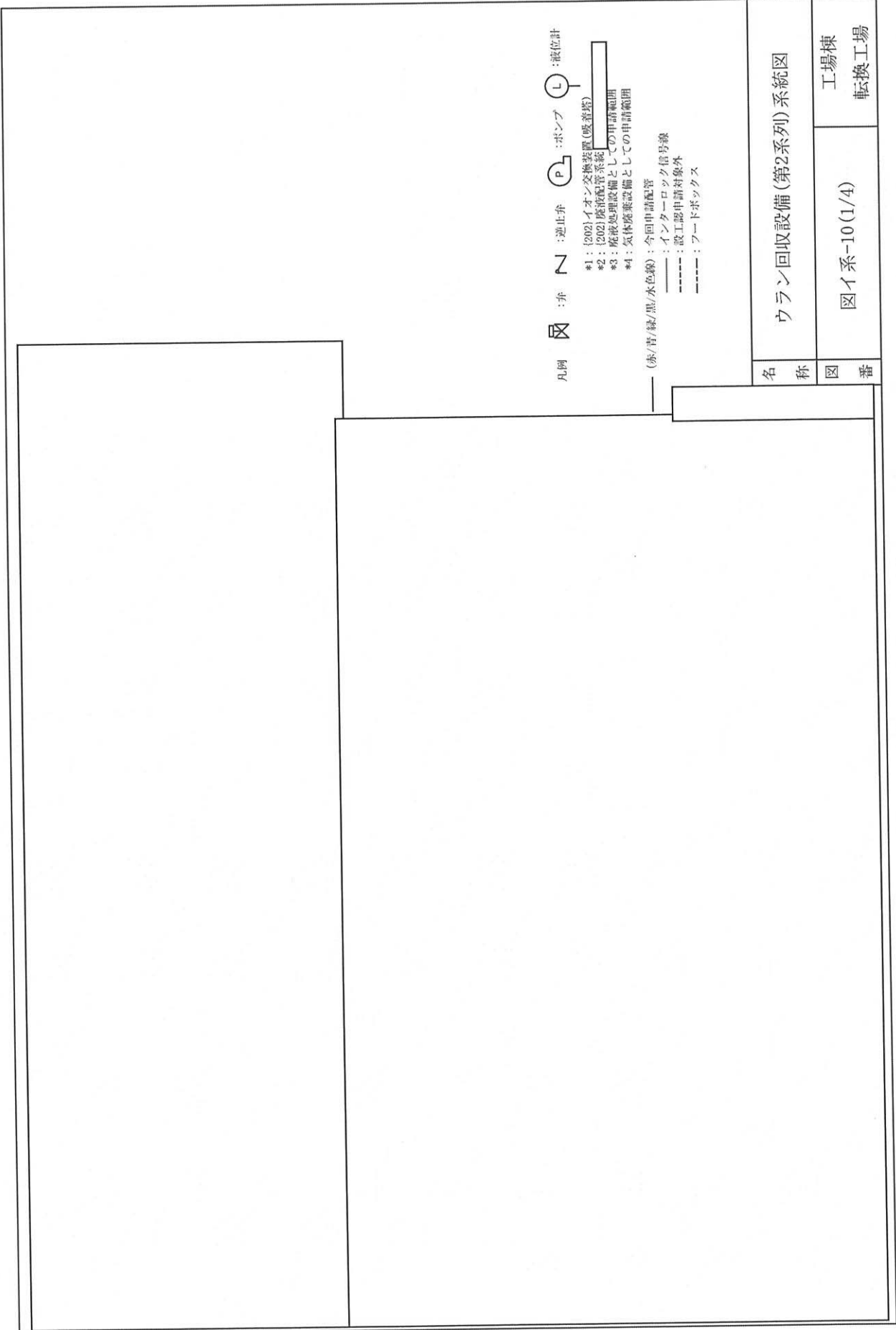
<div style="border: 1px solid black; height: 600px; width: 100%;"></div>		ウラン回収設備（第1系列）系統図	
		図イ系-9(2/3)	工場棟 転換工場
名	称		
図	番		

凡例  : フィルタ  : ブロワ  
 — (赤/黒線) : 今回申請配管 色の区分は配管の系統範囲を示す  
 \*1 : 気体廃棄設備としての申請範囲  
 ---- : フードボックス

(転換加工室)

- 凡例
- : 弁
  - : ポンプ
  - : 駆動部
  - : フィルタ
  - : 温度計
  - : プロロフ
  - : 逆止弁
  - : フィルタ
- \*1: 気体廃棄設備としての申請範囲
- (赤/青/黒/橙線) : 今回申請配管 色の区分は配管の系統範囲を示す
- : インターロック信号線
- : 設工認申請対象外
- : フードボックス

名称	ウラン回収設備 (第1系列) 系統図	
図番	図イ系-9(3/3)	工場棟 転換工場

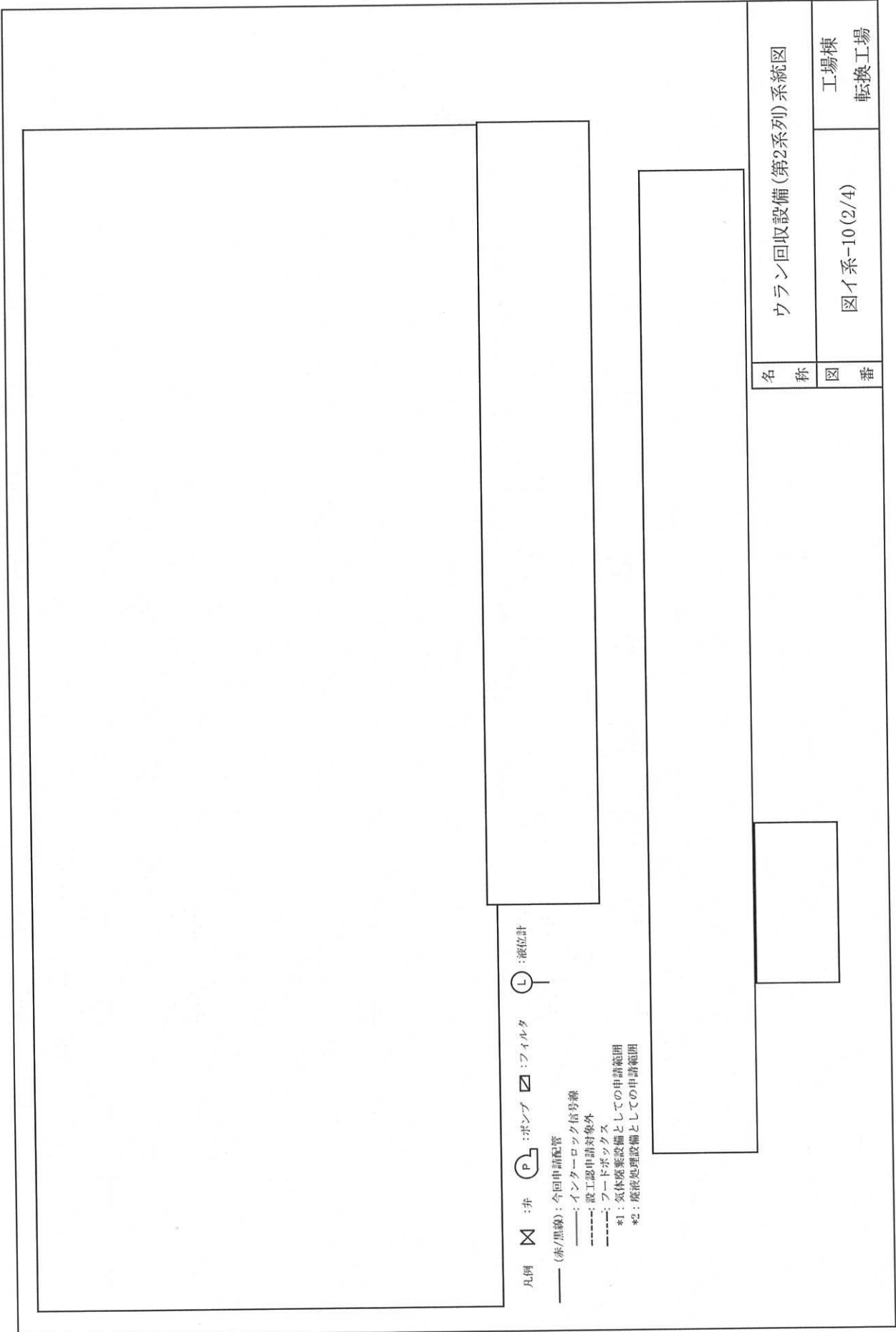


凡例 図 : 弁 N : 逆止弁 P : ポンプ L : 液位計

- \*1 : [202]イオン交換装置(吸着塔)
- \*2 : [202]汚泥配管系統
- \*3 : 廃液処理設備としての申請範囲
- \*4 : 気体廃棄設備としての申請範囲

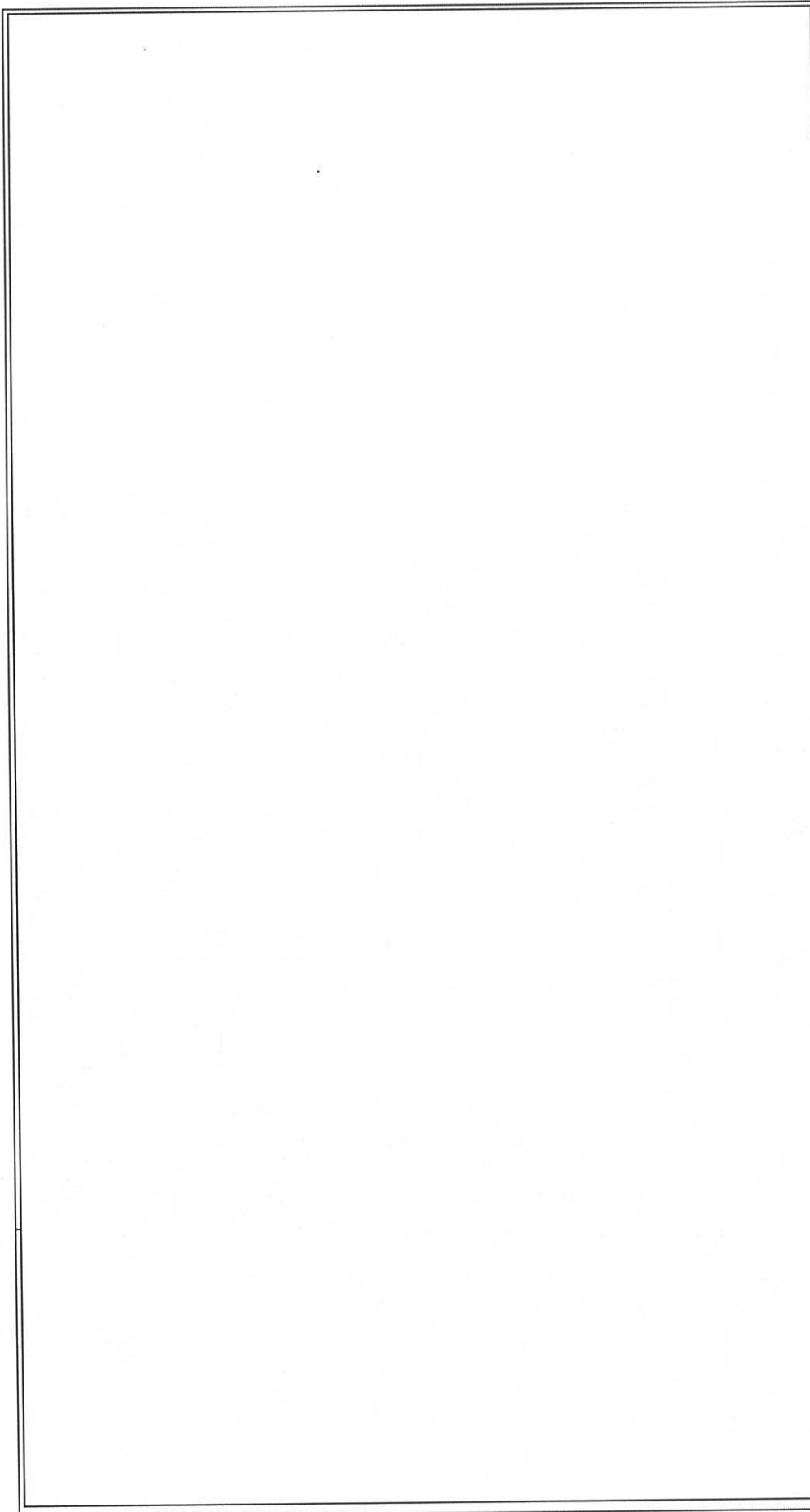
(赤/青/緑/黒/水色線) : 今回申請配管  
 ——— : インターロック信号線  
 - - - - - : 設工認申請対象外  
 - - - - - : フードボックス

名 称	ウラン回収設備(第2系列)系統図	
図 番	図イ系-10(1/4)	工場棟 転換工場



	凡例 (M) : 駆動部 (P) : ポンプ (N) : 弁 (Z) : 逆止弁 (L) : 液位計 (T) : 温度計 (X) : 回転計 (PH) : pH計 (H) : 手動弁	
	*1: 気体廃棄設備としての申請範囲 *2: 廃液処理設備としての申請範囲 —— (赤/青/橙/緑/黒/水色線) : 今回申請配管 ———— : インターロック信号線 - - - - - : 設工認申請対象外	
ウラン回収設備(第2系列)系統図		
名 称	図イ系-10(3/4)	
図 番	工場棟 転換工場	

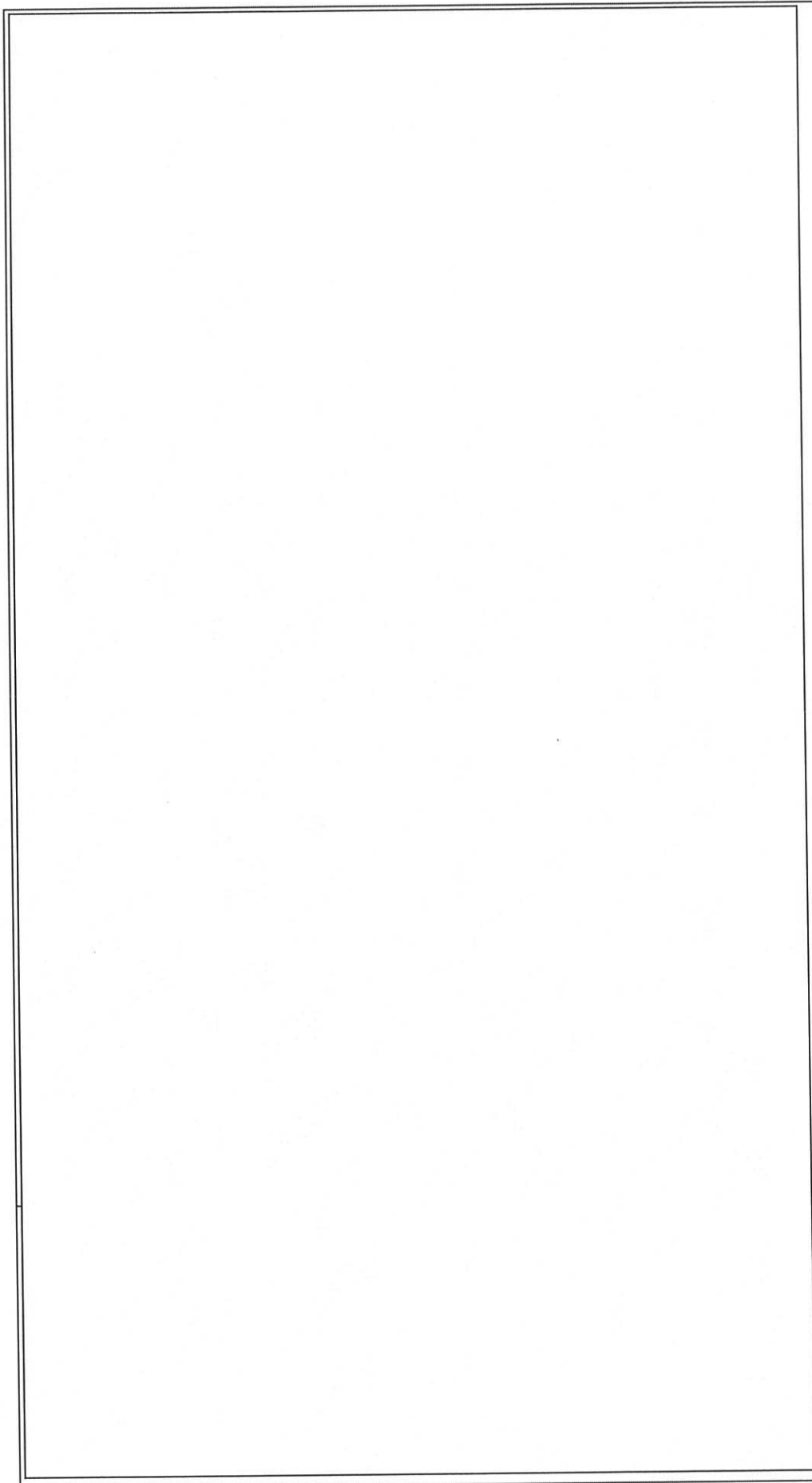
	<div style="border: 1px solid black; height: 500px; width: 100%;"></div>	<p>凡例 (T) : 温度計</p> <p>*1 : 気体廃棄設備としての申請範囲</p> <p>*2 : 廃液処理設備としての申請範囲</p> <p>—— (赤/黒線) : 今回申請配管</p> <p>—— : インターロック信号線</p>	<p>名称</p> <p>ウラン回収設備(第2系列)系統図</p>	<p>図番</p> <p>図イ系-10(4/4)</p>	<p>工場棟</p> <p>転換工場</p>
--	--	--	-----------------------------------	------------------------------	------------------------



- \*1:  気体塵埃設備としての申請範囲
- \*2: 飛散防止カバー外設置
- \*3: 耐震重要度分類第1類  
 ———: 耐震重要度分類第3類  
 - - - - : 前回までの申請範囲

UF <sub>6</sub> 蒸発・加水分解設備 耐震分類系統図	工場棟 転換工場
名称	図イ系-補1(1/23)
図番	工場棟 転換工場

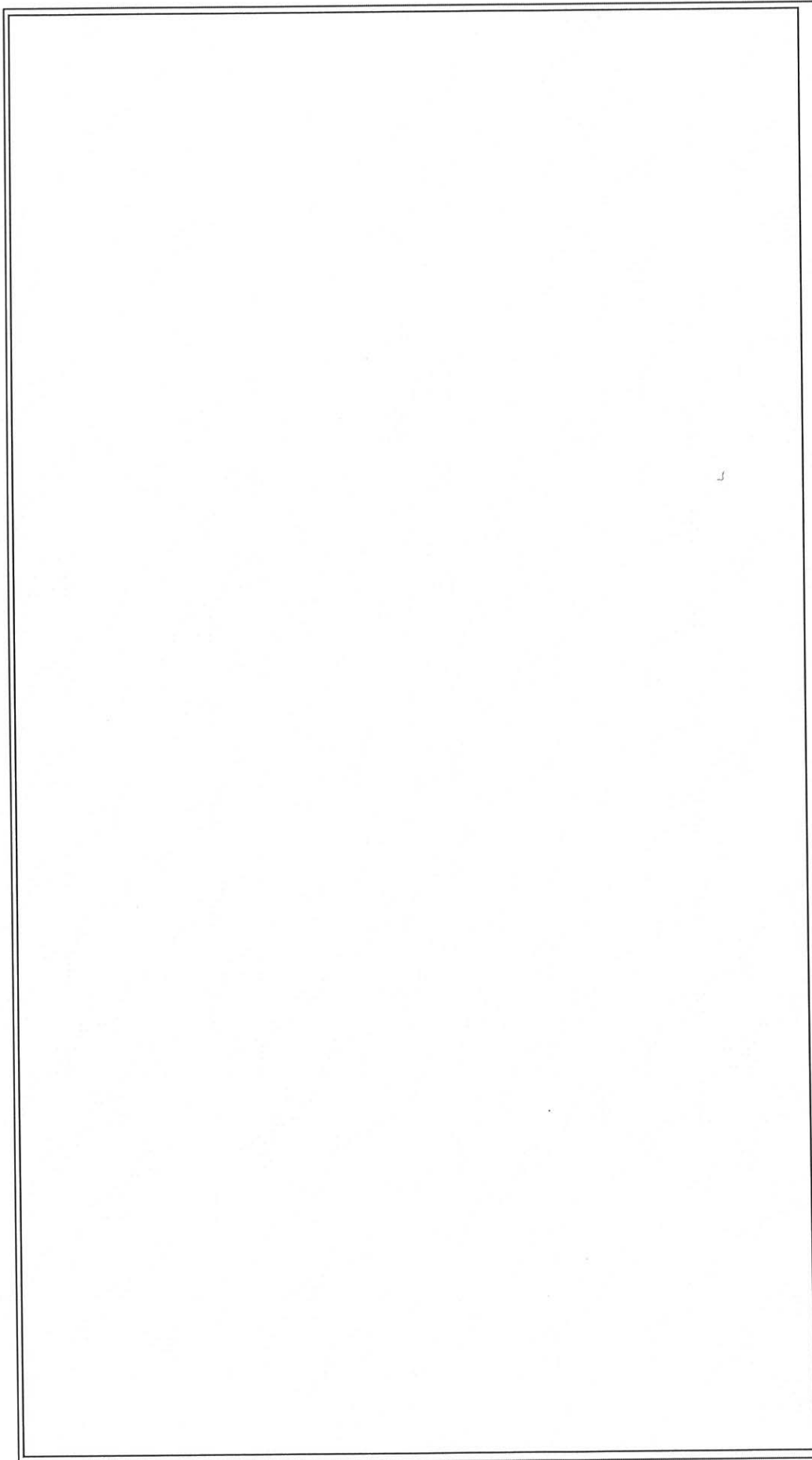
本系統図は第1系列分の系統構成を表記



<p>*1: 気体汚染設備としての申請範囲          *2: 飛散防止カバー外設置          *3: 耐震重要度分類第1類          ———: 耐震重要度分類第3類          - - - - : 耐震重要度分類第2類          . . . . .: 前回までの申請範囲</p>		UF <sub>6</sub> 蒸発・加水分解設備 耐震分類系統図	工場棟 転換工場
名	UF <sub>6</sub> 蒸発・加水分解設備 耐震分類系統図		
称			
図	図イ系-補1(2/23)		
番			

本系統図は第2系列分の系統構成を表記





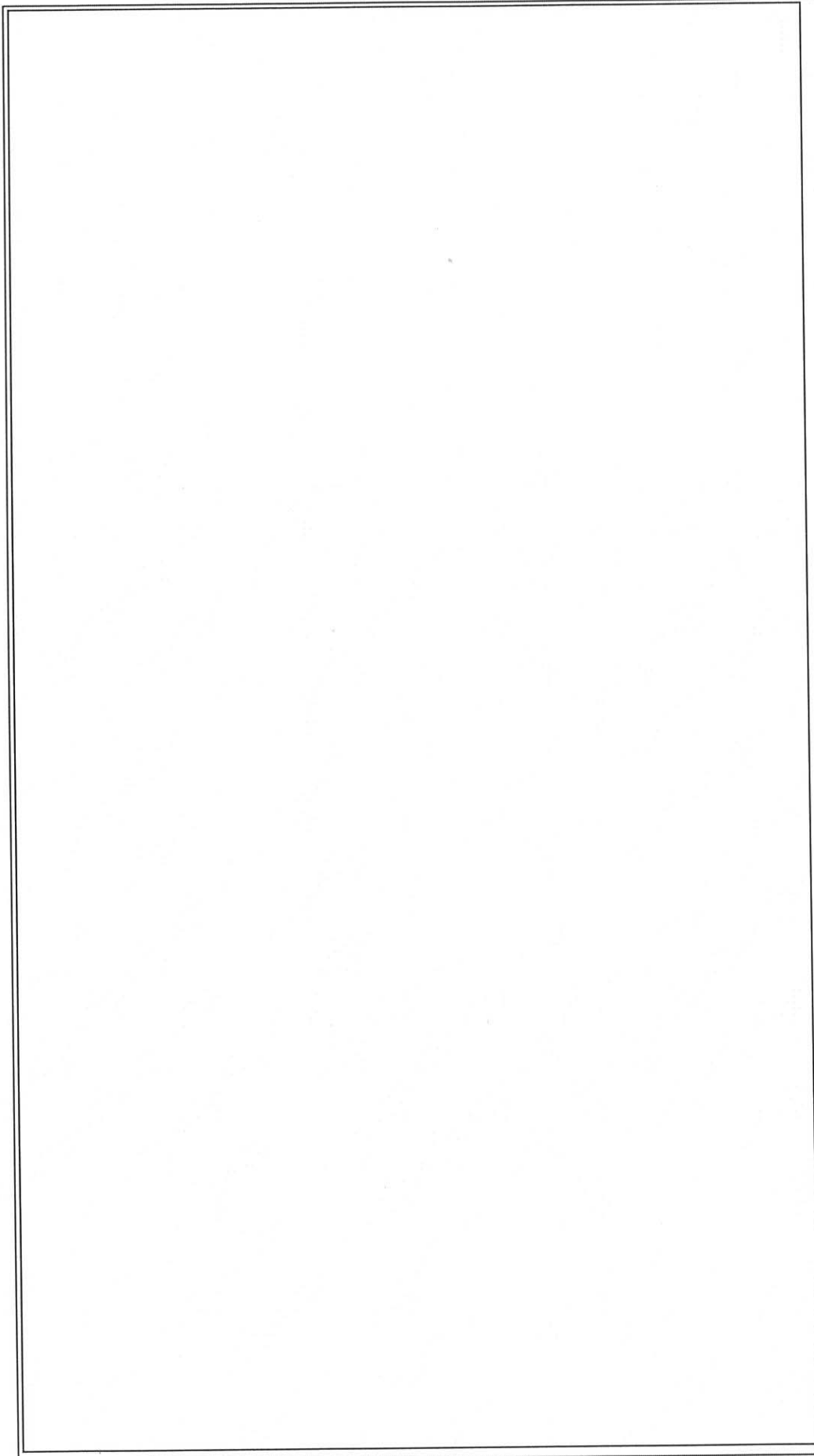
\*1:  配管系統 PVC

\*2: (45)ウラン配管系統 PVC

—: 耐震重要度分類第1類

名称	沈殿設備耐震分類系統図	
図番	図イ系-補1 (3/23)	工場棟 転換工場

本系統図は第1系列分の系統構成を表記

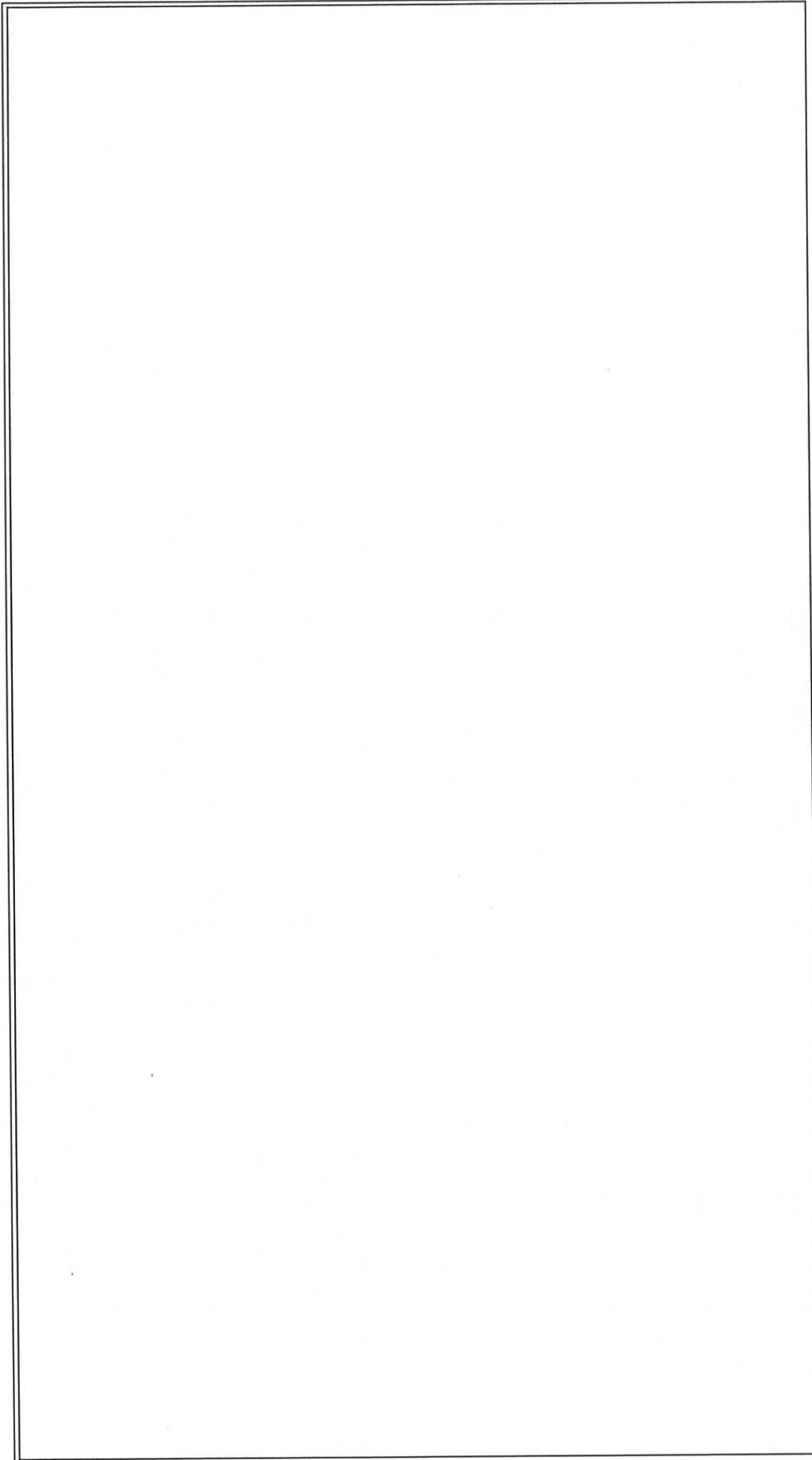


\*1:  (45) プラン配管系統 P/C

—: 耐震重要度分類第1類

名称	沈殿設備耐震分類系統図	
図番	図イ系-補1 (4/23)	工場棟 転換工場

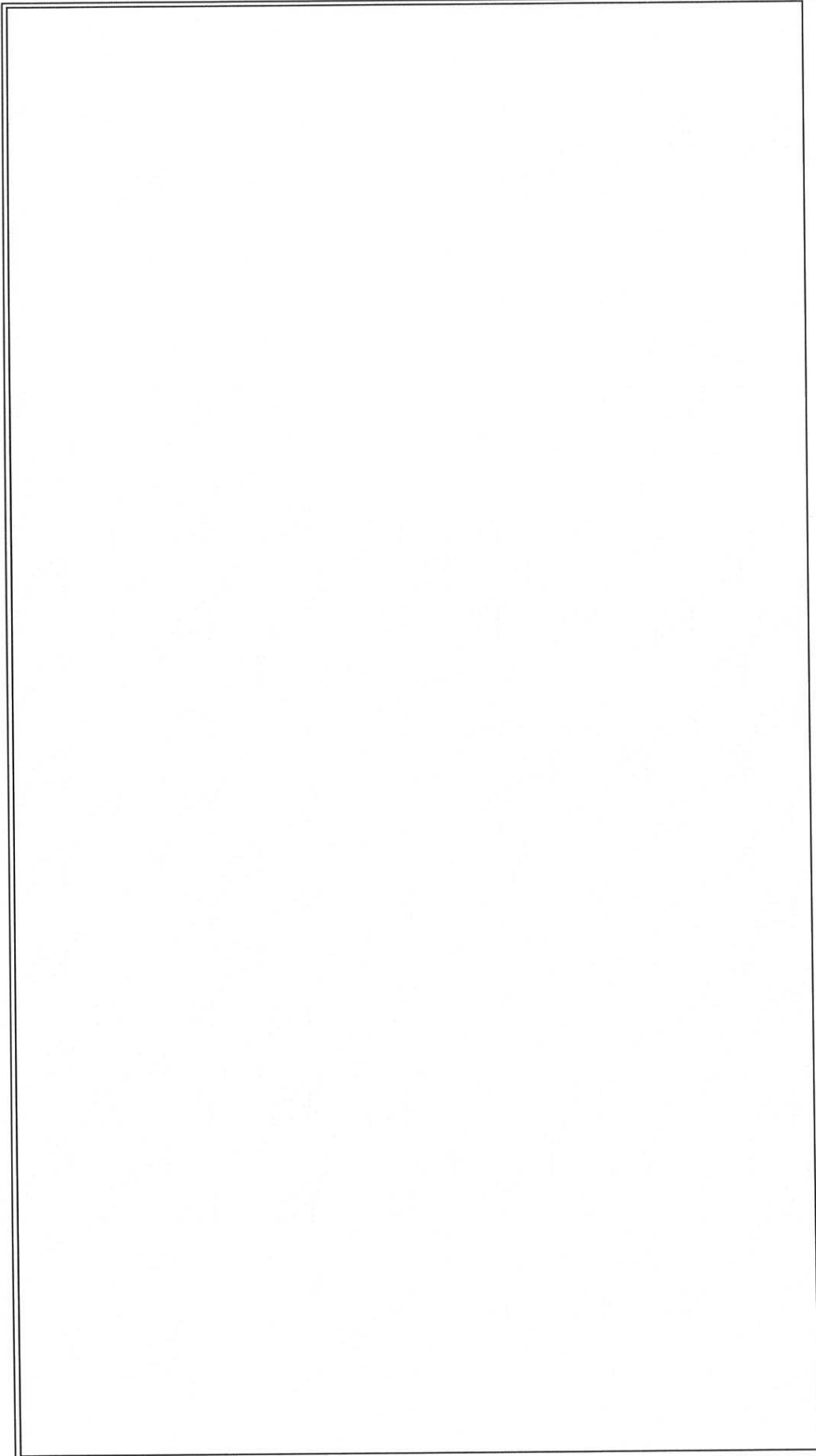
本系統図は第2系列分の系統構成を表記



名称	洗浄設備耐震分類系統図	
図番	図イ系-補1 (5/23)	工場棟 転換工場

——：耐震重要度分類第1類

本系統図は第1系列分の系統構成を表記



洗淨設備耐震分類系統図	
名称	工場棟
図番	図イ系-補1 (6/23) 転換工場

——：耐震重要度分類第1類

本系統図は第2系列分の系統構成を表記

	固液分離設備耐震分類系統図	
	名称	
	図番	工場棟 転換工場
	図イ系-補1(7/23)	

—: 耐震重要度分類第1類

本系統図は第1系列分の系統構成を表記

<div style="border: 1px solid black; height: 800px; width: 100%;"></div>		固液分離設備耐震分類系統図	
		名称	工場棟 転換工場
		図番	図イ系-補1(8/23)

—：耐震重要度分類第1類

本系統図は第2系列分の系統構成を表記

		<p>*1: 気体廃棄設備としての申請範囲</p> <p>—: 耐震重要度分類第1類</p> <p>—: 耐震重要度分類第3類</p>	乾燥設備耐震分類系統図	
			名称	工場棟
	図イ系-補1(9/23)	図番	工場棟 転換工場	

本系統図は第1系列分の系統構成を表記

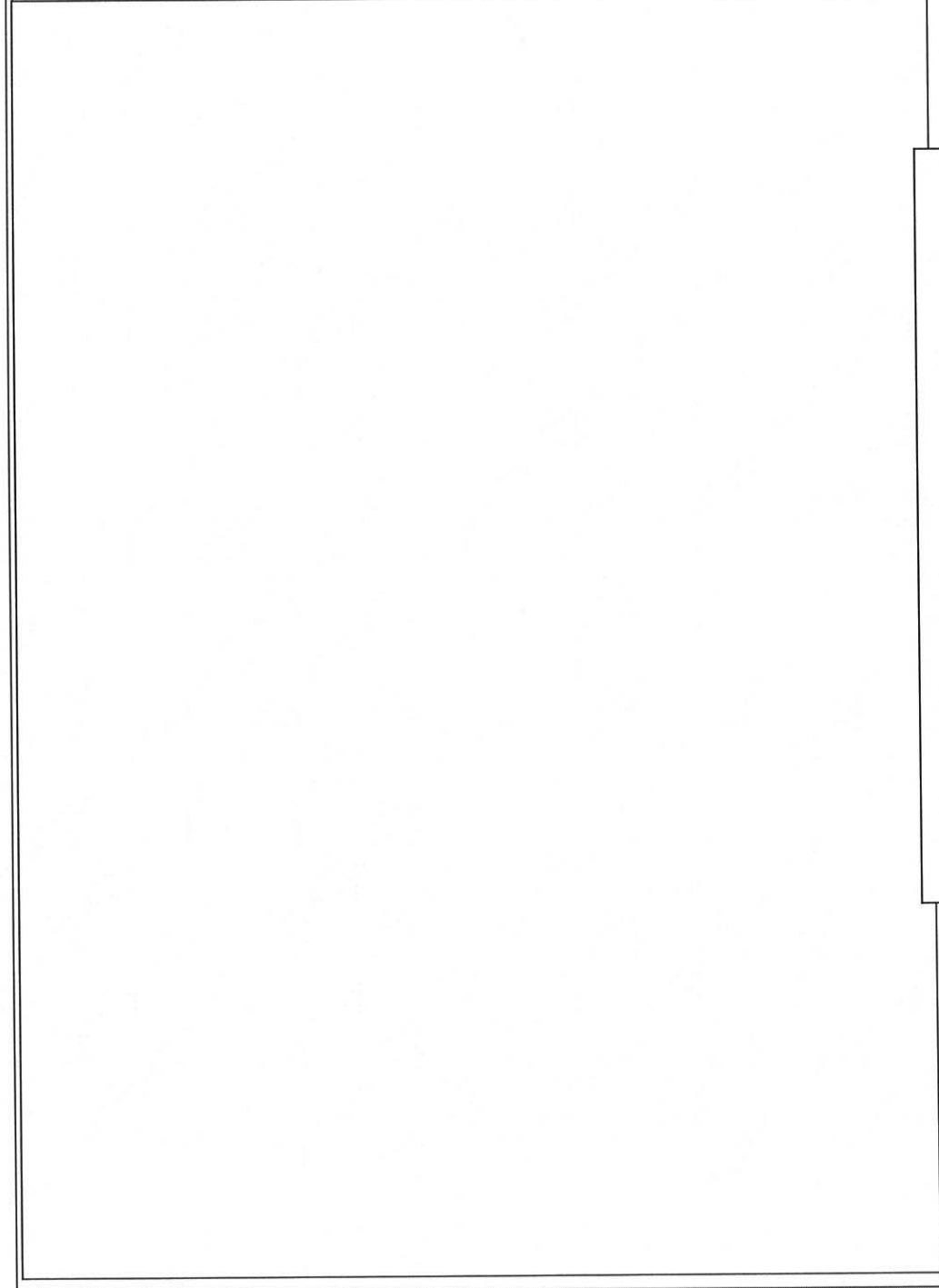
		<p>*1: 気体廃棄設備としての申請範囲</p> <p>—: 耐震重要度分類第1類</p> <p>—: 耐震重要度分類第3類</p>	乾燥設備耐震分類系統図	工場棟 転換工場
		名称		
		図番	図イ系-補1(10/23)	

本系統図は第2系列分の系統構成を表記



	<p>*1：気体廃棄設備としての申請範囲        *2：液体廃棄設備としての申請範囲        —：耐震重要度分類第1類        —：耐震重要度分類第2類        —：耐震重要度分類第3類</p>	<p>焙焼還元設備耐震分類系統図</p>	<p>工場棟        転換工場</p>
	<p>図イ系-補1(11/23)</p>	<p>工場棟        転換工場</p>	

本系統図は第1系列分の系統構成を表記

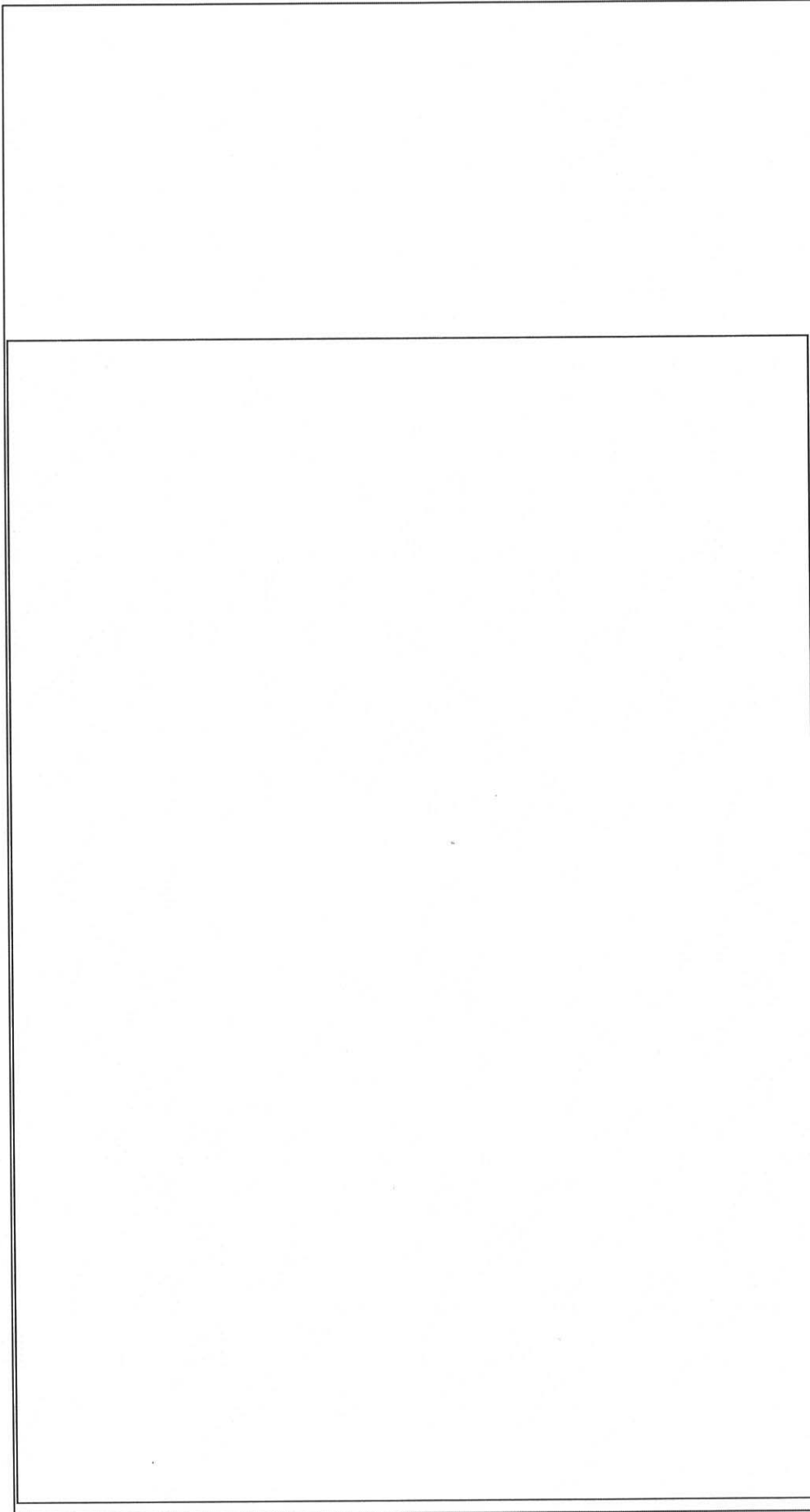
		<p>*1：気体廃棄設備としての申請範囲          *2：液体廃棄設備としての申請範囲          —：耐震重要度分類第1類          —：耐震重要度分類第2類          —：耐震重要度分類第3類</p>	<p>焙焼還元設備耐震分類系統図</p>
	<p>名称</p>	<p>図番</p>	<p>工場棟          転換工場</p>
			<p>図イ系-補1(12/23)</p>

本系統図は第2系列分の系統構成を表記

	<p>*1：気体廃棄設備としての申請範囲          —：耐震重要度分類第1類          —：耐震重要度分類第3類</p>
<p>混合設備 耐震分類系統図</p>	
<p>名称</p>	<p>工場棟 転換工場</p>
<p>図番</p>	<p>図イ系-補1(13/23)</p>

		濃縮度混合設備耐震分類系統図 工場棟 転換工場
名称 図番	図イ系-補1(14/23)	*1：気体廃棄設備としての申請範囲 —：耐震重要度分類第1類 —：耐震重要度分類第3類

<div style="border: 1px solid black; width: 95%; margin: 5px auto; min-height: 80px;"></div>	<p style="text-align: center;">*1：気体廃棄設備としての申請範囲          一：耐震重要度分類第1類          二：耐震重要度分類第3類</p>
<p>濃縮度混合設備耐震分類系統図</p>	<p>工場棟          転換工場</p>
<p>名称</p>	<p>図イ系-補1(15/23)</p>
<p>図番</p>	<p>15/23</p>



名称	濃縮度混合設備耐震分類系統図	
図番	図イ系-補1(16/23)	工場棟 転換工場

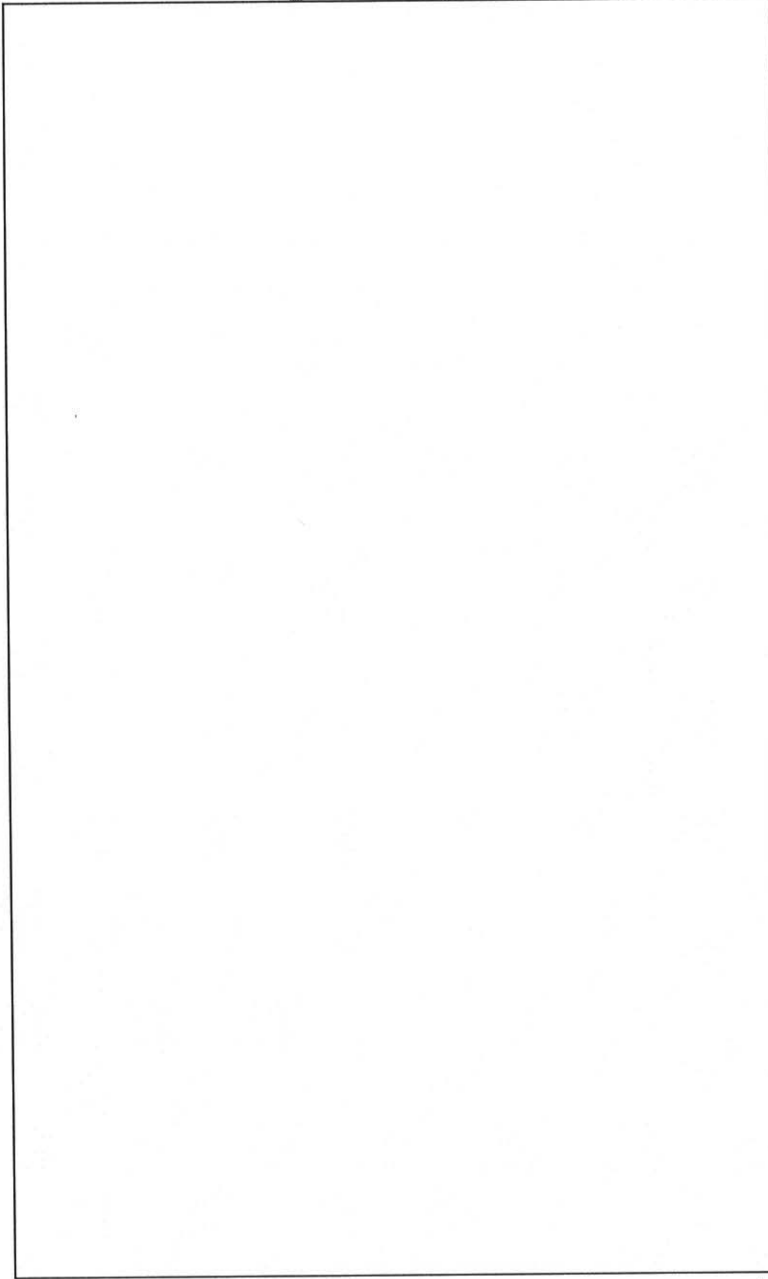
—：耐震重要度分類第1類  
 —：耐震重要度分類第3類  
 \*1：気体廃棄設備としての申請範囲

- ：耐震重要度分類第1類
- ：耐震重要度分類第2類
- ：耐震重要度分類第3類

\*1：気体廃棄設備としての申請範囲  
 \*2：廃液処理設備としての申請範囲

名称	ウラン回収設備（第1系列） 耐震分類系統図	
図番	図イ系-補1(17/23)	工場棟 転換工場

(転換加工室)



—：耐震重要度分類第2類

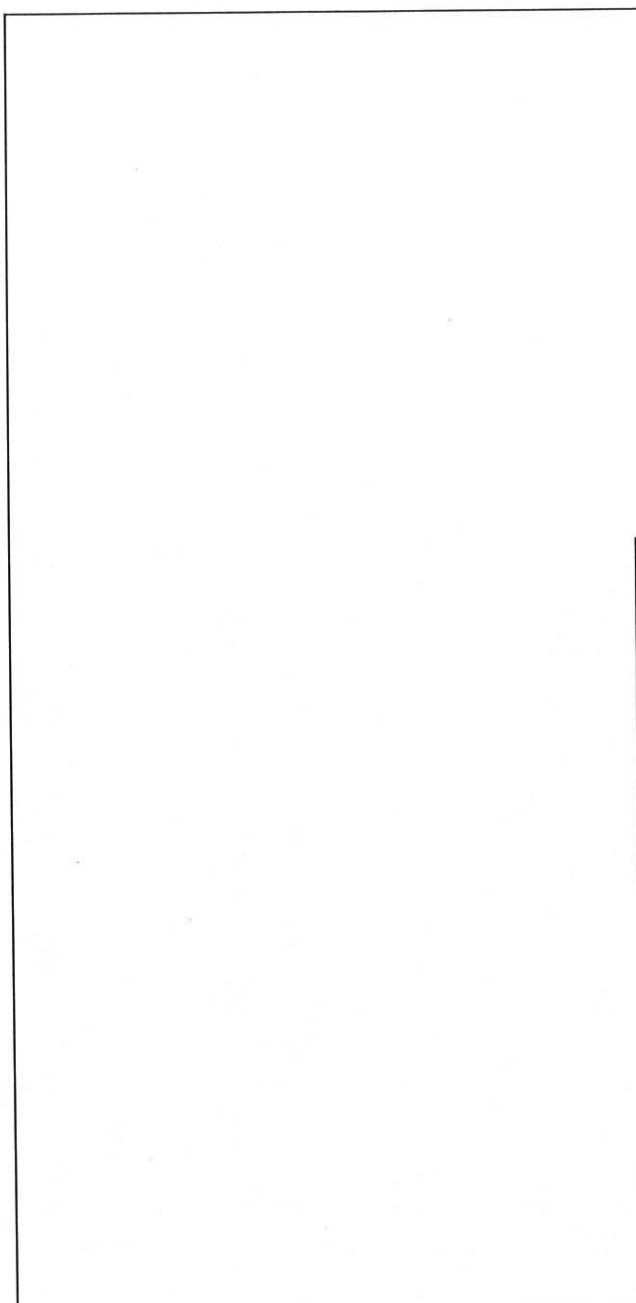
—：耐震重要度分類第3類

\*1：気体廃棄設備としての申請範囲

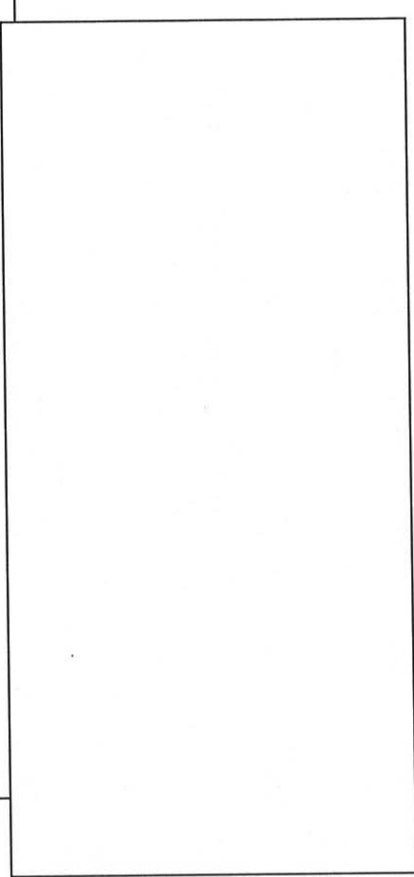
名称	ウラン回収設備（第1系列） 耐震分類系統図	
図番	図イ系-補1(18/23)	工場棟 転換工場



(転換加工室)



- ：耐震重要度分類第1類
- ：耐震重要度分類第2類
- ：耐震重要度分類第3類
- \*1：気体廃棄設備としての申請範囲



名称	ウラン回収設備 (第1系列) 耐震分類系統図	
図番	図イ系-補1 (19/23)	工場棟 転換工場

		<p>*1：(202)イオン交換装置(吸着塔)          *2：(202)廃液配管系統          *3：廃液処理設備としての申請範囲          *4：気体廃棄設備としての申請範囲</p> <p>—：耐震重要度分類第1類          ——：耐震重要度分類第3類</p>	<p>ウラン回収設備(第2系列) 耐震分類系統図</p>	工場棟 転換工場
		<p>名称</p>	<p>図イ系-補1(20/23)</p>	<p>図番</p>

<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>		名称	ウラン回収設備(第2系列) 耐震分類系統図
		図番	図イ系-補1(21/23) 工場棟 転換工場

—: 耐震重要度分類第1類

\*1: 気体処理設備としての申請範囲

\*2: 廃液処理設備としての申請範囲

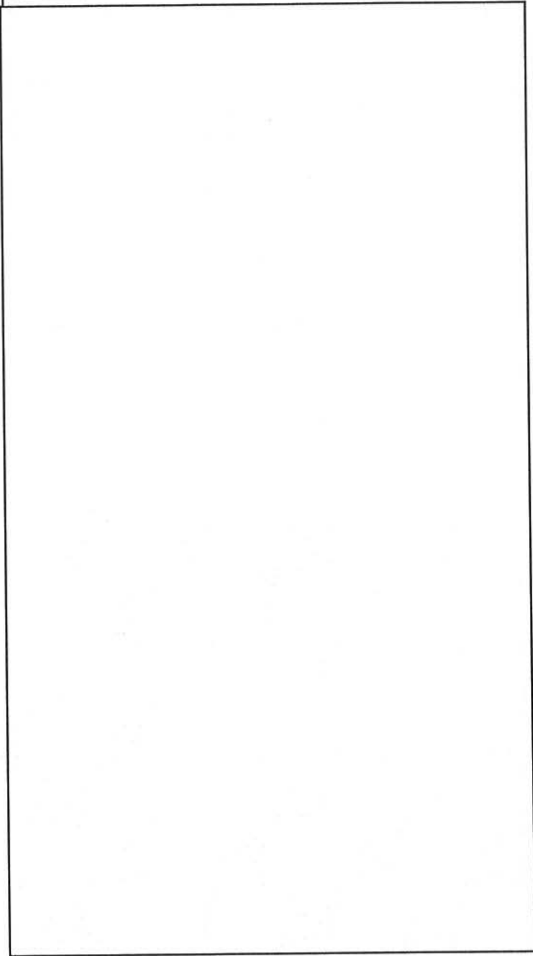
	ウラン回収設備(第2系列) 耐震分類系統図		工場棟 転換工場
	図イ系-補1(22/23)		
	名称	図番	
<p>—：耐震重要度分類第1類  —：耐震重要度分類第2類  —：耐震重要度分類第3類</p> <p>*1：気体廃棄設備としての申請範囲  *2：廃液処理設備としての申請範囲</p>			

	<p>—：耐震重要度分類第2類  —：耐震重要度分類第3類  *1：気体廃棄設備としての申請範囲</p>	
名称	ウラン回収設備(第2系列) 耐震分類系統図	
図番	図イ系-補1(23/23)	工場棟 転換工場

No.	安全機能を有する施設名称	基数
{29}	UO <sub>2</sub> F <sub>2</sub> 貯槽	6
{34}	UO <sub>2</sub> F <sub>2</sub> 貯槽液位高インターロック	-

\*5

内は、耐震計算書の部位名称を示す



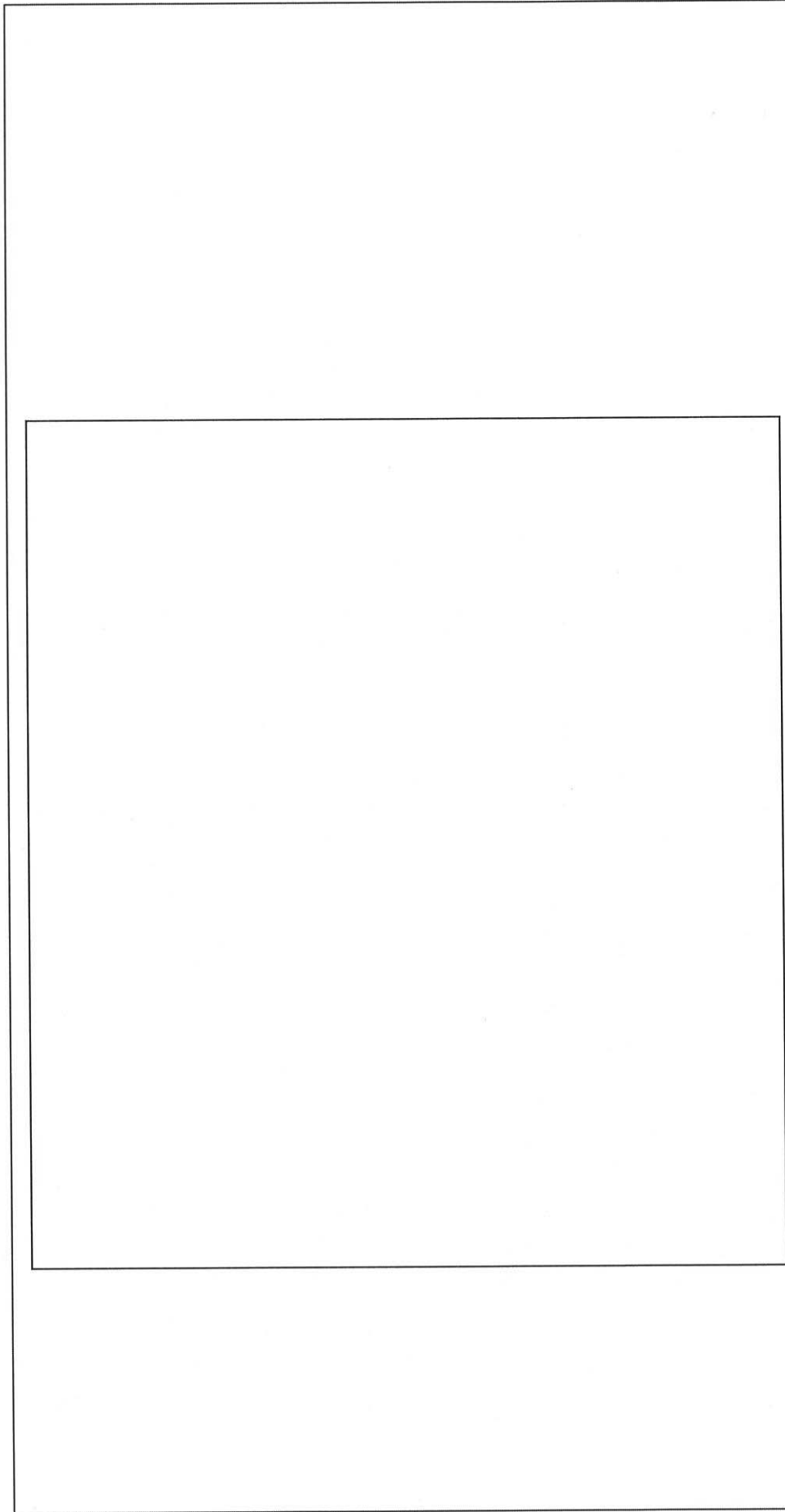
- \*1 : 形状寸法制限 (直径267mm以下)
- \*2 : 耐腐食性材料 ( )
- \*3 : 溢水水位 (床面より160mm)
- \*4 : {34}液位高検知設定位置  
: 槽上面より145mm以上
- \*5 : インターロックの基数については  
インターロック系統図 (図イ制-1)  
参照
- \*6 : 形状寸法制限 (容積 26.5L以下)
- \*7 : 液位計 (フロート式)
- \*8 : 気体廃棄設備 (1)としての申請範囲  
(図ト系1-8参照)
- ░ : ウランが滞留する部分
- ← : 申請機器の配管系統 単位 : mm

名	UF <sub>6</sub> 蒸発・加水分解設備	
称	UO <sub>2</sub> F <sub>2</sub> 貯槽 (1)-A, (1)-B, (1)-C, (2)-A, (2)-B, (2)-C	
図	図イ設-1 (1/5)	工場棟
番		転換工場

	<p>*1 : 形状寸法制限 (直径267mm以下)</p> <p>*2 : 耐腐食性材料 ( <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 80px; height: 15px;"></span> )</p> <p>*3 : 溢水水位 (床面より160mm)</p> <p>*4 : {34} 液位高検知設定位置 : 槽上面より145mm以上</p> <p>*7 : 液位計 (フロート式)</p> <p>*8 : 気体廃棄設備 (1)としての申請範囲 (図ト系1-8参照)</p> <p><span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px; background-color: #cccccc;"></span> : ウランが滞留する部分</p> <p>← : 申請機器の配管系統</p> <p style="text-align: right;">単位 : mm</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">名</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">UF<sub>6</sub>蒸発・加水分解設備</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">称</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">UO<sub>2</sub>F<sub>2</sub>貯槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (2)-A, (2)-B, (2)-C</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">図</td> <td style="text-align: center;">図イ設-1(2/5)</td> <td style="text-align: center;">工場棟</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">番</td> <td></td> <td style="text-align: center;">転換工場</td> </tr> </table>	名	UF <sub>6</sub> 蒸発・加水分解設備		称	UO <sub>2</sub> F <sub>2</sub> 貯槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (2)-A, (2)-B, (2)-C		図	図イ設-1(2/5)	工場棟	番		転換工場
名	UF <sub>6</sub> 蒸発・加水分解設備												
称	UO <sub>2</sub> F <sub>2</sub> 貯槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (2)-A, (2)-B, (2)-C												
図	図イ設-1(2/5)	工場棟											
番		転換工場											

	<p>*1 : 形状寸法制限 (直径267mm以下)</p> <p>*2 : 耐腐食性材料 ( <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></span> )</p> <p>*3 : 溢水水位 (床面より160mm)</p> <p>*4 : {34} 液位高検知設定位置 : 槽上面より145mm以上</p> <p>*7 : 液位計 (フロート式)</p> <p>*8 : 気体廃棄設備(1)としての申請範囲 (図ト系1-8参照)</p> <p><span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px; background-color: #cccccc;"></span> : ウランが滞留する部分</p> <p>← : 申請機器の配管系統</p> <p style="text-align: right;">単位 : mm</p>
名	UF <sub>6</sub> 蒸発・加水分解設備
称	UO <sub>2</sub> F <sub>2</sub> 貯槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (2)-A, (2)-B, (2)-C
図	図イ設-1(3/5)
番	工場棟 転換工場





火災対策の説明図

\*9 : 容積 1.2L以上

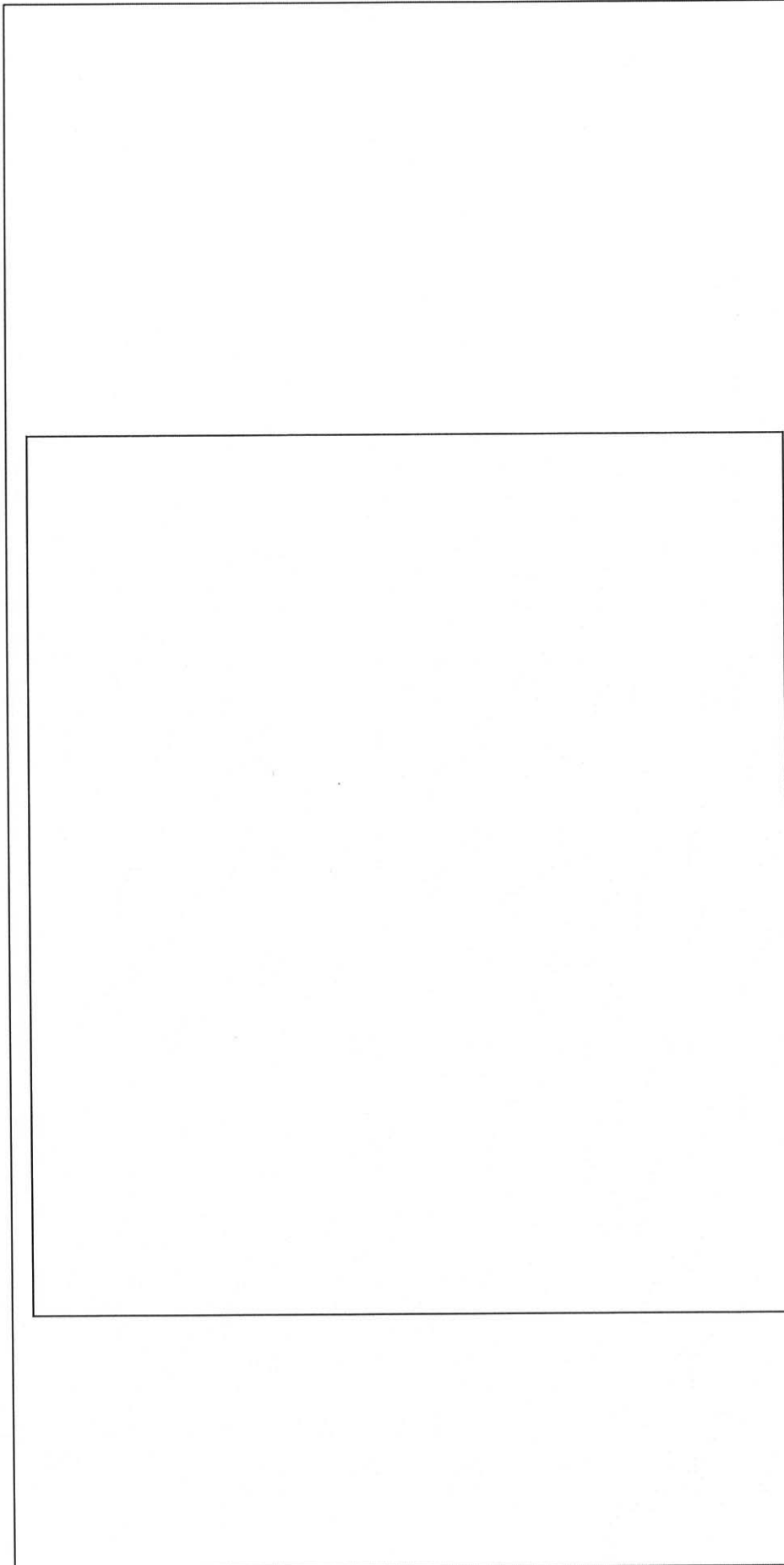
\*10 : 遮熱板から防護対象(PC)までの

距離及び判定基準は図イ設-133参照

▨ : 潤滑油を有する部位

単位 : mm

名称	UF <sub>2</sub> 蒸発・加水分解設備 UF <sub>2</sub> 貯槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (2)-A, (2)-B, (2)-C
図番	図イ設-1(4/5) 工場棟 転換工場




火災対策の説明図

\*9：容積 1.2L以上

\*10：遮熱板から防護対象(PC)までの

距離及び判定基準は図イ設-133参照

：潤滑油を有する部位

単位：mm

名称	UF <sub>2</sub> 蒸発・加水分解設備
図番	UF <sub>2</sub> 貯槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (2)-A, (2)-B, (2)-C 図イ設-1(5/5)
	工場棟 転換工場

No.	安全機能を有する施設名称	基数
{30}	熱交換器	2
<input type="checkbox"/> 内は、耐震計算書の部位名称を示す		
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>*1 : 形状寸法制限 (容積26.5L以下)</p> <p>*2 : 耐腐食性材料 (<input type="checkbox"/>)</p> <p>*3 : 溢水水位 (床面より160mm)</p> <p>*4 : 溶液の飛散を防止する</p> <p>*5 : ボルト支点間距離 (300mm以上)</p> <p>*6 : 漏えい液を回収する</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p><input type="checkbox"/> : ウランが滞留する部分</p> </div> </div>		
名称	UF <sub>6</sub> 蒸発・加水分解設備	
図番	熱交換器 (UO <sub>2</sub> F <sub>2</sub> 貯槽) (1) (2)	工場棟 転換工場
	図イ設-2 (1/2)	

内は、耐震計算書の部位名称を示す

名	称	UF <sub>v</sub> 蒸発・加水分解設備	工場棟 転換工場
図	番	熱交換器(UO <sub>2</sub> F <sub>2</sub> 貯槽)(1)(2)	図イ設-2(2/2)

- \*1 : 形状寸法制限 (容積26.5L以下)
  - \*2 : 耐腐食性材料 ( )
  - \*3 : 溢水水位 (床面より160mm)
  - \*4 : 溶液の飛散を防止する
  - \*5 : ボルト支点間距離 (300mm以上)
  - \*6 : 漏えい液を回収する
- : ウランが滞留する部分

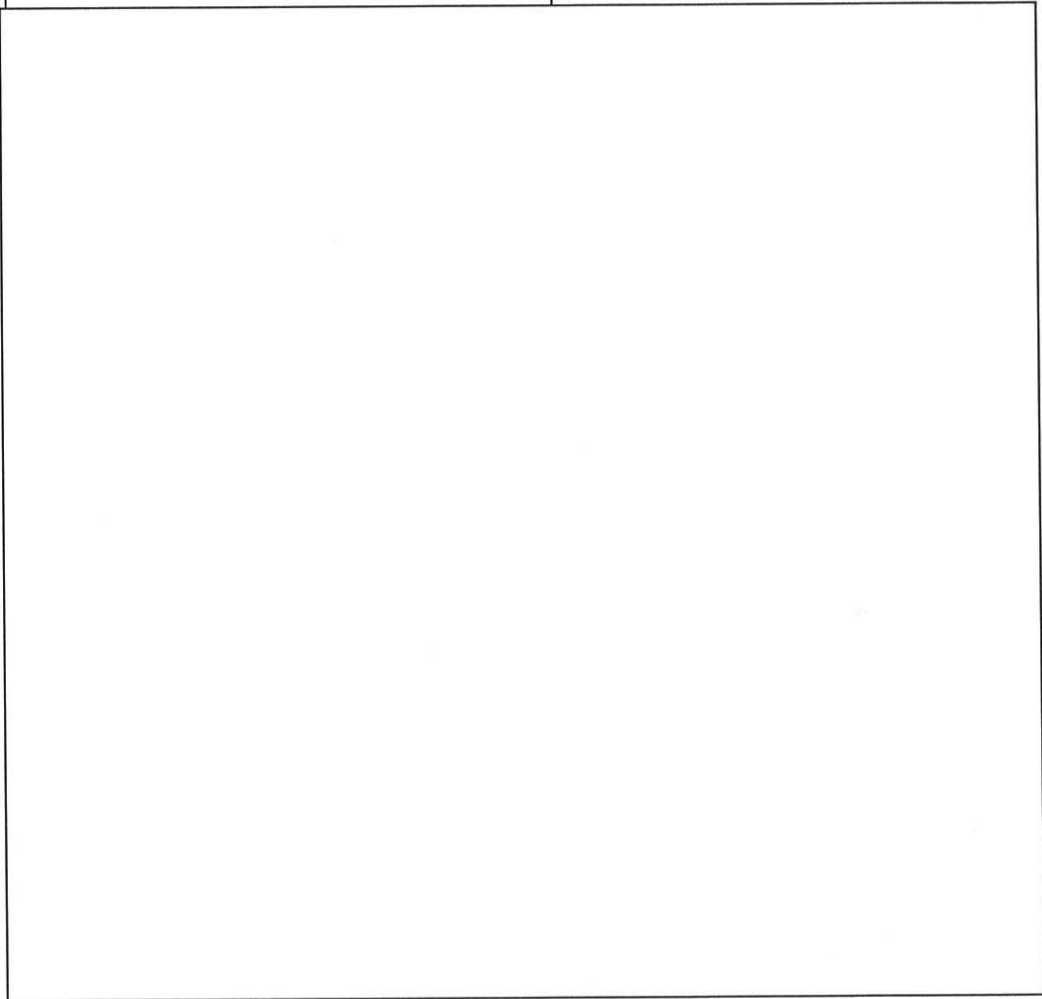
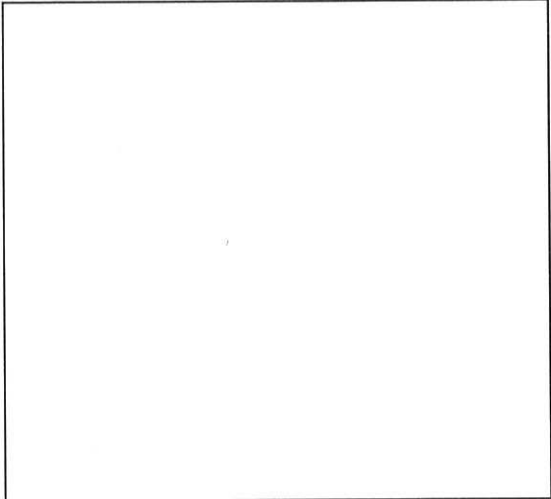
No.	安全機能を有する施設名称	基数
{31}	堰 (U <sub>0</sub> F <sub>2</sub> 貯槽)	2
{32}	堰漏水検知警報設備	-
<p>内は、耐震計算書の部位名称を示す</p>		
<p>*1：堰の溢水堰側に漏水検知警報設備を設置する            *2：形状寸法制限（厚み127mm以下）            *3：耐腐食性材料            *4：床との接触面            *5：{32}堰漏水検知警報設備（漏水検知器（電極式））            高さ：転換加工室床面の高さから20mm以上、100mm以下</p> <p>*6：警報設備の基数については警報設備系統図（図イ制-49）参照            *7：{33}飛散防止カバーの範囲外の堰には、上部に蓋を設置し、堰内のU<sub>0</sub>F<sub>2</sub>漏えい液と室内空気を隔離する。</p> <p>—————：溢水防護区画</p>		
<p>単位：mm</p>		
名称	UF <sub>2</sub> 蒸発・加水分解設備 堰 (U <sub>0</sub> F <sub>2</sub> 貯槽) (1) (2)	工場棟 転換工場
図番	図イ設-3 (1/3)	

□内は、耐震計算書の部位名称を示す

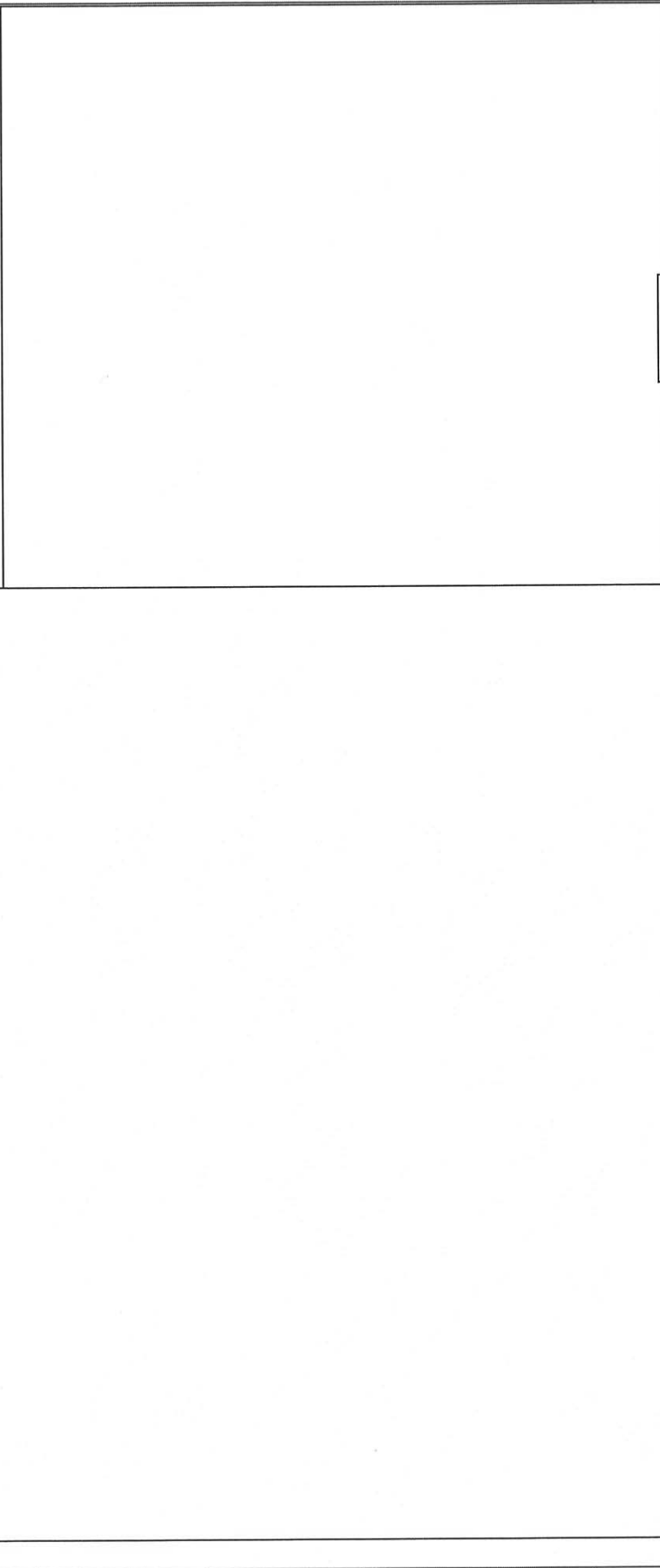

--	--

名称	UF <sub>2</sub> 蒸発・加水分解設備 堰(UO <sub>2</sub> F <sub>2</sub> 貯槽)(1)(2)
図番	図イ設-3(2/3) 工場棟 転換工場

内は、耐震計算書の部位名称を示す



名称	UF <sub>6</sub> 蒸発・加水分解設備 堰(UO <sub>2</sub> F <sub>2</sub> 貯槽)(1)(2)
図番	図イ設-3(3/3) 工場棟 転換工場

	No.	安全機能を有する施設名称	基數
	{33}	飛散防止カバー	2
<p>*1: UO<sub>2</sub> 溶液を取り扱わないが、調液貯槽の原液ポンプ(2)をカバー内に収めるため、原液ポンプ(2)近隣の当該貯槽もカバー内に収める</p>			
			
			単位: mm
名称	UF <sub>6</sub> 蒸発・加水分解設備		
図番	飛散防止カバー(1)(2)		
	図イ設-4(1/5)		工場棟 転換工場
 : 沈殿設備共通梁台(加水設備共通梁台)の床			



□内は、耐震計算書の部位名称を示す

[Empty space for drawing or notes]

□ パネル (耐腐食性材料: □、□に耐腐食塗料)

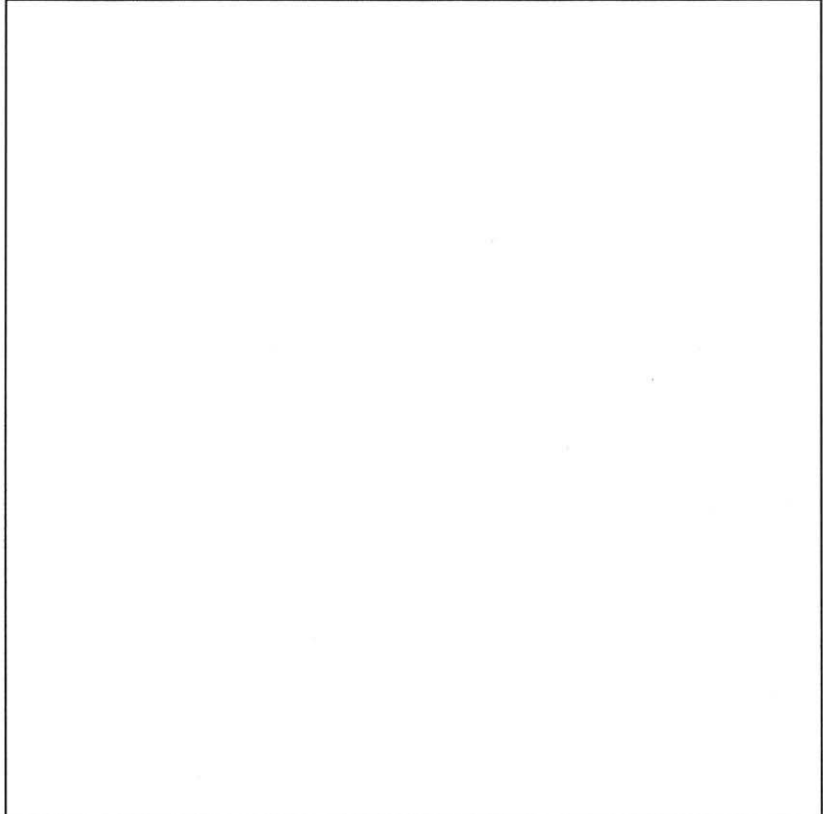


単位: mm

名称	UF <sub>6</sub> 蒸発・加水分解設備 飛散防止カバー(1)(2)
図番	図イ設-4(2/5)
	工場棟 転換工場

\*2: 沈設設備共通架台(加水設備共通架台)の一部として評価する

□内は、耐震計算書の部位名称を示す



□ パネル (耐腐食性材料: □、□に耐腐食塗料)



単位: mm

名	UF <sub>6</sub> 蒸発・加水分解設備
称	飛散防止カバー(1) (2)
図	図イ設-4 (3/5)
番	工場棟 転換工場

\*1: UF<sub>6</sub>溶液を取り扱わないが、調液貯槽の原液ポンプ(2)をカバー内に収めるため、原液ポンプ(2)近隣の当該貯槽もカバー内に収める  
 \*2: 沈殿設備共通架台(加水設備共通架台)の一部として評価する

□内は、耐震計算書の部位名称を示す

単位：mm

名	UF <sub>6</sub> 蒸発・加水分解設備
称	飛散防止カバー(1)(2)
図	図イ設-4(4/5)
番	工場棟 転換工場

\*3：UO<sub>2</sub>F<sub>2</sub>配管用防護カバー内の漏えい液は、飛散防止カバー及びび堰(UO<sub>2</sub>F<sub>2</sub>貯槽)に流れる

□：パネル（耐腐食性材料）

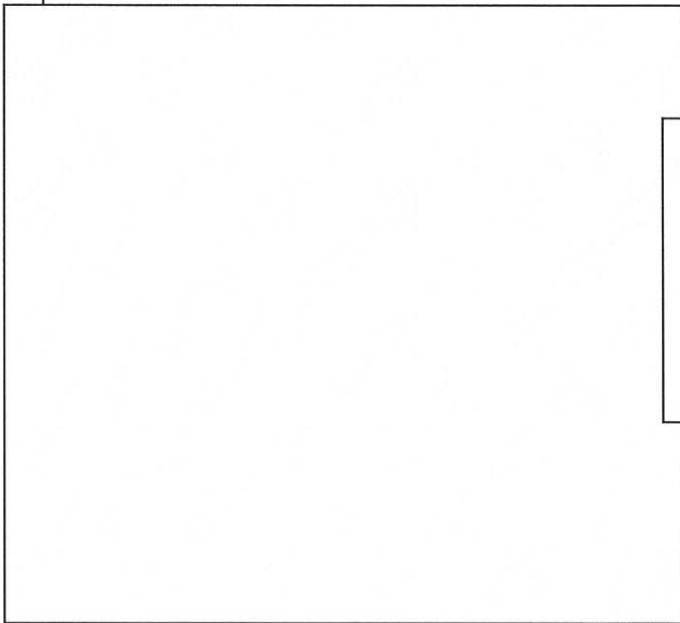
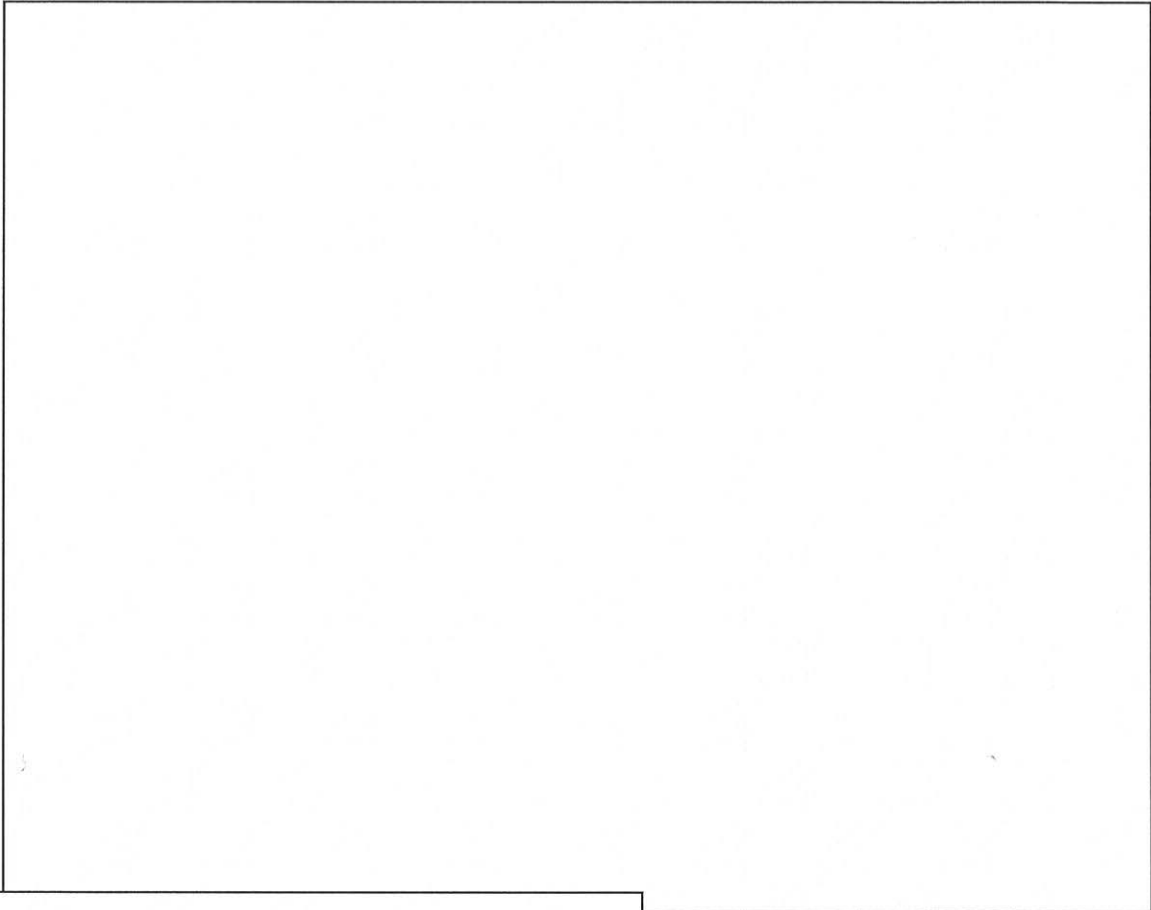
		UF <sub>6</sub> 蒸発・加水分解設備 飛散防止カバー(1)(2)
	<p>名称</p> <p>図番</p>	<p>工場棟 転換工場</p>
		<p>名称</p> <p>図番</p>
		<p>UF<sub>6</sub>蒸発・加水分解設備 飛散防止カバー(1)(2)</p> <p>工場棟 転換工場</p>

[ZZZ]: 沈殿設備共通架台(加水共通架台)の床  
 \*4: 熱交換器からの漏えい液は、飛散防止カバー及び  
 堰(UO<sub>2</sub>F<sub>2</sub>貯槽)に流れる

No.	安全機能を有する施設名称	基数
{35}	液受槽	2
{36}	液受槽液位高インターロック	-

\*5

□内は、耐震計算書の部位名称を示す



\*1 : 形状寸法制限 (直径267mm以下)

\*2 : 耐腐食性材料 (□)

\*3 : 溢水水位 (床面より160mm)

\*4 : {36} 液位高検知設定位置  
: 槽上面より160mm以上

\*5 : インターロックの基数については  
インターロック系統図 (図イ制-2)  
参照

\*6 : 液位計 (フロート式)

\*7 : 形状寸法制限 (容積 26.5L以下)

\*8 : 気体廃棄設備 (1) としての申請範囲  
(図ト系1-8参照)

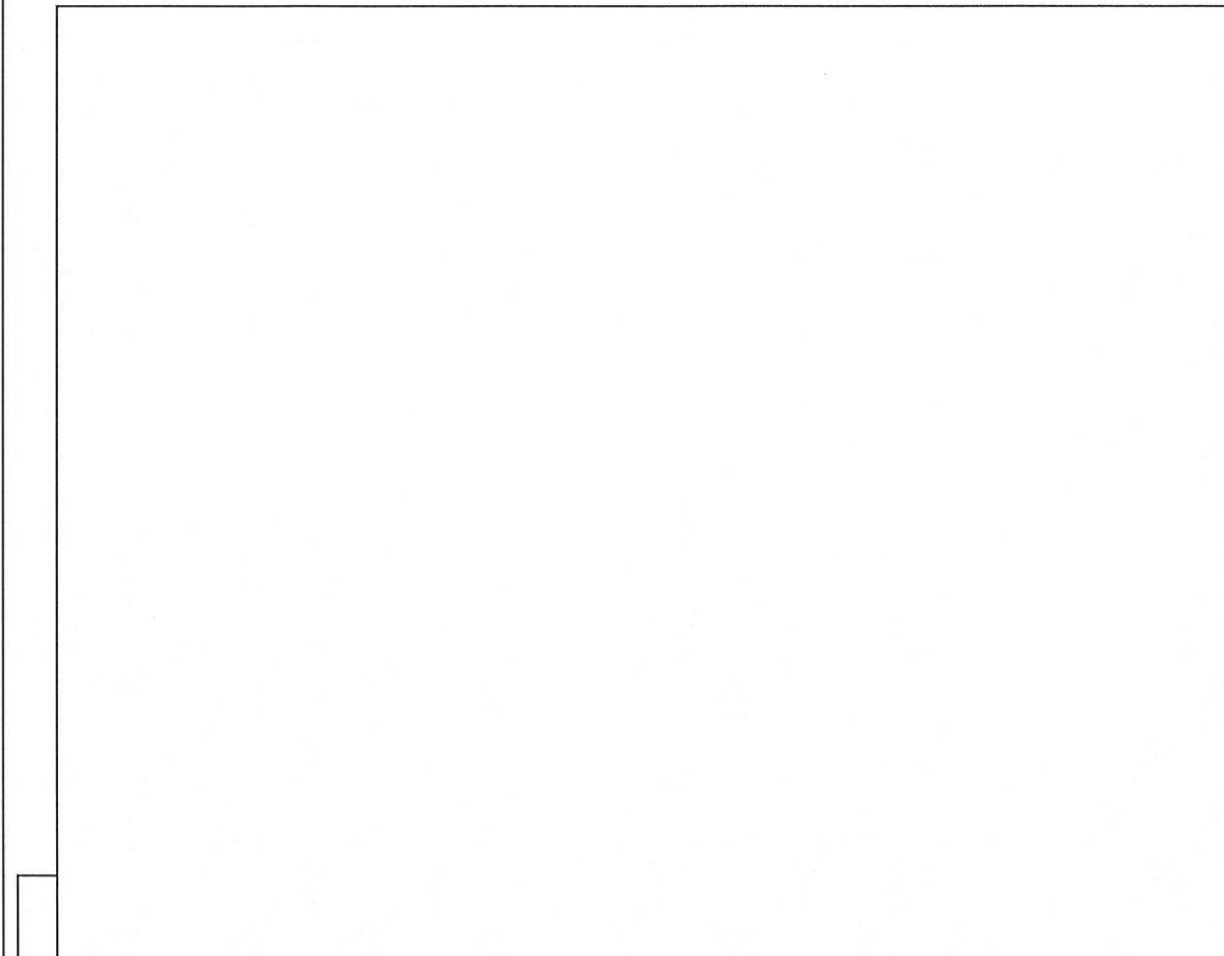
■ : ウランが滞留する部分

← : 申請機器の配管系統

単位 : mm

名称	UF <sub>6</sub> 蒸発・加水分解設備 液受槽(1)(2)	
図番	図イ設-5(1/4)	工場棟 転換工場

□内は、耐震計算書の部位名称を示す



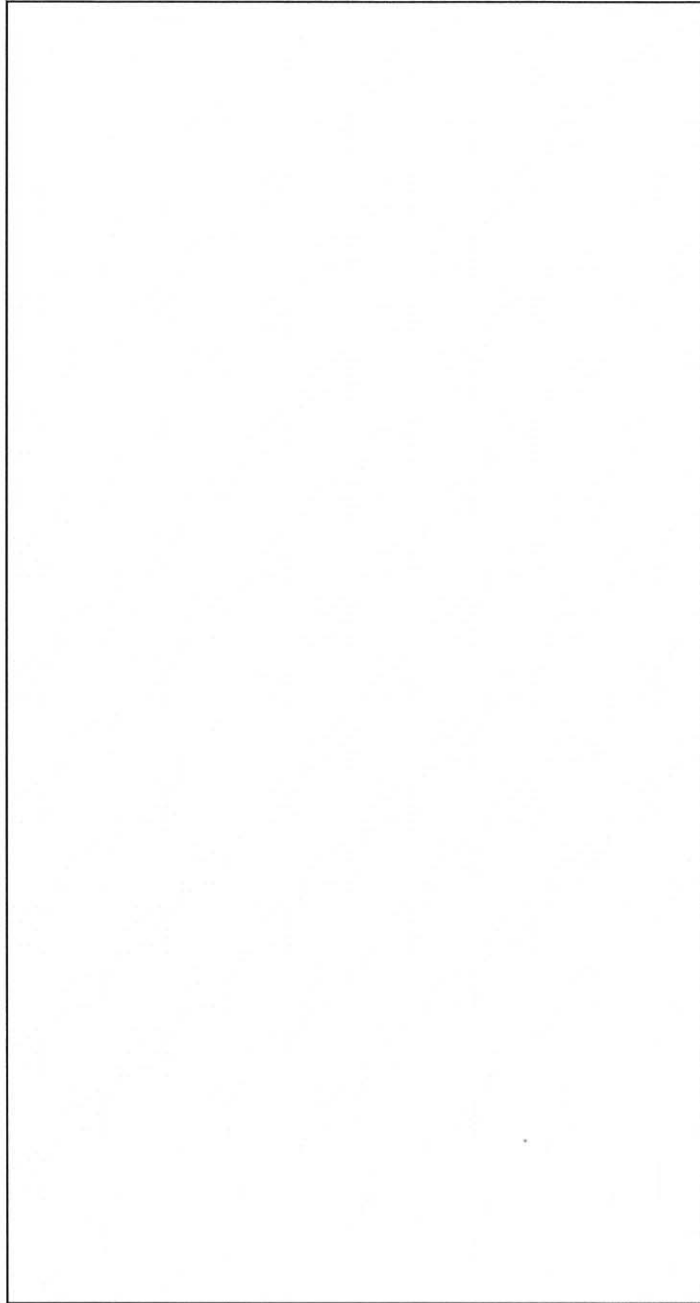
循環ポンプ詳細



- \*1 : 形状寸法制限 (直径267mm以下)
- \*2 : 耐腐食性材料 (□)
- \*3 : 溢水水位 (床面より160mm)
- \*4 : {36} 液位高検知設定位置  
: 槽上面より160mm以上
- \*6 : 液位計 (フロート式)
- \*7 : 形状寸法制限 (容積 26.5L以下)
- \*8 : 気体廃棄設備 (1)としての申請範囲  
(図ト系1-8参照)
- : ウランが滞留する部分
- ← : 申請機器の配管系統

単位 : mm

名 称	UF <sub>6</sub> 蒸発・加水分解設備	
	液受槽(1)(2)	
図 番	図イ設-5(2/4)	工場棟 転換工場



火災対策の説明図

\*9 : 容積 8.5L以上

\*10 : 遮熱板から防護対象(PC)までの

距離及び判定基準は図イ設-133参照

 : 潤滑油を有する部位

単位 : mm

名称	UF <sub>6</sub> 蒸発・加水分解設備	
図番	液受槽(1)(2)	工場棟 転換工場
	図イ設-5(3/4)	

火災対策の説明図

\*9 : 容積 8.5L以上

\*10 : 遮熱板から防護対象(PC)までの距離及び判定基準は図イ設-133参照

: 潤滑油を有する部位

単位 : mm

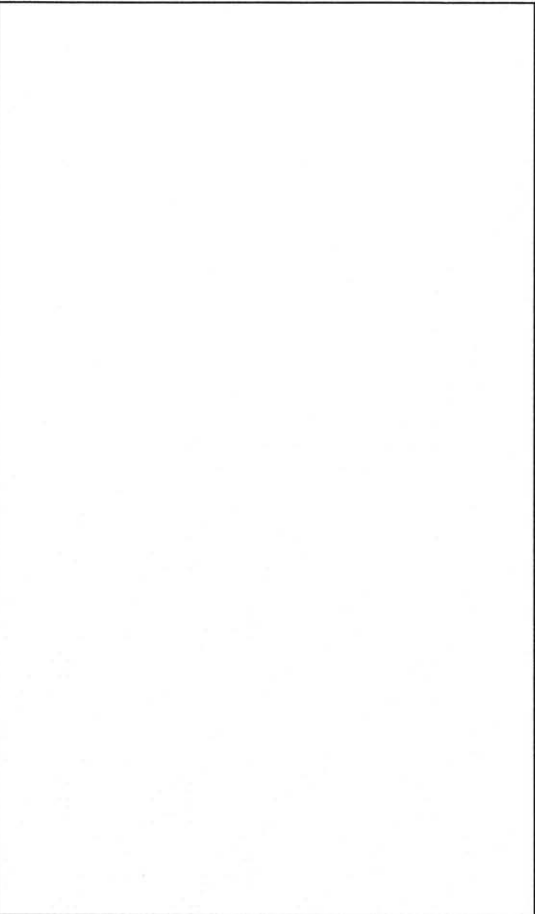
名称	UF <sub>6</sub> 蒸発・加水分解設備 液受槽(1)(2)	
図番	図イ設-5(4/4)	工場棟 転換工場



No.	安全機能を有する施設名称	基数
{37}	調液貯槽	4
{39}	調液貯槽液位高インターロック	-

\*5

□内は、耐震計算書の部位名称を示す



- \*1 : 形状寸法制限 (直径267mm以下)
- \*2 : 耐腐食性材料 (□)
- \*3 : 溢水水位 (床面より160mm)
- \*4 : 液位高検知設定位置  
: 槽上面より410mm以上
- \*5 : インターロックの基数については  
インターロック系統図(図イ制-3)参照
- \*6 : 液位計 (フロート式)
- \*7 : 形状寸法制限 (容積 26.5L以下)
- \*8 : 気体廃棄設備(1)としての申請範囲  
(図ト系1-8参照)
- ▨ : ウランが滞留する部分
- ← : 申請機器の配管系統



単位 : mm

名	UF <sub>6</sub> 蒸発・加水分解設備	
称	調液貯槽(1)-A, (1)-B, (2)-A, (2)-B	
図	図イ設-6(1/6)	工場棟
番		転換工場

□内は、耐震計算書の部位名称を示す

- \*1 : 形状寸法制限 (直径267mm以下)
  - \*2 : 耐腐食性材料 (□)
  - \*3 : 溢水水位 (床面より160mm)
  - \*4 : 液位高検知設定位置  
: 槽上面より410mm以上
  - \*6 : 液位計 (フロート式)
  - \*8 : 気体廃棄設備(1)としての申請範囲  
(図ト系1-8参照)
  - : ウランが滞留する部分
  - ← : 申請機器の配管系統
- 単位 : mm

名称	UF <sub>6</sub> 蒸発・加水分解設備 調液貯槽(1)-A, (1)-B, (2)-A, (2)-B	
	図イ設-6(2/6)	工場棟 転換工場

□内は、耐震計算書の部位名称を示す

□

\*1 : 形状寸法制限 (直径267mm以下)

\*2 : 耐腐食性材料 (□)

\*3 : 溢水水位 (床面より160mm)

\*4 : 液位高検知設定位置  
: 槽上面より410mm以上

\*6 : 液位計 (フロート式)

\*8 : 気体廃棄設備(1)としての申請範囲  
(図ト系1-8参照)

▨ : ウランが滞留する部分

← : 申請機器の配管系統

単位 : mm

名	UF <sub>6</sub> 蒸発・加水分解設備	
称	調液貯槽(1)-A, (1)-B, (2)-A, (2)-B	
図	図イ設-6(3/6)	工場棟
番		転換工場

□内は、耐震計算書の部位名称を示す

- \*1 : 形状寸法制限 (直径267mm以下)
- \*2 : 耐腐食性材料 (□)
- \*3 : 溢水水位 (床面より160mm)
- \*4 : 液位高検知設定位置  
: 槽上面より410mm以上
- \*6 : 液位計 (フロート式)
- \*7 : 形状寸法制限 (容積 26.5L以下)
- \*8 : 気体廃棄設備(1)としての申請範囲  
(図ト系1-8参照)
- : ウランが滞留する部分
- ← : 申請機器の配管系統

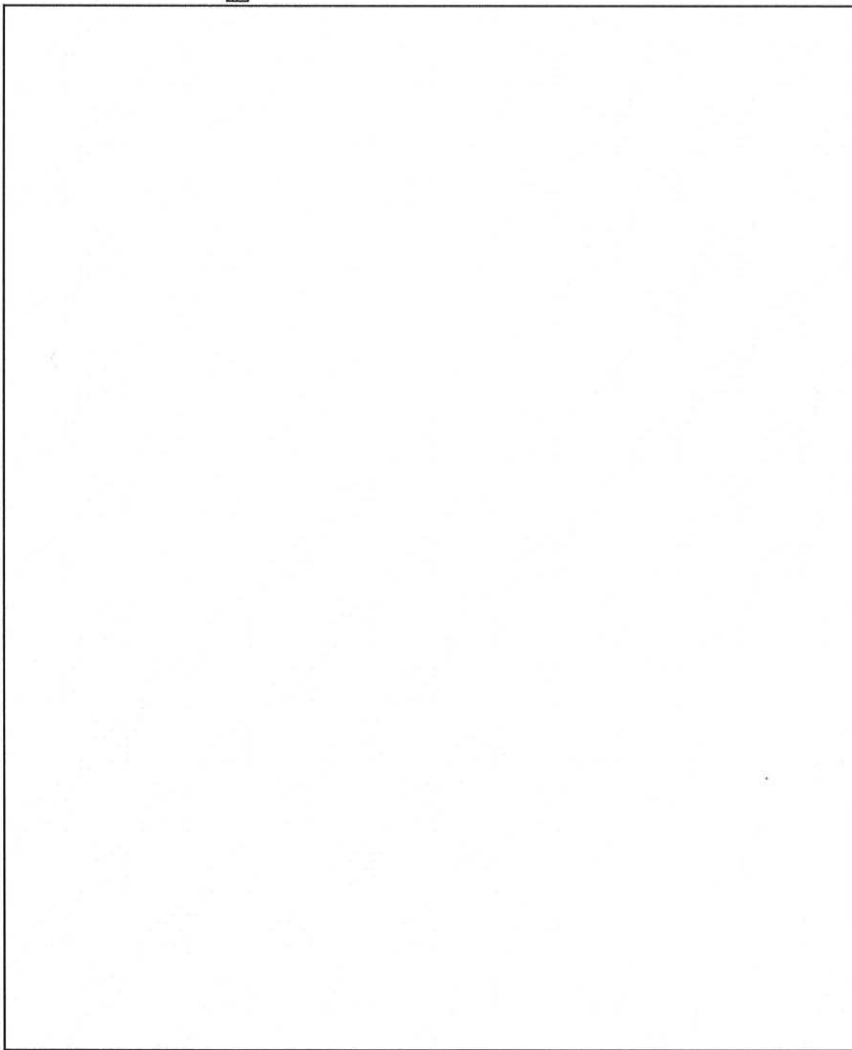
単位 : mm

名 称	UF <sub>6</sub> 蒸発・加水分解設備 調液貯槽 (1)-A, (1)-B, (2)-A, (2)-B	
	図 番	工場棟 転換工場
	図イ設-6(4/6)	

\*9：容積 1.6L以上

\*10：遮熱板から防護対象(PC)までの  
距離及び判定基準は図イ設-133参照

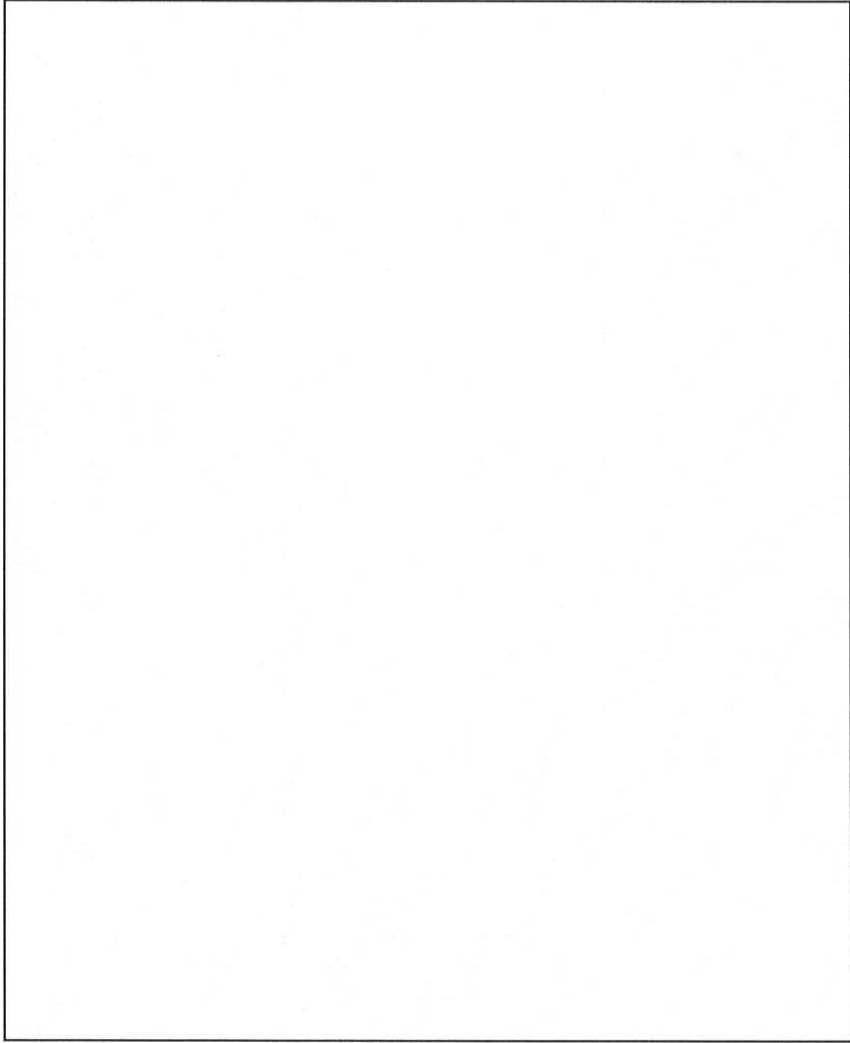
：潤滑油を有する部位



火災対策の説明図

単位：mm

名称	UF <sub>2</sub> 蒸発・加水分解設備	
図番	調液貯槽(1)-A, (1)-B, (2)-A, (2)-B	工場棟 転換工場
	図イ設-6(5/6)	



\*10 : 遮熱板から防護対象(PC)までの  
距離及び判定基準は図イ設-133参照

\*11 : 容積 1.2L以上

 : 潤滑油を有する部位

火災対策の説明図

単位 : mm

名称	UF <sub>2</sub> 蒸発・加水分解設備	
図番	調液貯槽(1)-A, (1)-B, (2)-A, (2)-B	工場棟 転換工場
	図イ設-6(6/6)	

No. {38}	安全機能を有する施設名称 熱交換器	基礎 2
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 80%; height: 80%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <p style="text-align: center;">内は、耐震計算書の部位名称を示す</p> </div> </div>		
名称	UF、蒸発・加水分解設備 熱交換器(調液貯槽)(1)(2)	
図番	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 80%; height: 80%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <p style="text-align: center;">：ウランが滞留する部分</p> </div> </div> <p>*1 : 形状寸法制限 (容積26.5L以下)    *4 : 溶液の飛散を防止する  *2 : 耐腐食性材料 ( )                *5 : ボルト支点間距離 (300mm以上)  *3 : 溢水水位 (床面より160mm)       *6 : 漏えい液を回収する</p>	

<input type="checkbox"/> 内は、耐震計算書の部位名称を示す	<div style="border: 1px solid black; height: 500px; width: 100%;"></div>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1257 712 1353 752">名称</td> <td data-bbox="1257 208 1353 712">UF<sub>6</sub>蒸発・加水分解設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1353 712 1449 752">図番</td> <td data-bbox="1353 208 1449 712">           熱交換器(調液貯槽)(1)(2)            図イ設一7(2/2)         </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1353 394 1449 712">工場棟 転換工場</td> </tr> </table>	名称	UF <sub>6</sub> 蒸発・加水分解設備	図番	熱交換器(調液貯槽)(1)(2) 図イ設一7(2/2)	工場棟 転換工場	
名称	UF <sub>6</sub> 蒸発・加水分解設備							
図番	熱交換器(調液貯槽)(1)(2) 図イ設一7(2/2)							
工場棟 転換工場								
<div style="border: 1px solid black; height: 500px; width: 100%;"></div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p> <input type="checkbox"/>：ウランが滞留する部分         </p> <p>           *1：形状寸法制限（容積26.5L以下）            *2：耐腐食性材料（<input type="checkbox"/>)            *3：溢水水位（床面より160mm）            *4：溶液の飛散を防止する            *5：ボルト支点間距離（300mm以上）            *6：漏えい液を回収する         </p> </div>						



No.	安全機能を有する施設名称	基数
{40}	沈殿槽	4
{43}	沈殿槽液位高インターロック	-
{44}	沈殿槽流量比インターロック	-

<p>内は、耐震計算書の部位名称を示す</p> <p>*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)</p> <p>*2 : 耐腐食性材料 ( )</p> <p>*3 : 溢水水位 (床面より160mm)</p> <p>*4 : {43}液位高検知設定位置 : 槽上面より10mm以上</p> <p>*5 : インターロックの基数については インターロック系統図 (図イ制-4、5) 参照</p> <p>*6 : 液位計 (電極式)</p> <p>*7 : 流量計 (電磁式)</p>	
--	--

沈殿設備	
名称	沈殿槽(1)-A, (1)-B, (2)-A, (2)-B
図番	図イ設-8 工場棟 転換工場

		安全機能を有する施設名称	
No.	堰(液貯槽)		基数
(41)	堰漏水検知警報設備		2
(42)			-
	内は、耐震計算書の部位名称を示す		
<p>*1：堰の溢水堰側に漏水検知警報設備を設置する</p> <p>*2：形状寸法制限（厚み123mm以下）</p> <p>*3：耐腐食性材料 <input style="width: 50px; height: 15px;" type="text"/></p> <p>*4：床との接触面 <input style="width: 50px; height: 15px;" type="text"/></p> <p>*5：(42) 堰漏水検知警報設備(漏水検知器(電極式)) 高さ：転換加工室床面の高さから20mm以上、100mm以下</p> <p>*6：警報設備の基数については警報設備系統図(図イ制-50) 参照</p>			
		単位：mm	
名	沈殿設備		
称	堰(液貯槽)(1)(2)		
図	図イ設-9(1/3)		工場棟
番			転換工場
———：溢水防護区画			

□内は、耐震計算書の部位名称を示す

--	--

名称	沈殿設備 堰(液貯槽) (1) (2)
図番	図イ設-9 (2/3) 工場棟 転換工場

内は、耐震計算書の部位名称を示す

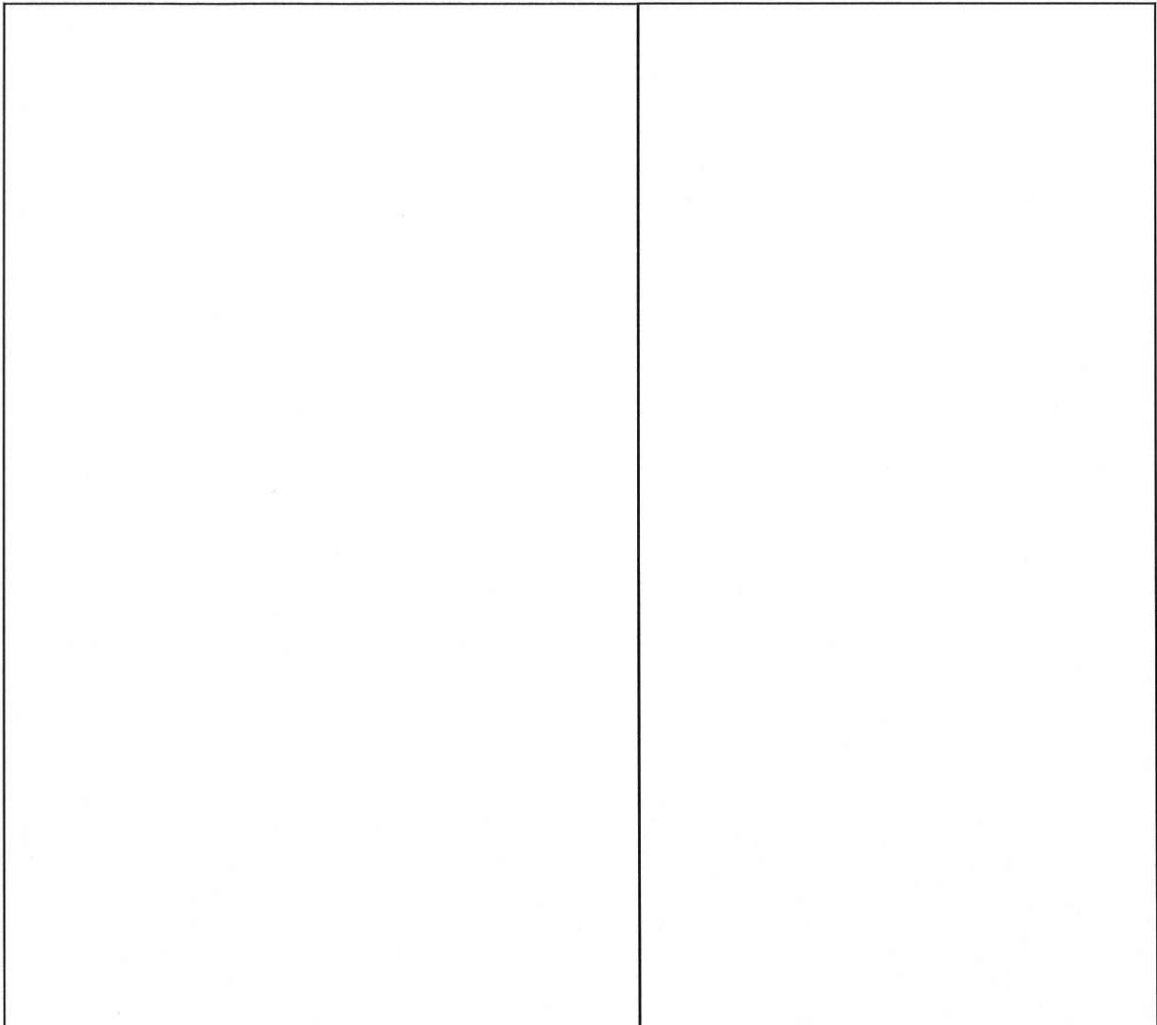
--

名称	沈殿設備 堰(液貯槽)(1)(2)
図番	図イ設-9(3/3) 工場棟 転換工場

No.	安全機能を有する施設名称	基数
{45}	熟成槽	10
{46}	熟成槽液位高インターロック	-

\*5

内は、耐震計算書の部位名称を示す

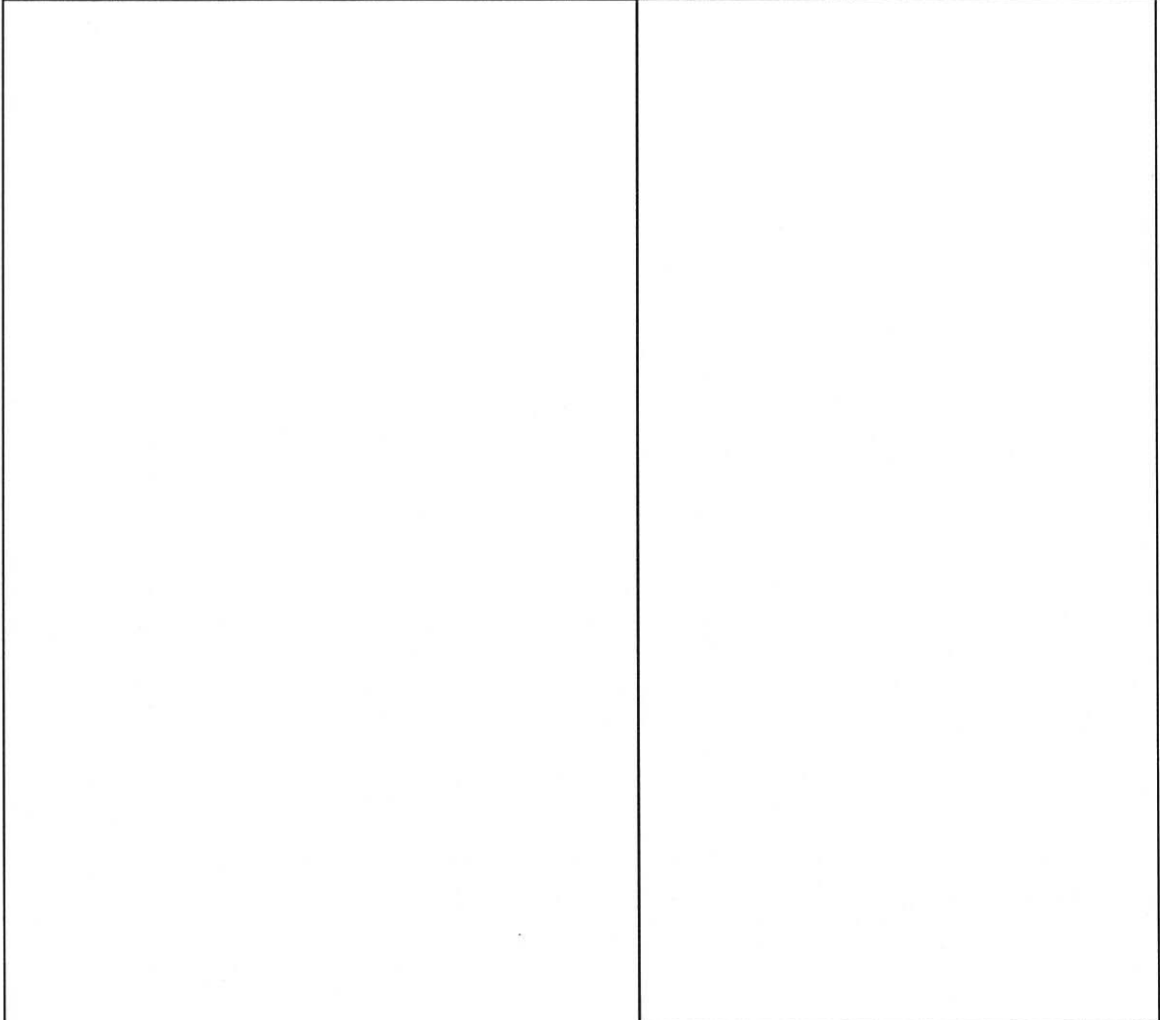


- \*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)
- \*2 : 溢水水位 (床面より160mm)
- \*3 : 耐腐食性材料 ( )
- \*4 : {46} 液位高検知設定位置  
: 槽上面より10mm以上
- \*5 : インターロックの基数については  
インターロック系統図 (図イ制-6)  
参照
- \*6 : 液位計 (電極式)
- ▨ : ウランが滞留する部分
- ← : 申請機器の配管系統

単位 : mm

名称	沈殿設備 熟成槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (1)-D, (1)-E, (2)-A, (2)-B, (2)-C, (2)-D, (2)-E	
図番	図イ設-10(1/8)	工場棟 転換工場

□内は、耐震計算書の部位名称を示す



\*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)

\*2 : 溢水水位 (床面より160mm)

\*3 : 耐腐食性材料 (□)

\*4 : {46} 液位高検知設定位置  
: 槽上面より10mm以上

\*6 : 液位計 (電極式)

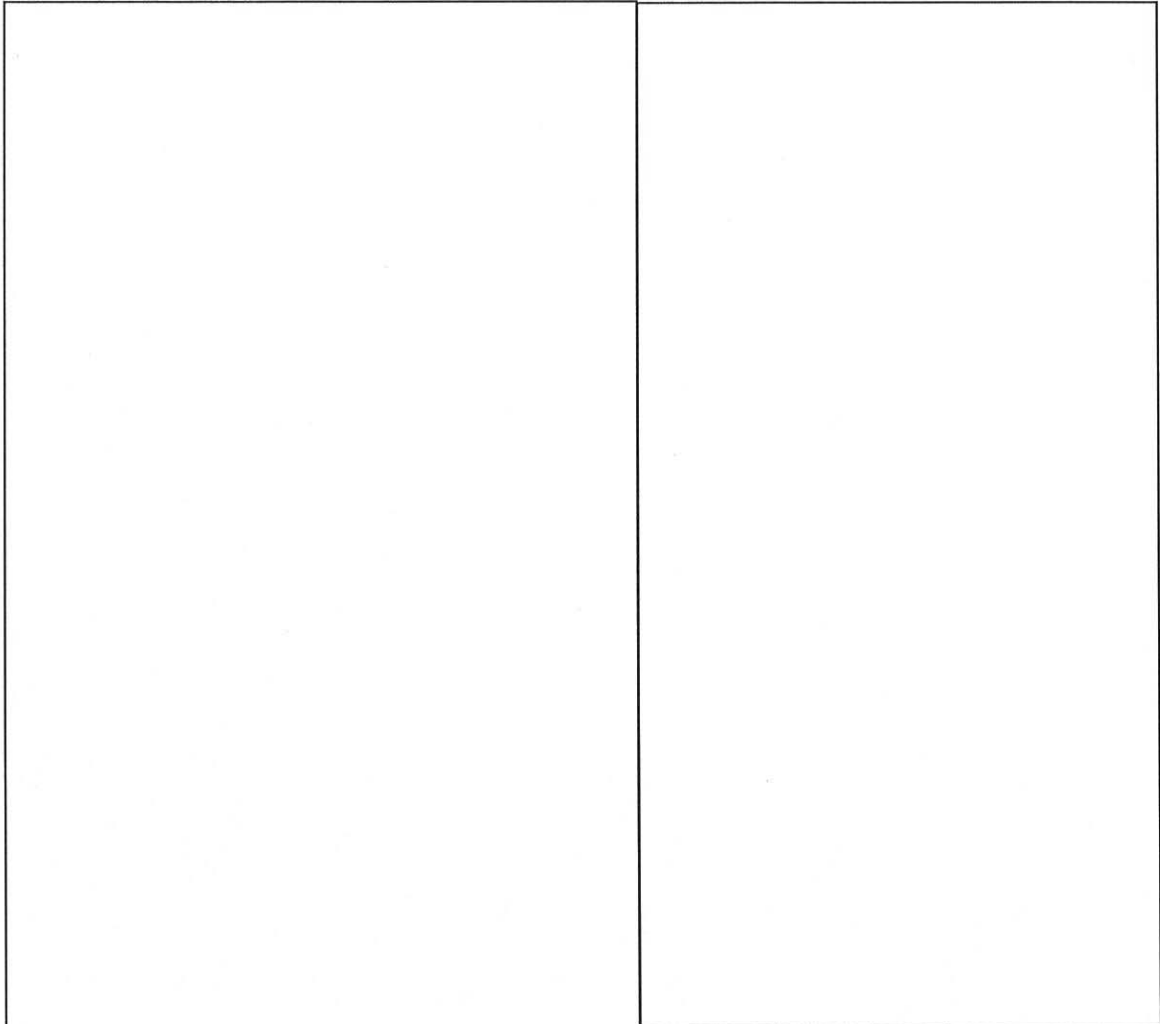
■ : ウランが滞留する部分

← : 申請機器の配管系統

単位 : mm

名称	沈殿設備 熟成槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (1)-D, (1)-E, (2)-A, (2)-B, (2)-C, (2)-D, (2)-E	
図番	図イ設-10(2/8)	工場棟 転換工場

□内は、耐震計算書の部位名称を示す



\*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)

\*2 : 溢水水位 (床面より160mm)

\*3 : 耐腐食性材料 (□)

\*4 : {46} 液位高検知設定位置  
: 槽上面より10mm以上

\*6 : 液位計 (電極式)

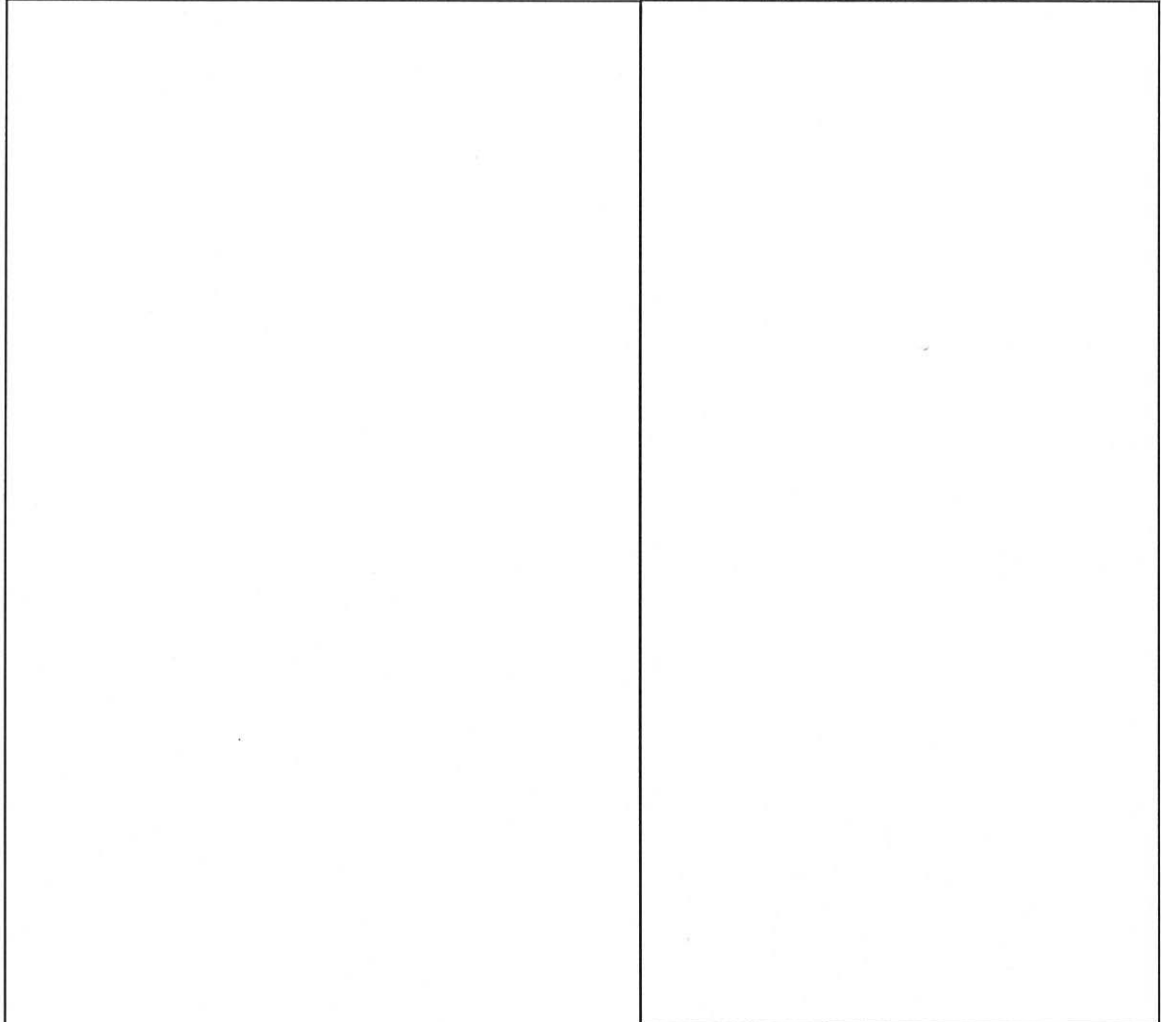
▨ : ウランが滞留する部分

← : 申請機器の配管系統

単位 : mm

名称	沈殿設備 熟成槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (1)-D, (1)-E, (2)-A, (2)-B, (2)-C, (2)-D, (2)-E	
図番	図イ設-10(3/8)	工場棟 転換工場

□内は、耐震計算書の部位名称を示す



\*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)

\*2 : 溢水水位 (床面より160mm)

\*3 : 耐腐食性材料 (□)

\*4 : {46} 液位高検知設定位置  
: 槽上面より10mm以上

\*6 : 液位計 (電極式)



▨ : ウランが滞留する部分

← : 申請機器の配管系統

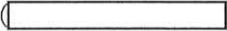

単位 : mm

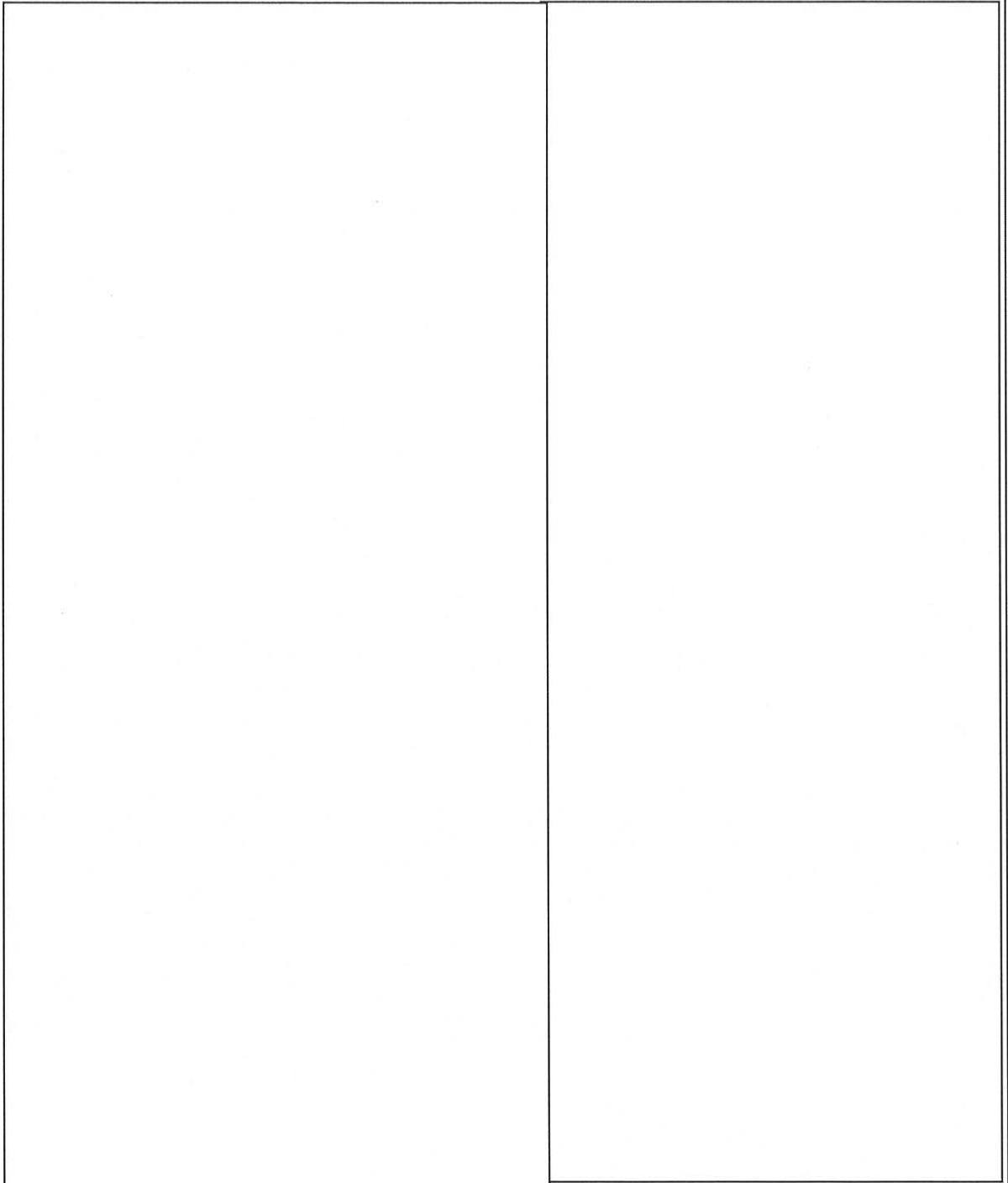
名	沈殿設備	
称	熟成槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (1)-D, (1)-E, (2)-A, (2)-B, (2)-C, (2)-D, (2)-E	
図	図イ設-10(4/8)	工場棟
番		転換工場





- \*7 : {46} 液位高検知設定位置  
: 槽上面より10mm以上
- \*8 : 形状寸法制限 (容積 30.3L以下)
-  : ウランが滞留する部分
-  : 申請機器の配管系統

 内は、耐震計算書の部位名称を示す

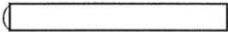
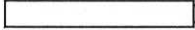
- \*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)
- \*2 : 溢水水位 (床面より160mm)
- \*3 : 耐腐食性材料 ()
- 
- \*6 : 液位計 (電極式)

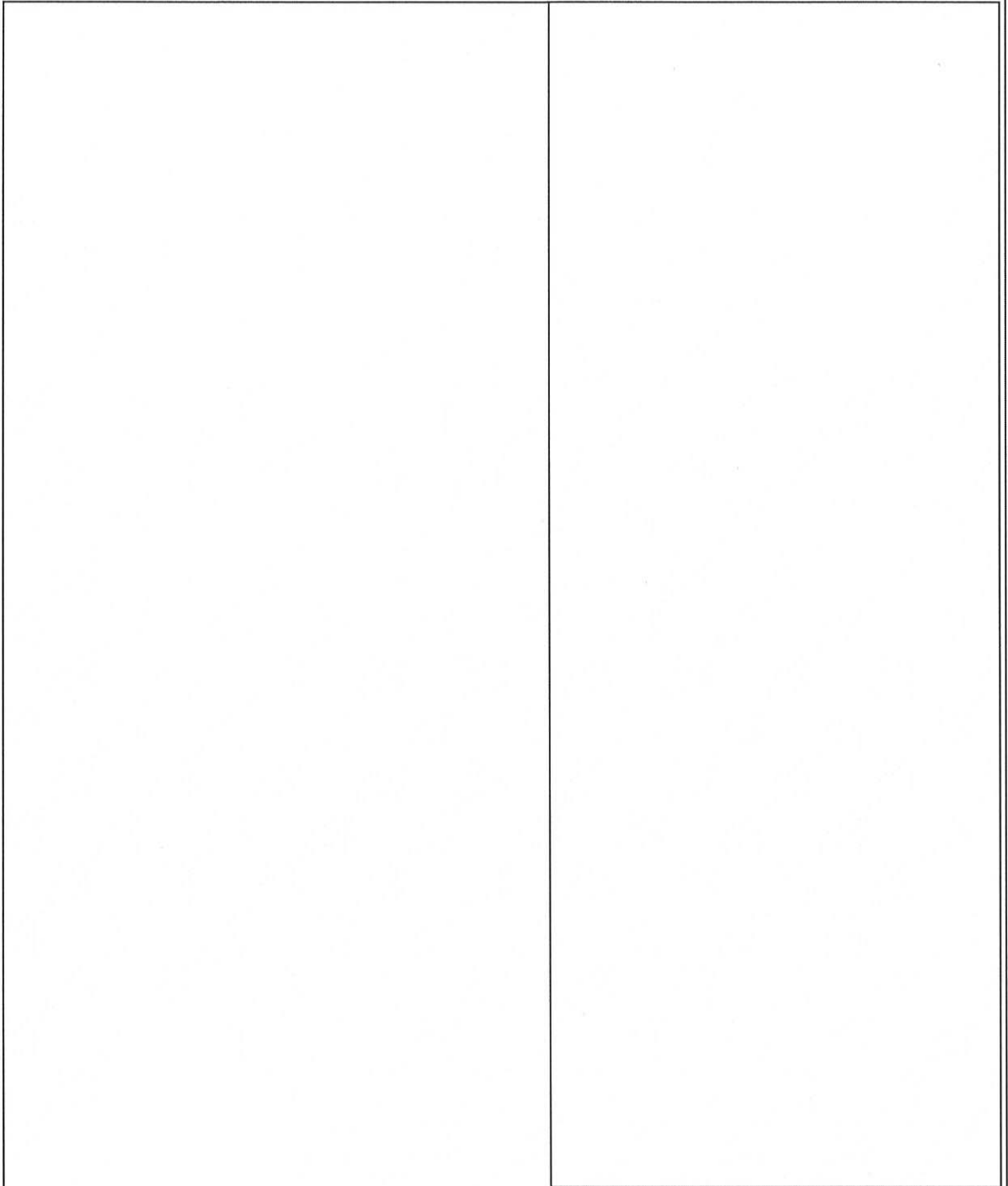


名称	沈殿設備	
	熟成槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (1)-D, (1)-E, (2)-A, (2)-B, (2)-C, (2)-D, (2)-E	
図番	図イ設-10(5/8)	工場棟 転換工場

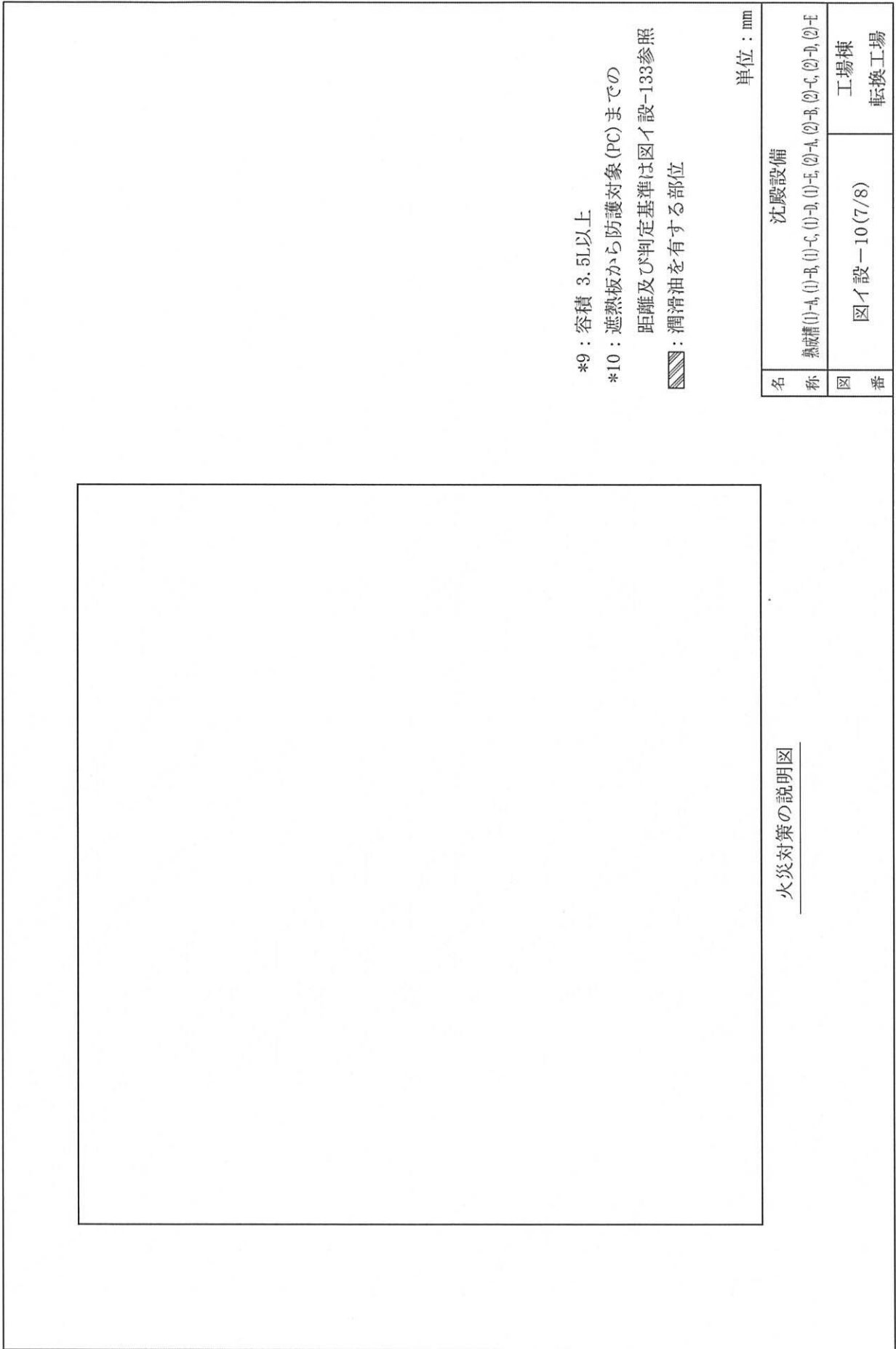
- \*7 : {46} 液位高検知設定位置  
: 槽上面より10mm以上
- \*8 : 形状寸法制限 (容積 30.3L以下)
-  : ウランが滞留する部分
-  : 申請機器の配管系統


 内は、耐震計算書の部位名称を示す

- \*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)
- \*2 : 溢水水位 (床面より160mm)
- \*3 : 耐腐食性材料 ()
- 
- \*6 : 液位計 (電極式)



名称	沈殿設備	
	熟成槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (1)-D, (1)-E, (2)-A, (2)-B, (2)-C, (2)-D, (2)-E	
図番	図イ設-10(6/8)	工場棟
		転換工場



- \*9：容積 3.5L以上
- \*10：遮熱板から防護対象(PC)までの  
距離及び判定基準は図イ設-133参照
- ：潤滑油を有する部位

単位：mm

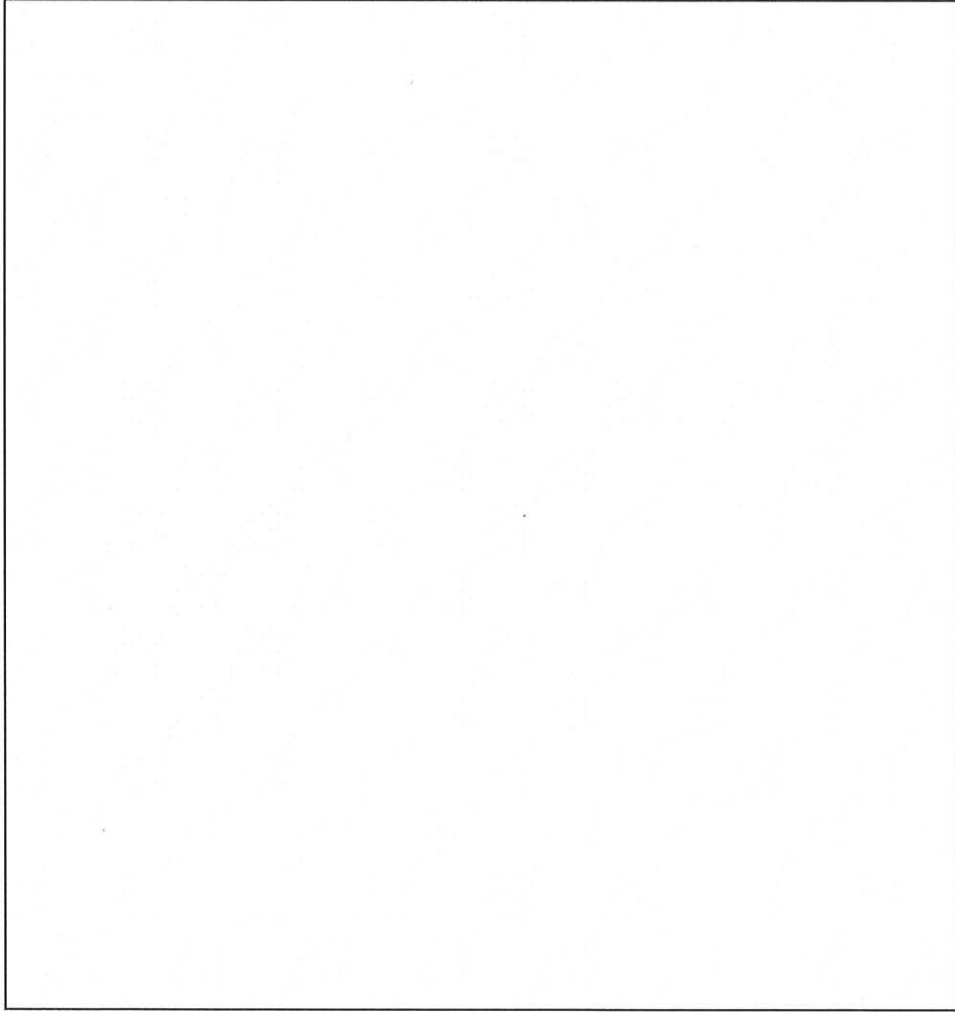
火災対策の説明図

名称	沈殿設備 熱成槽(1)-A、(1)-B、(1)-C、(1)-D、(1)-E、(2)-A、(2)-B、(2)-C、(2)-D、(2)-E	
図番	図イ設-10(7/8)	工場棟 転換工場

\*9 : 容積 3.5L以上

\*10 : 遮熱板から防護対象 (PC) までの  
距離及び判定基準は図イ設-133参照

 : 潤滑油を有する部位



単位 : mm

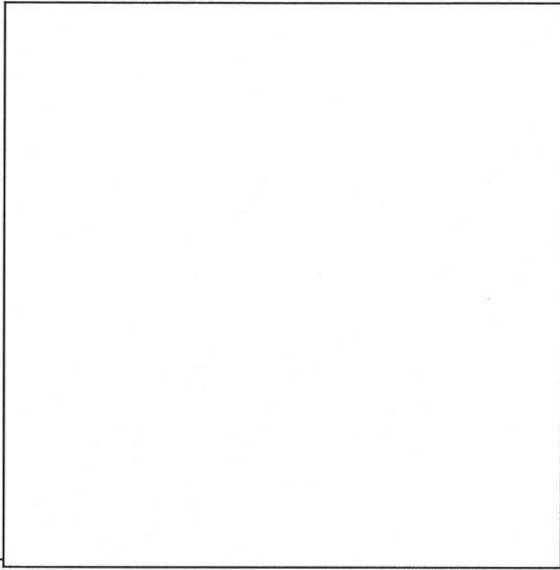
名称	沈殿設備	
図番	図イ設-10(8/8)	工場棟 転換工場

火災対策の説明図

No.	安全機能を有する施設名称	基數
(47)	遠心分離機(洗浄用)	2
<input type="checkbox"/> 内は、耐震計算書の部位名称を示す		
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"></div> <div style="width: 45%;"> <p>*1：形状寸法制限 (図イ設-11 (2/8))</p> <p>*2：耐腐食性材料 <input type="checkbox"/></p> <p>*3：溢水位 (床面より160mm)</p> <p>*4：ボルト支点間距離 (850mm以上)</p> <p>←：申請機器の配管系統</p> <p style="text-align: right;">単位：mm</p> </div> </div>		
名称	洗浄設備	
図番	遠心分離機(洗浄用) (1) (2)	工場棟 転換工場
	図イ設-11 (1/8)	

<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>				
<p>全て形状寸法制限値</p> <p>*5 : <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 50px; height: 15px;"></span> を設置する          (ボロン含有率1%以上)          (板厚4mm以上)</p>					
<p>単位：mm</p>					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">洗浄設備</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">図番</td> <td style="text-align: center;">遠心分離機(洗浄用)(1)(2) 図イ設-11(2/8)</td> </tr> </table>		名称	洗浄設備	図番	遠心分離機(洗浄用)(1)(2) 図イ設-11(2/8)
名称	洗浄設備				
図番	遠心分離機(洗浄用)(1)(2) 図イ設-11(2/8)				
<p>遠心分離機(洗浄用)(1)の核的制限値説明図*1</p>					

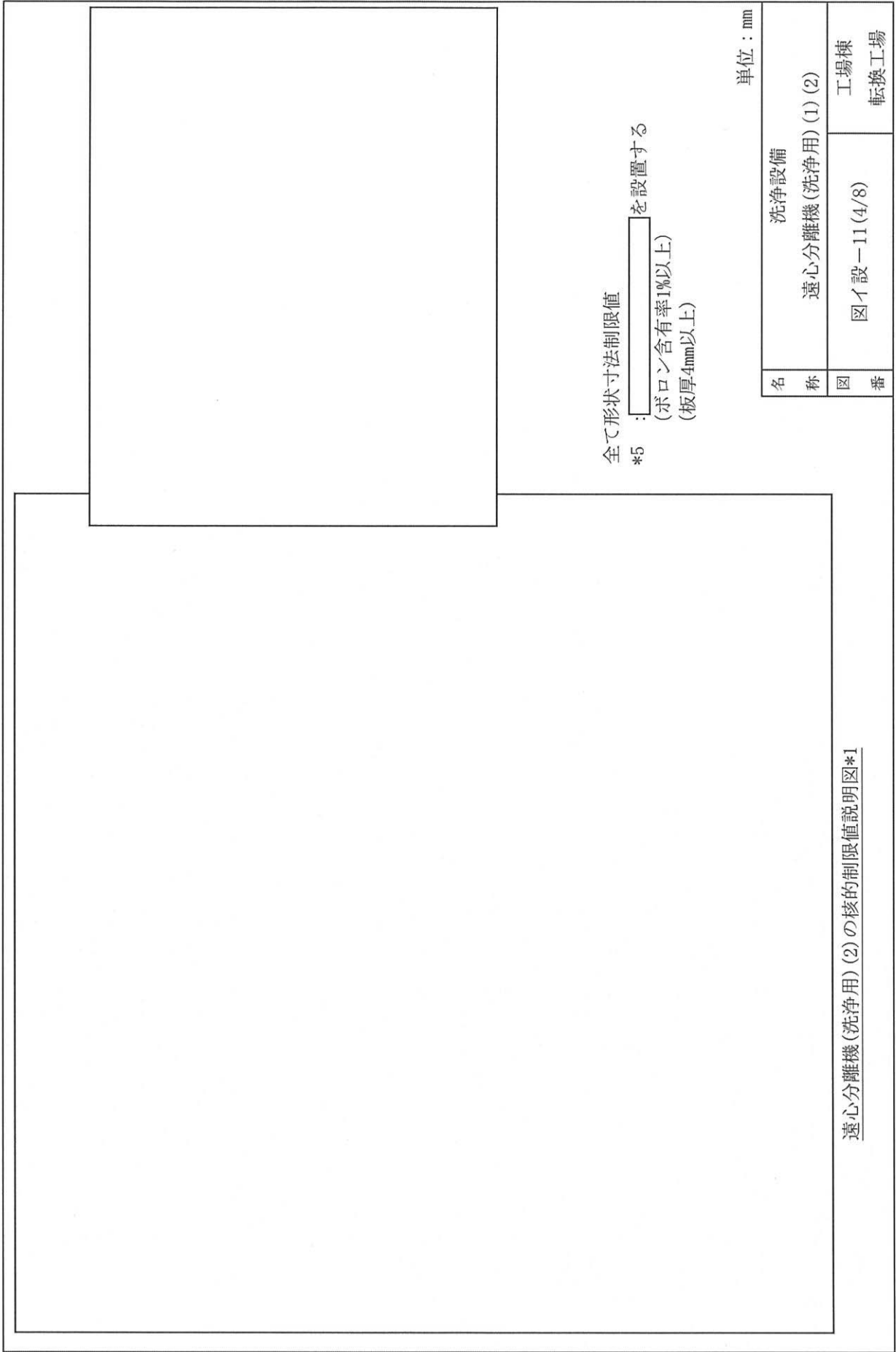
□内は、耐震計算書の部位名称を示す



- \*1：形状寸法制限 (図イ設-11 (4/8))
- \*2：耐腐食性材料 (□)
- \*3：溢水位 (床面より160mm)
- \*4：ボルト支点間距離 (850mm以上)
- ←：申請機器の配管系統

単位：mm

名称	洗浄設備	
	遠心分離機(洗浄用) (1) (2)	
図番	図イ設-11 (3/8)	工場棟 転換工場



全て形状寸法制限値

\*5 :  を設置する  
 (ボロン含有率1%以上)  
 (板厚4mm以上)

単位：mm

名称	洗浄設備	
図番	遠心分離機(洗浄用)(1)(2)	工場棟 転換工場
	図イ設-11(4/8)	

遠心分離機(洗浄用)(2)の核的制限値説明図\*1



□内は、耐震計算書の部位名称を示す

--

\*6：容積 2L以上

\*7：遮熱板から防護対象(PC)までの

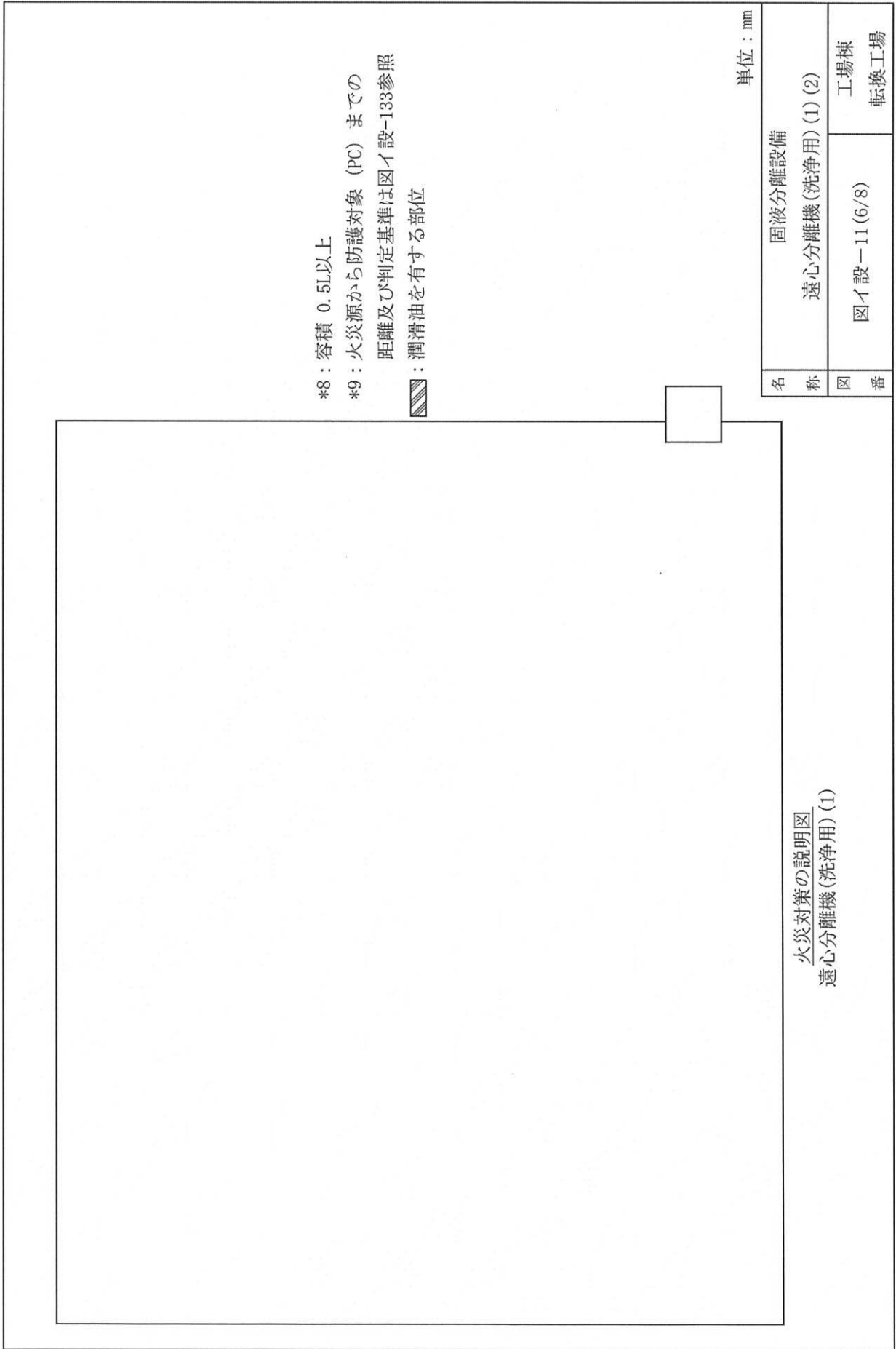
距離及び判定基準は図イ設-133参照

▨：潤滑油を有する部位

火災対策の説明図

遠心分離機(洗浄用)(1)

名称	洗浄設備 遠心分離機(洗浄用)(1)(2)
図番	図イ設-11(5/8) 工場棟 転換工場



\*8 : 容積 0.5L以上  
 \*9 : 火災源から防護対象 (PC) までの  
 距離及び判定基準は図イ設-I33参照  
 ▨ : 潤滑油を有する部位

単位 : mm

名	固液分離設備	
称	遠心分離機(洗浄用)(1)(2)	
図	図イ設-I11(6/8)	工場棟
番		転換工場


火災対策の説明図  
 遠心分離機(洗浄用)(1)

内は、耐震計算書の部位名称を示す

\*6：容積 2L以上

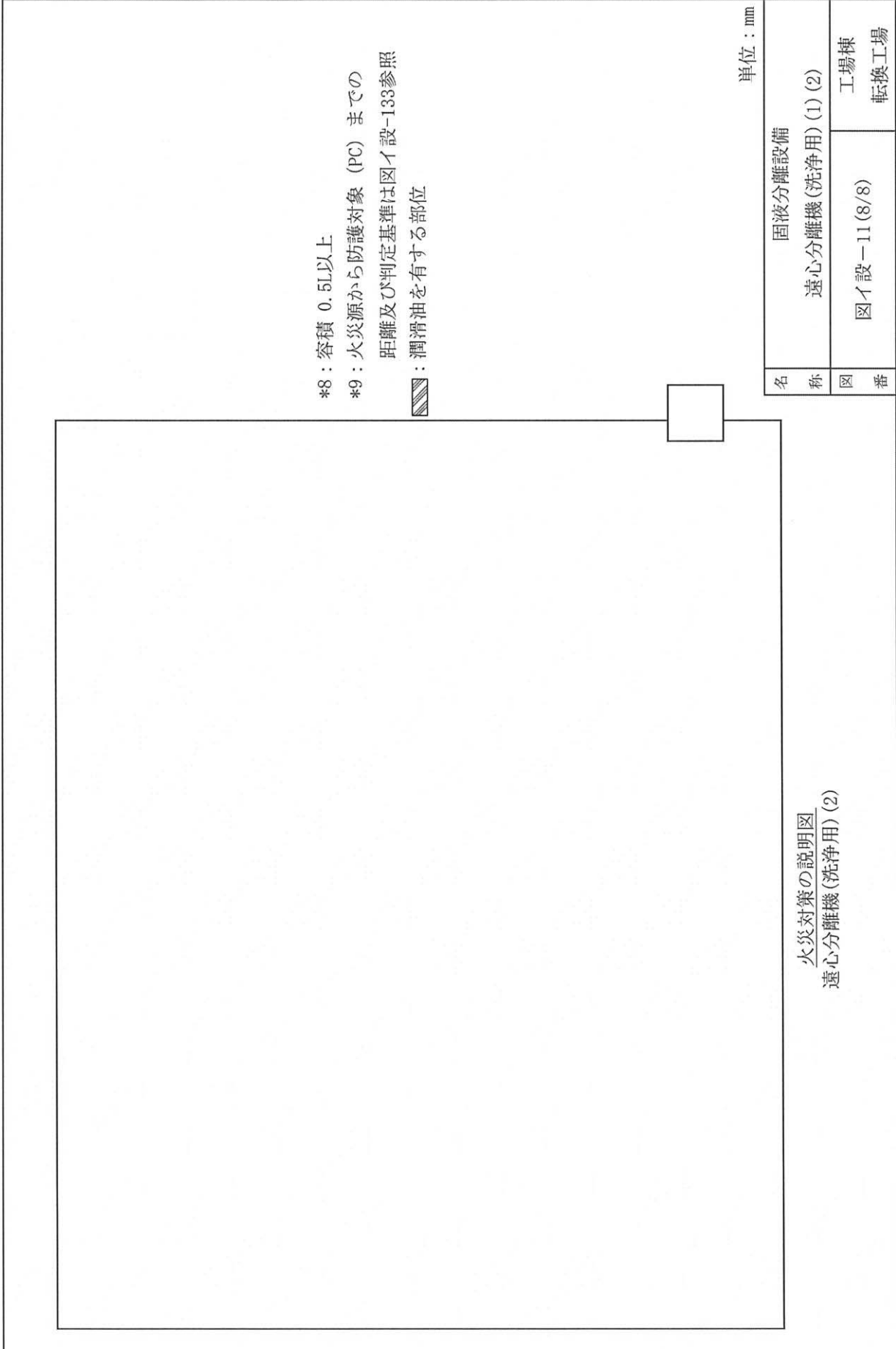
\*7：遮熱板から防護対象(PC)までの

距離及び判断基準は図イ設-133参照

：潤滑油を有する部位

単位：mm

名称	洗浄設備	
	遠心分離機(洗浄用)(1)(2)	
図番	図イ設-11(7/8)	工場棟 転換工場



\*8 : 容積 0.5L以上  
 \*9 : 火災源から防護対象 (PC) までの  
 距離及び判定基準は図イ設-I33参照  
 [Hatched Box] : 潤滑油を有する部位

単位 : mm

名	固液分離設備	
称	遠心分離機(洗浄用) (1) (2)	
図	図イ設-11 (8/8)	工場棟
番		転換工場

火災対策の説明図  
 遠心分離機(洗浄用) (2)

No.	安全機能を有する施設名称	基数
{48}	堰(洗浄槽)	1
{49}	堰漏水検知警報設備	-

\*6

内は、耐震計算書の部位名称を示す

\*1：堰の溢水堰側に漏水検知警報設備を設置する

\*2：形状寸法制限 (厚み123mm以下)

\*3：耐腐食性材料 ( )

\*4：床との接触面 ( )

\*5：{49}堰漏水検知警報設備(漏水検知器(電極式))  
高さ：転換加工室床面の高さから20mm以上、100mm以下

\*6：警報設備の基数については警報設備系統図(図イ制-51)参照

単位：mm

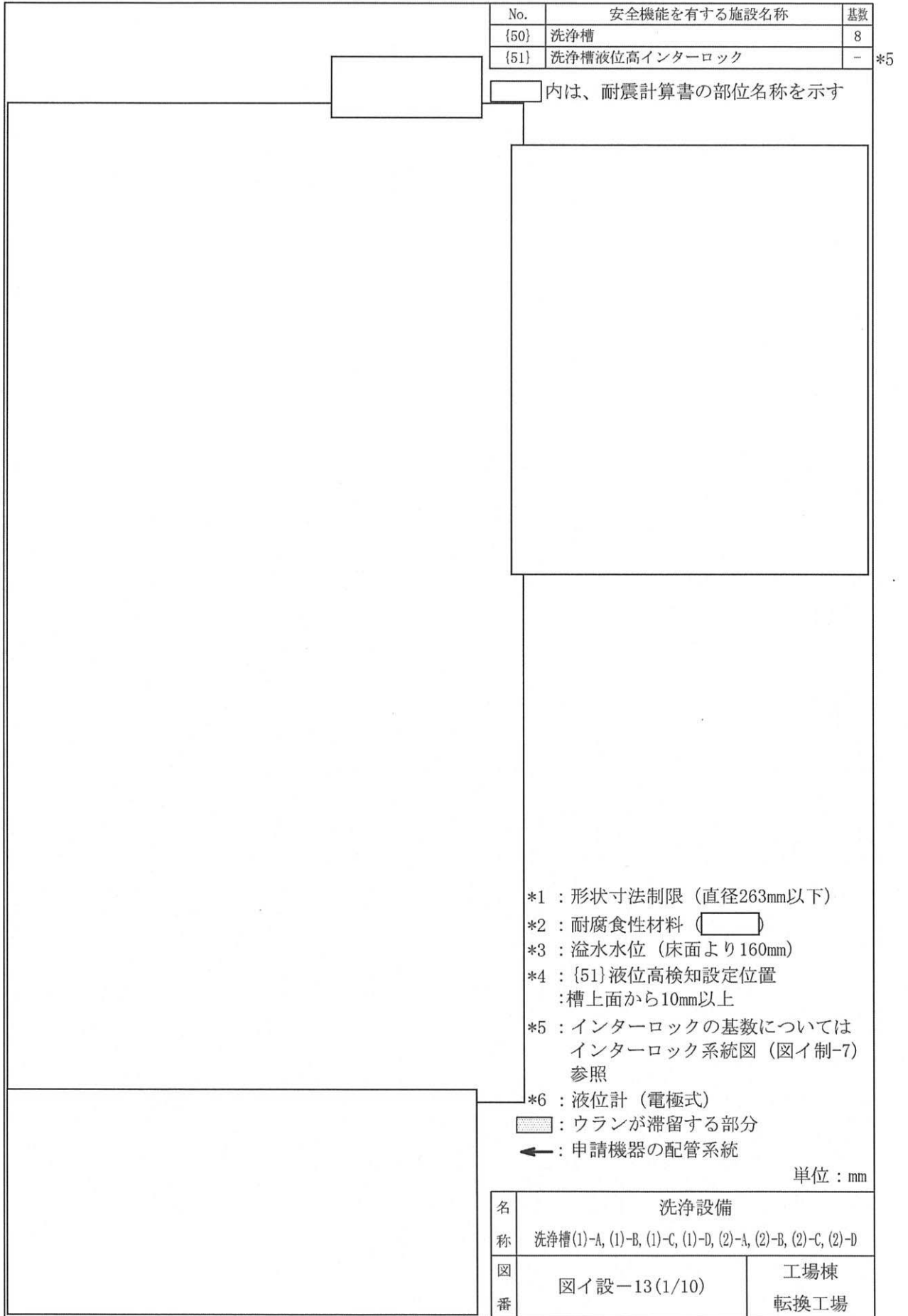
名称	洗浄設備 堰(洗浄槽)	
図番	図イ設-12(1/2)	工場棟 転換工場

\_\_\_\_\_：溢水防護区画

内は、耐震計算書の部位名称を示す

--	--




名称	洗淨設備 堰(洗淨槽)
図番	図イ設-12(2/2) 工場棟 転換工場



No.	安全機能を有する施設名称	基数
{50}	洗浄槽	8
{51}	洗浄槽液位高インターロック	-

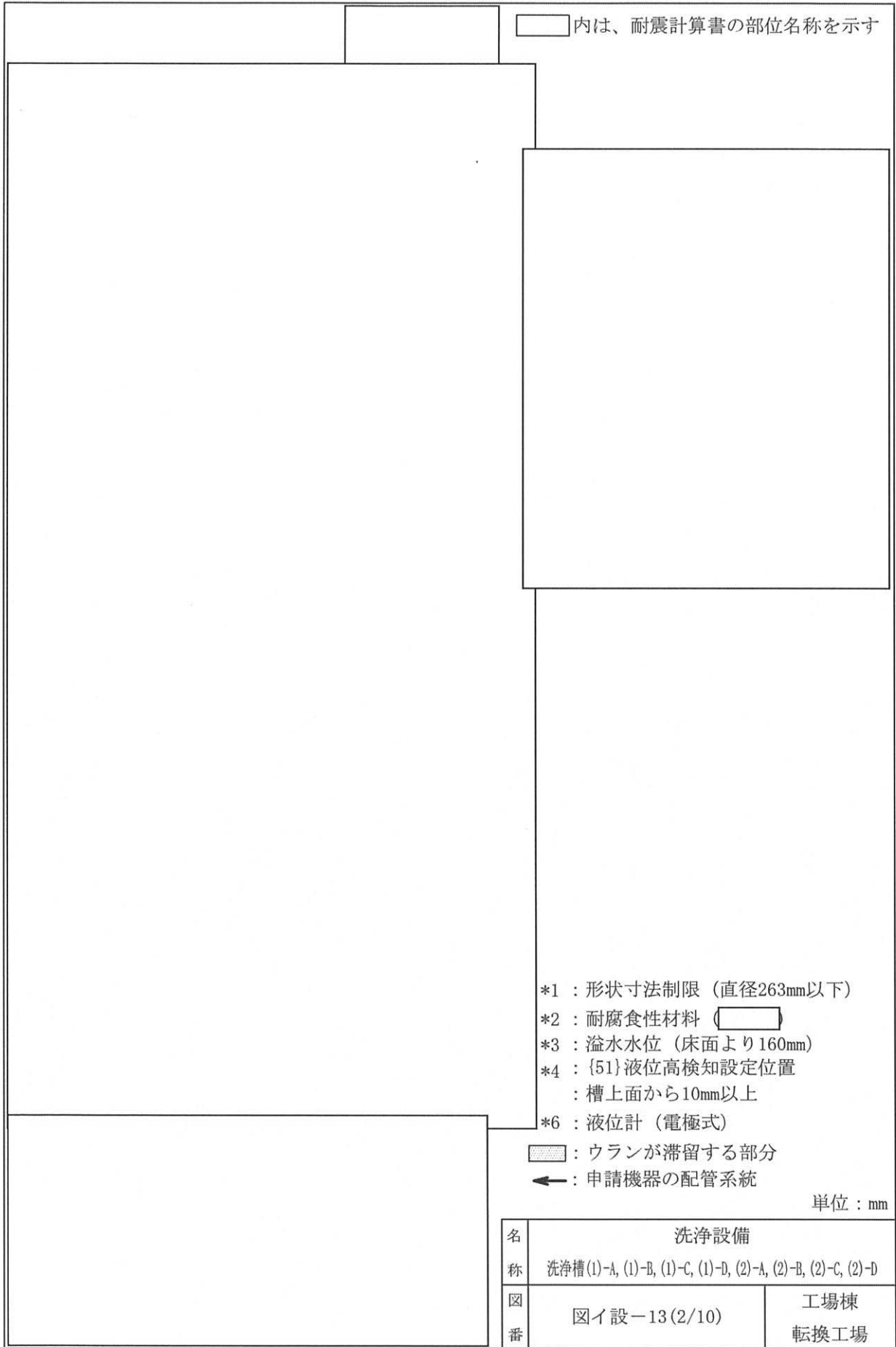
\*5

内は、耐震計算書の部位名称を示す

- \*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)
- \*2 : 耐腐食性材料 (  )
- \*3 : 溢水水位 (床面より160mm)
- \*4 : {51} 液位高検知設定位置  
: 槽上面から10mm以上
- \*5 : インターロックの基数については  
インターロック系統図 (図イ制-7)  
参照
- \*6 : 液位計 (電極式)
-  : ウランが滞留する部分
-  : 申請機器の配管系統

単位 : mm

名称	洗浄設備	
	洗浄槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (1)-D, (2)-A, (2)-B, (2)-C, (2)-D	
図番	図イ設-13(1/10)	工場棟 転換工場



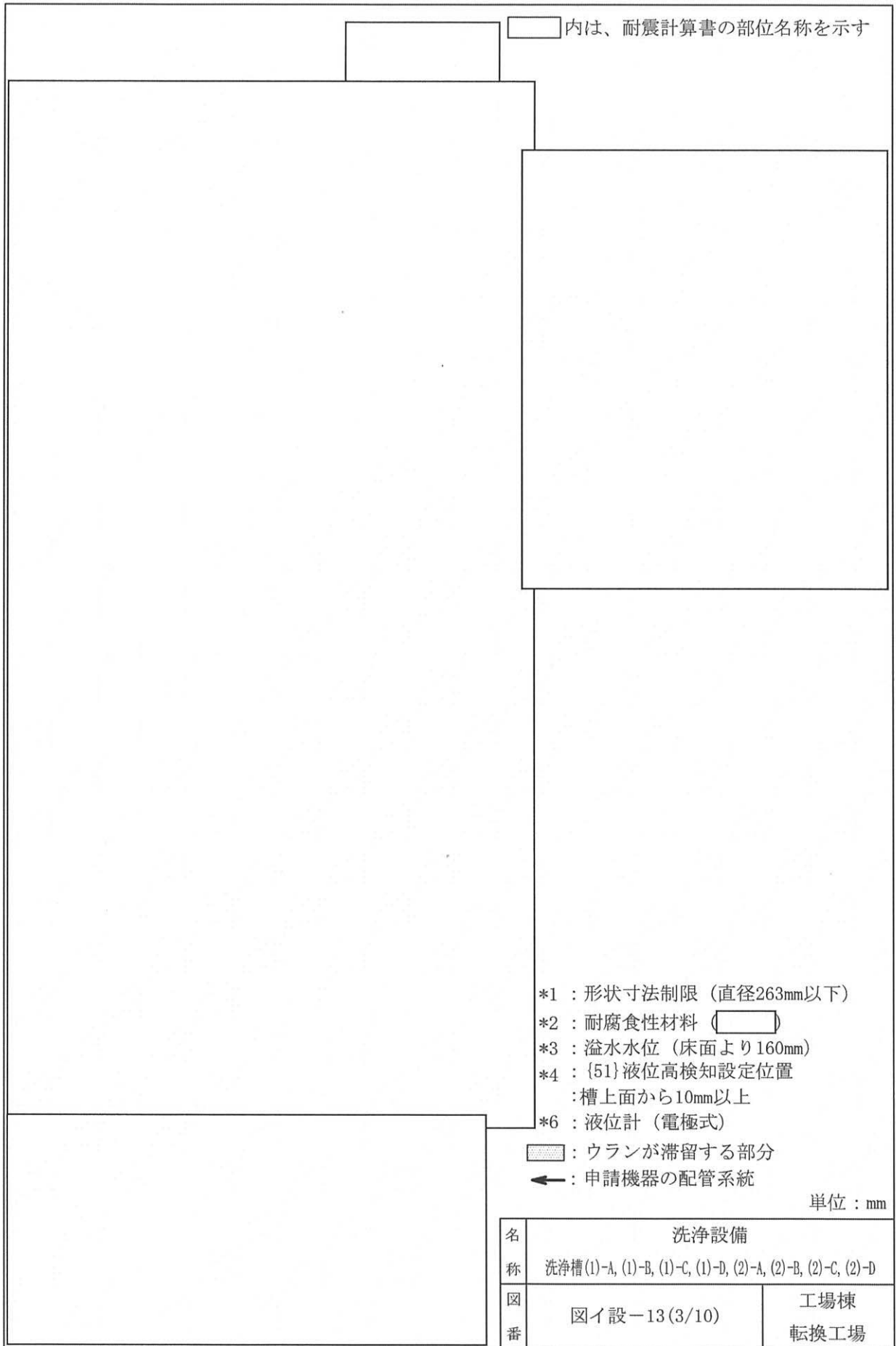
□内は、耐震計算書の部位名称を示す

- \*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)
- \*2 : 耐腐食性材料 (□)
- \*3 : 溢水水位 (床面より160mm)
- \*4 : {51} 液位高検知設定位置  
: 槽上面から10mm以上
- \*6 : 液位計 (電極式)
- ▨ : ウランが滞留する部分
- ← : 申請機器の配管系統

単位 : mm

名	洗浄設備	
称	洗浄槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (1)-D, (2)-A, (2)-B, (2)-C, (2)-D	
図番	図イ設-13(2/10)	工場棟 転換工場





内は、耐震計算書の部位名称を示す

\*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)

\*2 : 耐腐食性材料 ( )

\*3 : 溢水水位 (床面より160mm)

\*4 : {51} 液位高検知設定位置  
: 槽上面から10mm以上

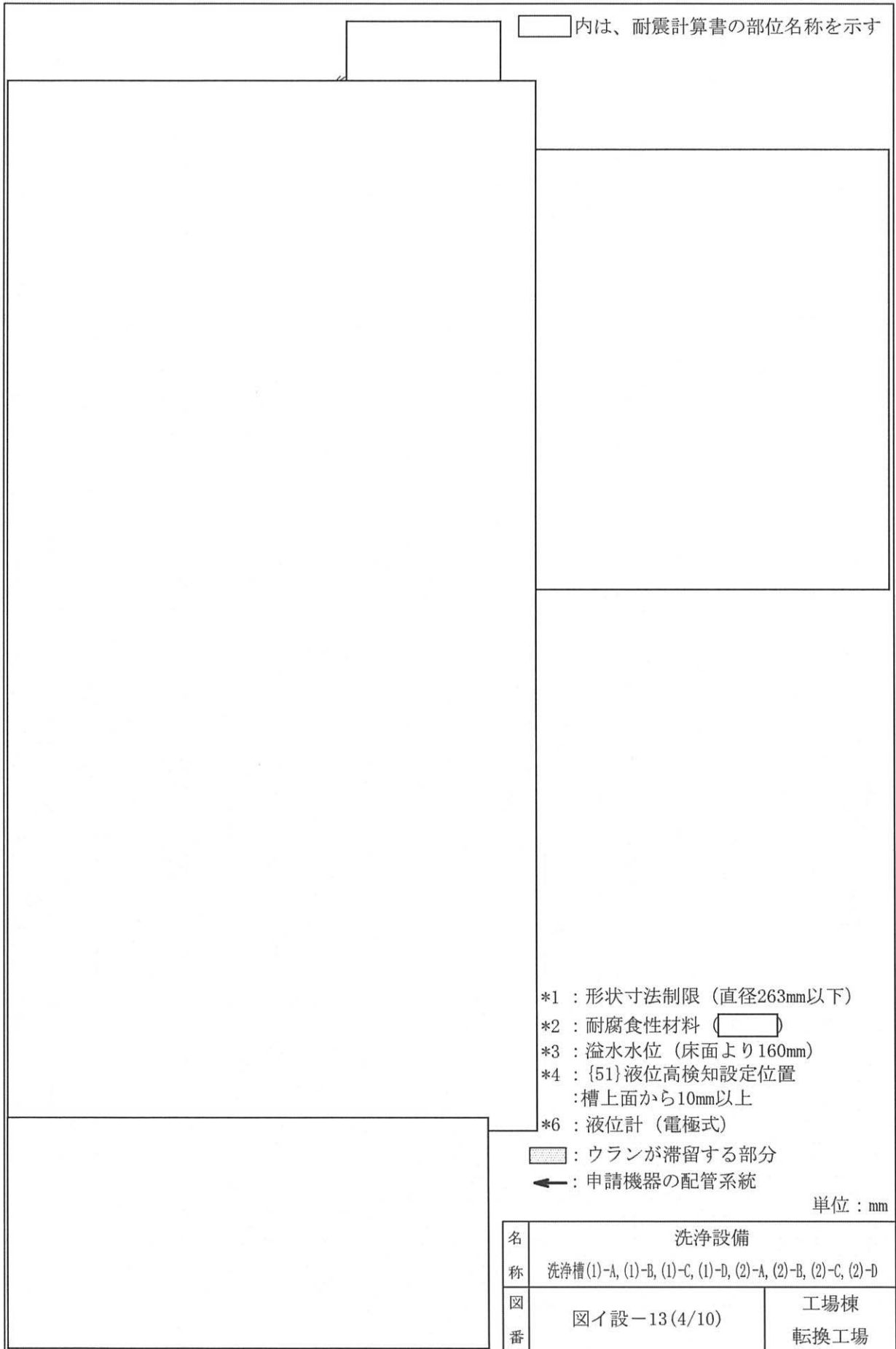
\*6 : 液位計 (電極式)

▨ : ウランが滞留する部分

← : 申請機器の配管系統

単位 : mm

名	洗浄設備	
称	洗浄槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (1)-D, (2)-A, (2)-B, (2)-C, (2)-D	
図	図イ設-13(3/10)	工場棟
番		転換工場



□内は、耐震計算書の部位名称を示す

- \*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)
- \*2 : 耐腐食性材料 (□)
- \*3 : 溢水水位 (床面より160mm)
- \*4 : {51} 液位高検知設定位置  
: 槽上面から10mm以上
- \*6 : 液位計 (電極式)
- ▨ : ウランが滞留する部分
- ← : 申請機器の配管系統

単位 : mm

名	洗浄設備	
称	洗浄槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (1)-D, (2)-A, (2)-B, (2)-C, (2)-D	
図	図イ設-13(4/10)	工場棟
番		転換工場

□内は、耐震計算書の部位名称を示す

\*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)

\*2 : 耐腐食性材料 (□)

\*3 : 溢水水位 (床面より160mm)

\*4 : {51} 液位高検知設定位置  
: 槽上面から10mm以上

\*6 : 液位計 (電極式)

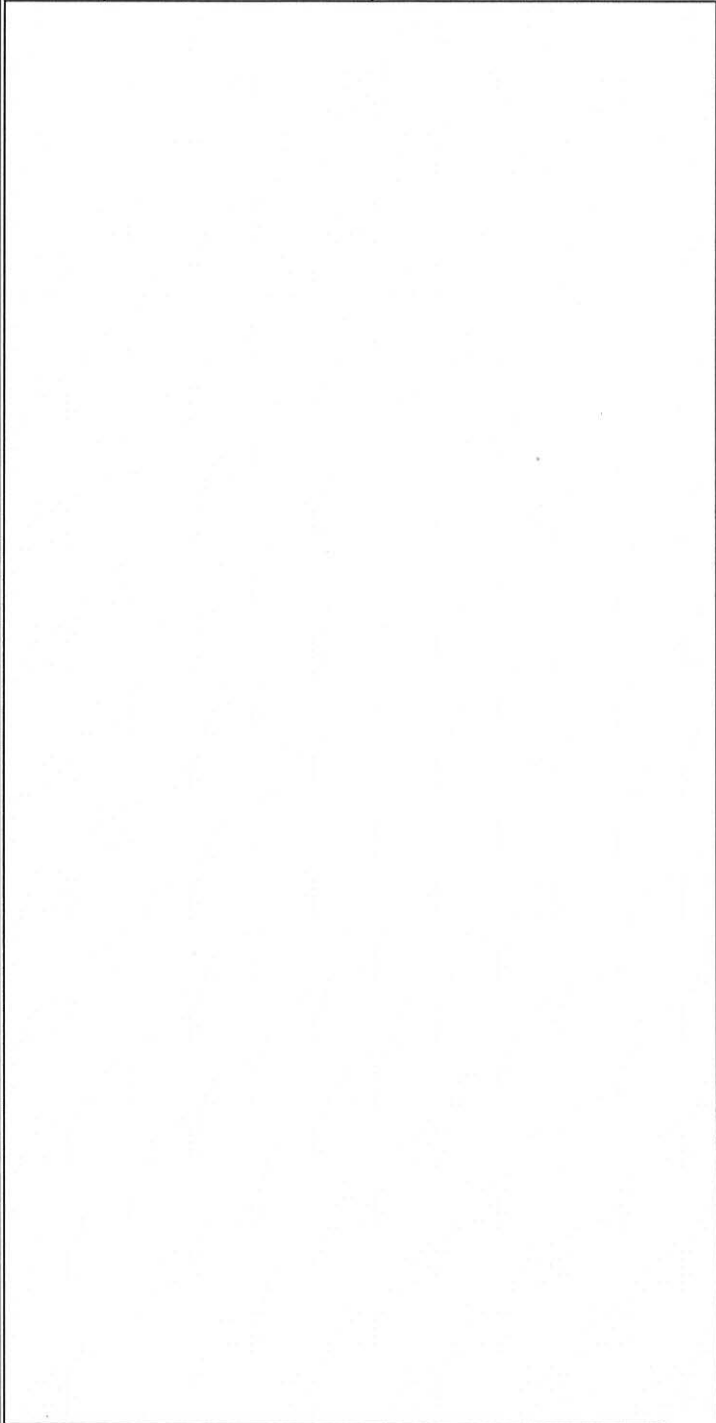
▨ : ウランが滞留する部分

← : 申請機器の配管系統

単位 : mm

名	洗浄設備	
称	洗浄槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (1)-D, (2)-A, (2)-B, (2)-C, (2)-D	
図	図イ設-13(5/10)	工場棟
番		転換工場

□内は、耐震計算書の部位名称を示す



\*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)

\*2 : 耐腐食性材料 (□)

\*3 : 溢水水位 (床面より160mm)

\*4 : {51} 液位高検知設定位置  
: 槽上面から10mm以上

\*6 : 液位計 (電極式)

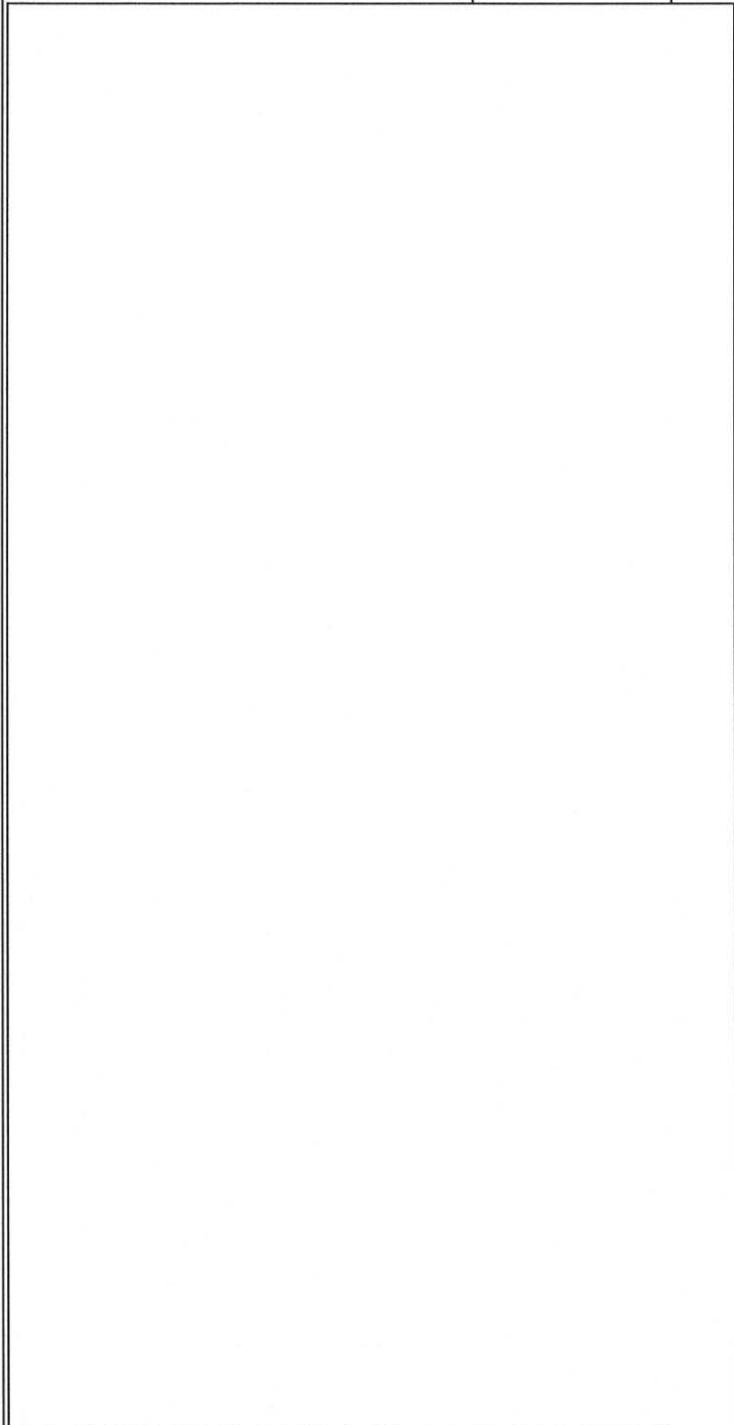
▨ : ウランが滞留する部分

← : 申請機器の配管系統

単位 : mm

名称	洗浄設備 洗浄槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (1)-D, (2)-A, (2)-B, (2)-C, (2)-D	
図番	図イ設-13(6/10)	工場棟 転換工場

内は、耐震計算書の部位名称を示す



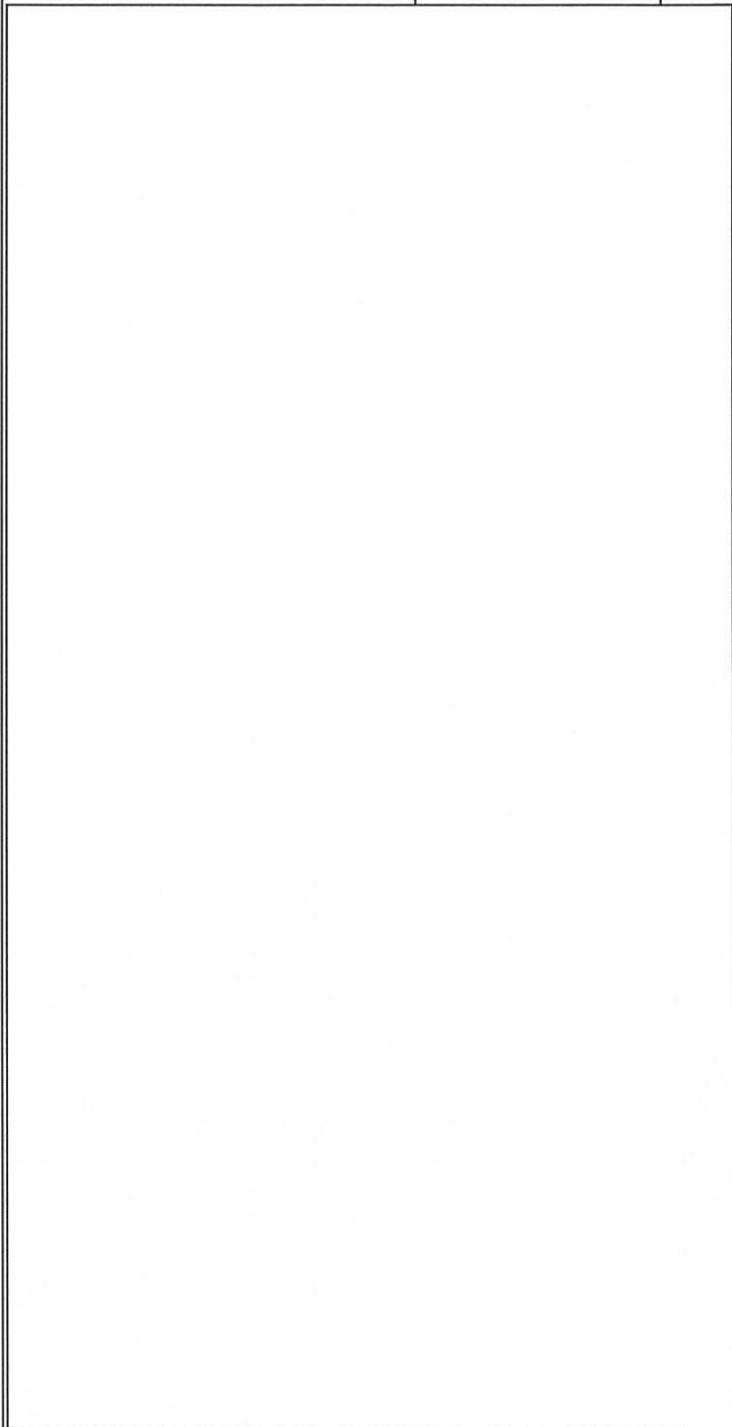
- \*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)
- \*2 : 耐腐食性材料 ( )
- \*3 : 溢水水位 (床面より160mm)
- \*4 : {51} 液位高検知設定位置  
: 槽上面から10mm以上
- \*6 : 液位計 (電極式)
- \*7 : 形状寸法制限 (容積30.3L以下)

: ウランが滞留する部分  
 ← : 申請機器の配管系統

単位 : mm

名称	洗浄設備 洗浄槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (1)-D, (2)-A, (2)-B, (2)-C, (2)-D	
図番	図イ設-13(7/10)	工場棟 転換工場

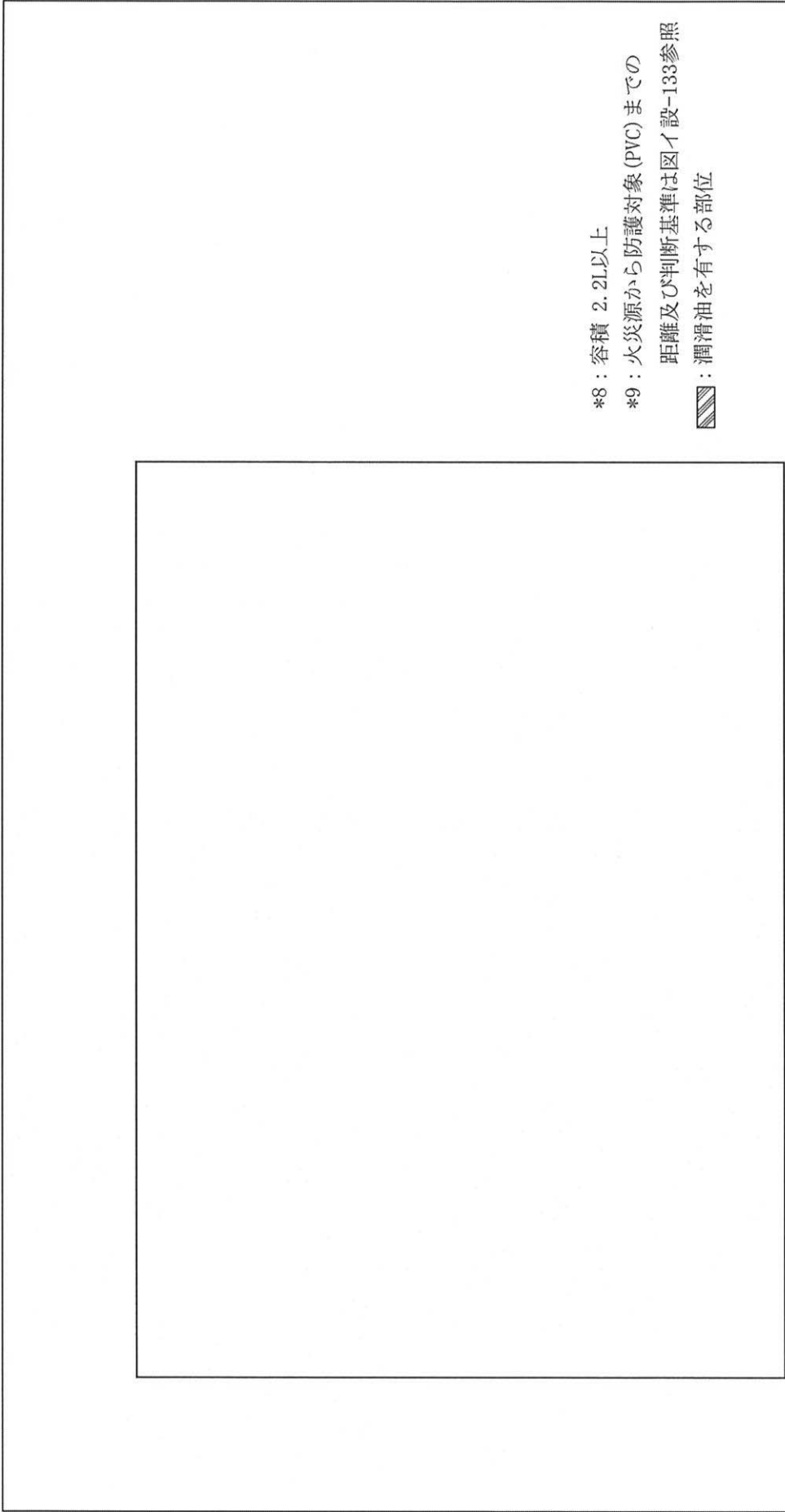
□内は、耐震計算書の部位名称を示す



- \*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)
- \*2 : 耐腐食性材料 (□)
- \*3 : 溢水水位 (床面より160mm)
- \*4 : {51} 液位高検知設定位置  
: 槽上面から10mm以上
- \*6 : 液位計 (電極式)
- \*7 : 形状寸法制限 (容積30.3L以下)
- ▨ : ウランが滞留する部分
- ← : 申請機器の配管系統


単位 : mm

名	洗浄設備	
称	洗浄槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (1)-D, (2)-A, (2)-B, (2)-C, (2)-D	
図	図イ設-13(8/10)	工場棟
番		転換工場



\*8 : 容積 2.2L以上

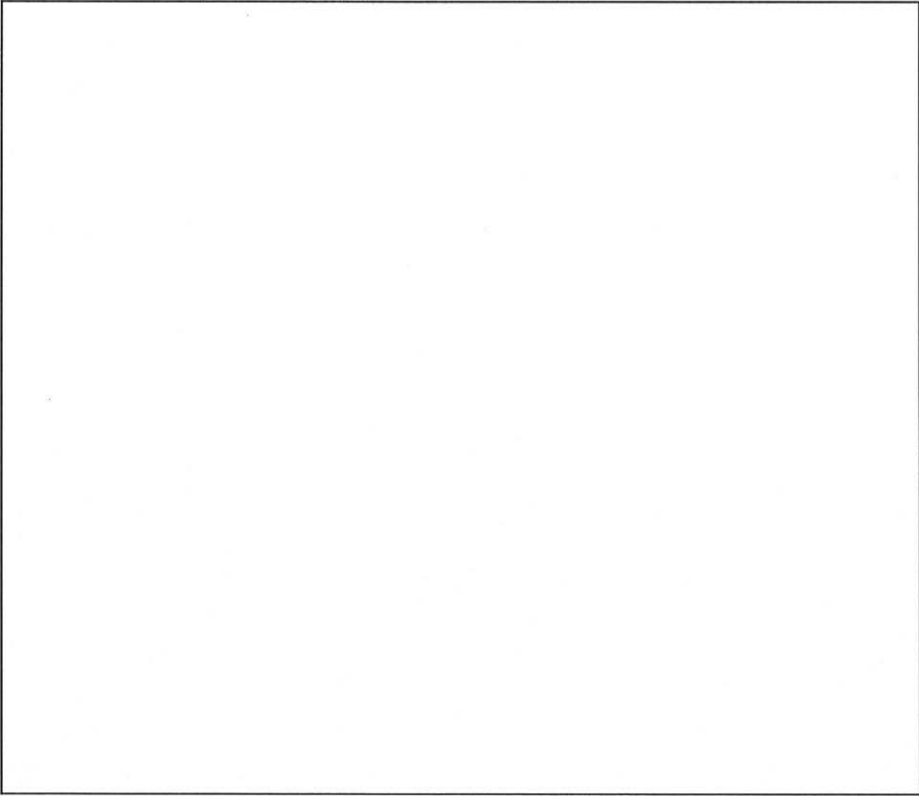
\*9 : 火災源から防護対象 (PVC) までの  
距離及び判断基準は図イ設-133参照

 : 潤滑油を有する部位

火災対策の説明図

単位 : mm

名称	洗浄設備	
図番	図イ設-13 (9/10)	工場棟 転換工場



\*10 : 容積 3.5L以上

\*11 : 火災源から防護対象 (PVC) までの

距離及び判定基準は図イ設-133参照

 : 潤滑油を有する部位

単位 : mm

火災対策の説明図

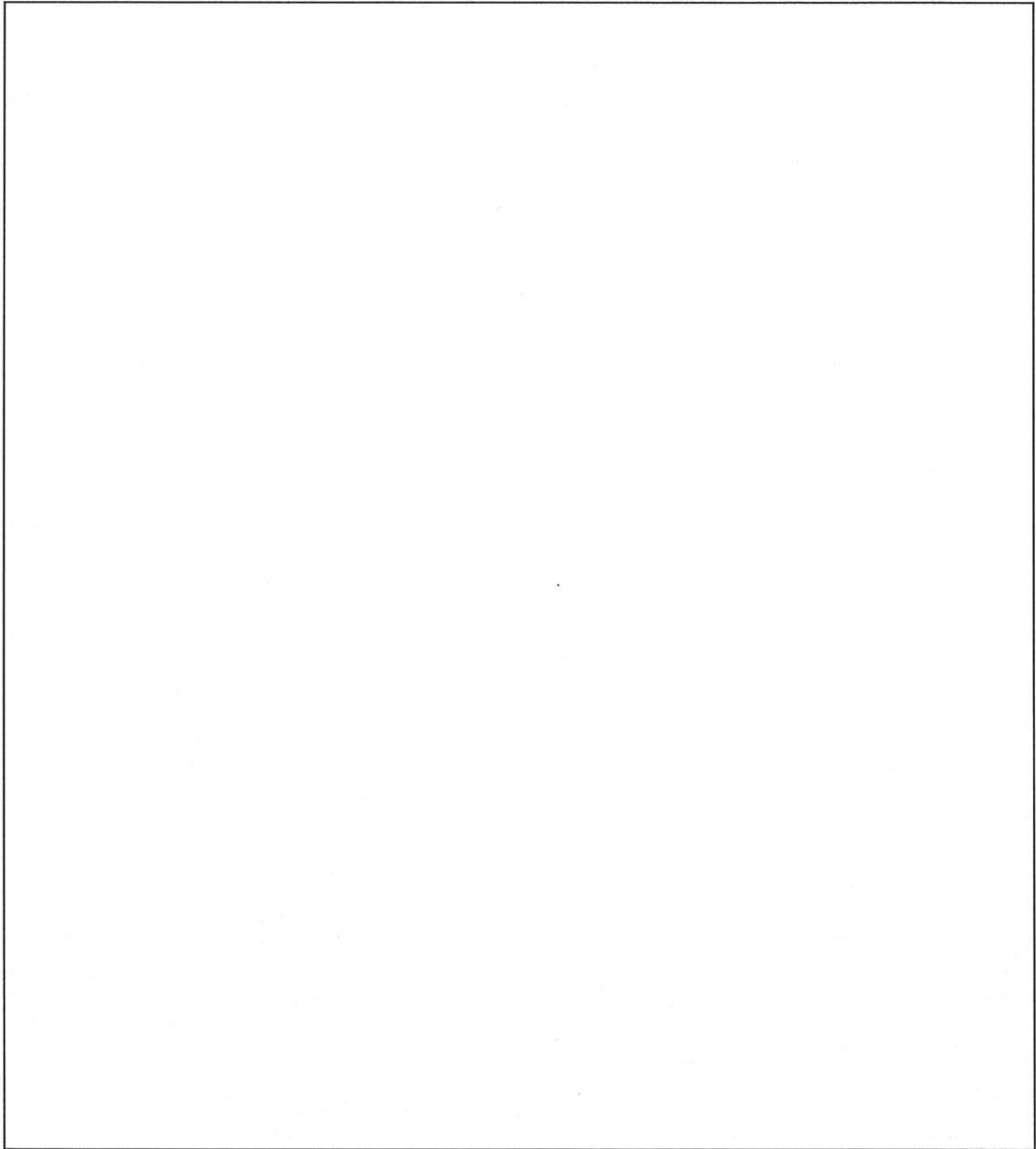
名称	洗浄設備	
図番	図イ設-13(10/10)	工場棟 転換工場



No.	安全機能を有する施設名称	基数
{52}	洗浄ろ液分離槽	2
{53}	洗浄ろ液分離槽液位高インターロック	-

\*5

□内は、耐震計算書の部位名称を示す



- \*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)
- \*2 : 耐腐食性材料 (□)
- \*3 : 溢水水位 (床面より160mm)
- \*4 : {53} 液位高検知設定位置  
: 槽上面から10mm以上
- \*5 : インターロックの基数については  
インターロック系統図 (図イ制-8)  
参照

■ : ウランが滞留する部分

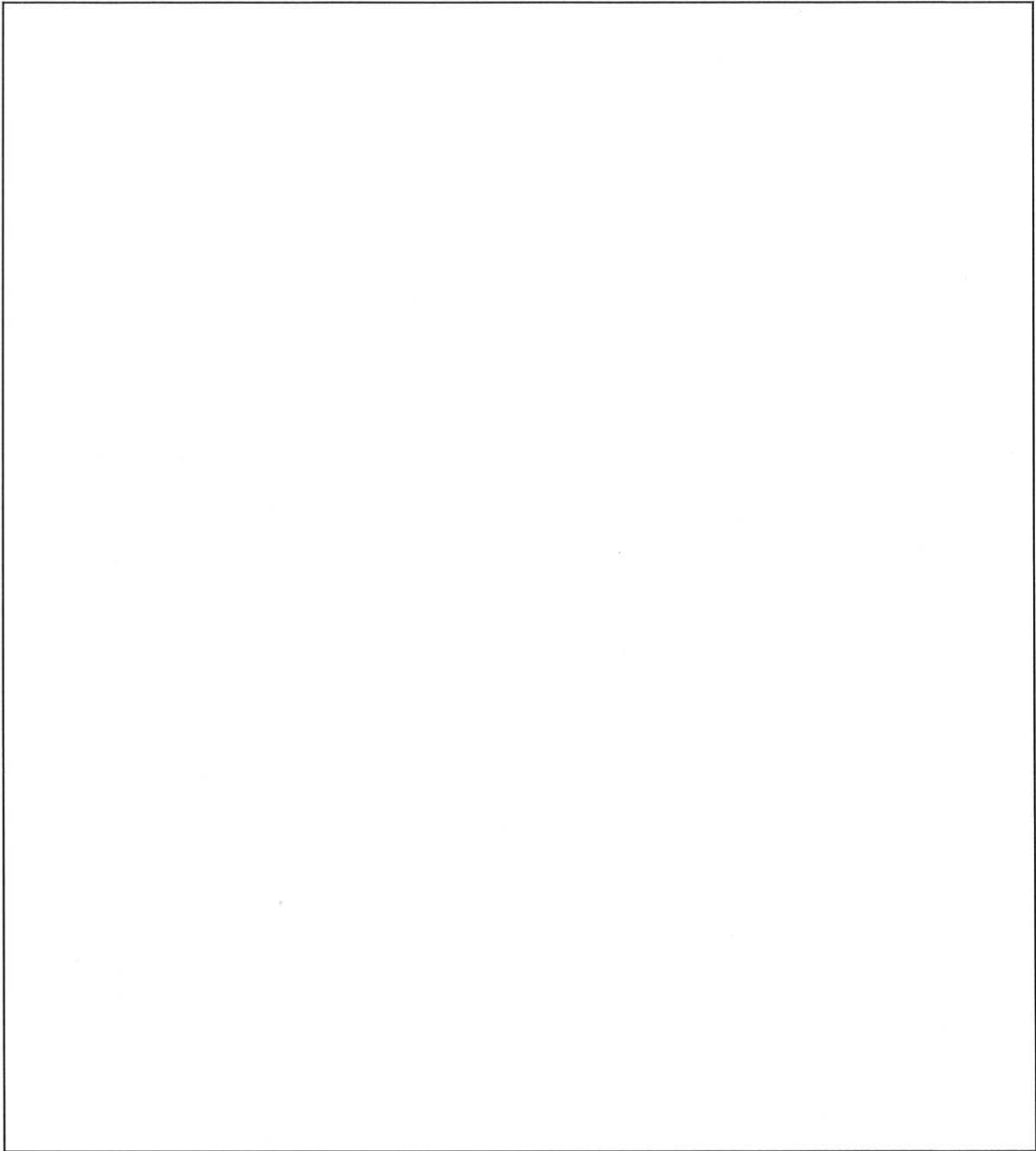
← : 申請機器の配管系統

- \*6 : 液位計 (電極式)
- \*7 : 形状寸法制限 (容積30.3L以下)
- \*8 : ケーシングによりウラン滞留部に  
溢水が浸入しない構造

単位 : mm

名称	洗浄設備 洗浄ろ液分離槽 (1) (2)	
図番	図イ設-14 (1/2)	工場棟 転換工場

□内は、耐震計算書の部位名称を示す



\*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)

\*2 : 耐腐食性材料 (□)

\*3 : 溢水水位 (床面より160mm)

\*4 : {53} 液位高検知設定位置  
: 槽上面から10mm以上

▨ : ウランが滞留する部分

← : 申請機器の配管系統

\*6 : 液位計 (電極式)

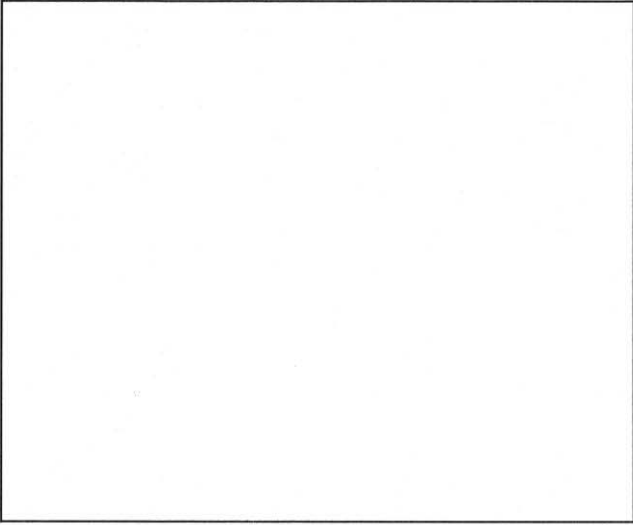
\*7 : 形状寸法制限 (容積30.3L以下)

\*8 : ケーシングによりウラン滞留部に  
溢水が浸入しない構造

単位 : mm

名称	洗浄設備 洗浄ろ液分離槽 (1) (2)	
図番	図イ設-14 (2/2)	工場棟 転換工場

No. [54]	安全機能を有する施設名称 遠心分離機(固液分離用)	基盤 2
<p> <input type="checkbox"/>内は、耐震計算書の部位名称を示す         </p> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p style="text-align: right;">           *1：形状寸法制限 (図イ設-15(2/8))            *2：耐腐食性材料 ( )            *3：溢水水位 (床面より160mm)            *4：ボルト支点間距離 (1750mm以上)            ←：申請機器の配管系統            単位：mm         </p>		
名称	固液分離設備 遠心分離機(固液分離用) (1) (2)	
図番	図イ設-15(1/8)	工場棟 転換工場



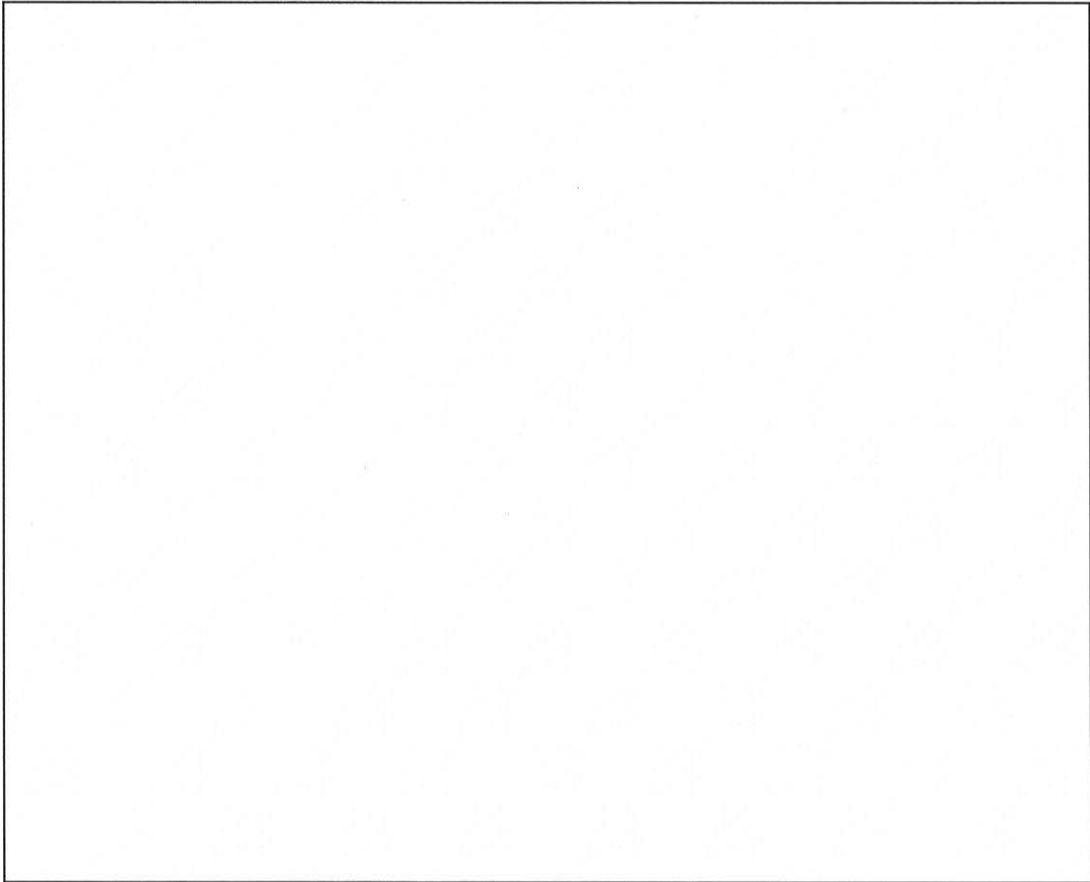
全て形状寸法制限値

\*5 : ポロン入りステンレスを設置する  
(ポロン含有率1%以上)  
(板厚4mm以上)

単位 : mm

名	固液分離設備	
称	遠心分離機(固液分離用) (1) (2)	
図	図イ設-15(2/8)	工場棟
番		転換工場

遠心分離機(固液分離用) (1)の核的制限値説明図\*1



□内は、耐震計算書の部位名称を示す

Blank area for drawing details.

Blank area for drawing details.


- \*1 : 形状寸法制限 (図イ設-15 (4/8))
- \*2 : 耐腐食性材料 (□)
- \*3 : 溢水水位 (床面より160mm)
- \*4 : ボルト支点間距離 (1750mm以上)
- ← : 申請機器の配管系統

単位 : mm

名称	固液分離設備	
図番	遠心分離機(固液分離用) (1) (2)	工場棟
	図イ設-15 (3/8)	転換工場

<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>
<p>全て形状寸法制限値</p> <p>*5 : <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> を設置する          (ポロン含有率1%以上)          (板厚4mm以上)</p>	
<p>単位：mm</p>	
<p>固液分離設備</p>	
名称	遠心分離機(固液分離用) (1) (2)
図番	図イ設-15(4/8)
<p>工場棟 転換工場</p>	


遠心分離機(固液分離用) (2)の核的制限値説明図\*1

- \*6 : 容積 2L以上
- \*7 : 火災源より高い位置にウランを取り扱う  
フードボックスはない
-  : 潤滑油を有する部位

単位 : mm

名	固液分離設備	
称	遠心分離機(固液分離用)(1)(2)	
図	図イ設-15(5/8)	工場棟
番		転換工場

<p>火災対策の説明図 遠心分離機(固液分離用) (1)</p>		固液分離設備		単位：mm	
		遠心分離機(固液分離用) (1) (2)	工場棟		
名	称	図	番		
		図イ設-15(6/8)			転換工場

- \*8：容積 1.2L以上
- \*9：遮熱板から防護対象(PC)までの距離  
及び判断基準は図イ設-133参照
- ：潤滑油を有する部位



\*6 : 容積 2L以上

\*7 : 火災源より高い位置にウランを取り扱う


フードボックスはない

 : 潤滑油を有する部位

単位 : mm

名	固液分離設備	
称	遠心分離機(固液分離用)(1)(2)	
図	図イ設-15(7/8)	工場棟
番		転換工場

<p>火災対策の説明図 遠心分離機(固液分離用) (2)</p>		固液分離設備		単位：mm
		名称	遠心分離機(固液分離用) (1) (2)	工場棟
図	図	図	図	図
番	番	番	番	番

\*8：容積 1.2L以上  
 \*9：遮熱板から防護対象(PC)までの距離  
 及び判断基準は図イ設-133参照  
：潤滑油を有する部位

No.	安全機能を有する施設名称	基数
{55}	ろ液分離槽	4
{56}	ろ液分離槽液位高インターロック	-

\*4

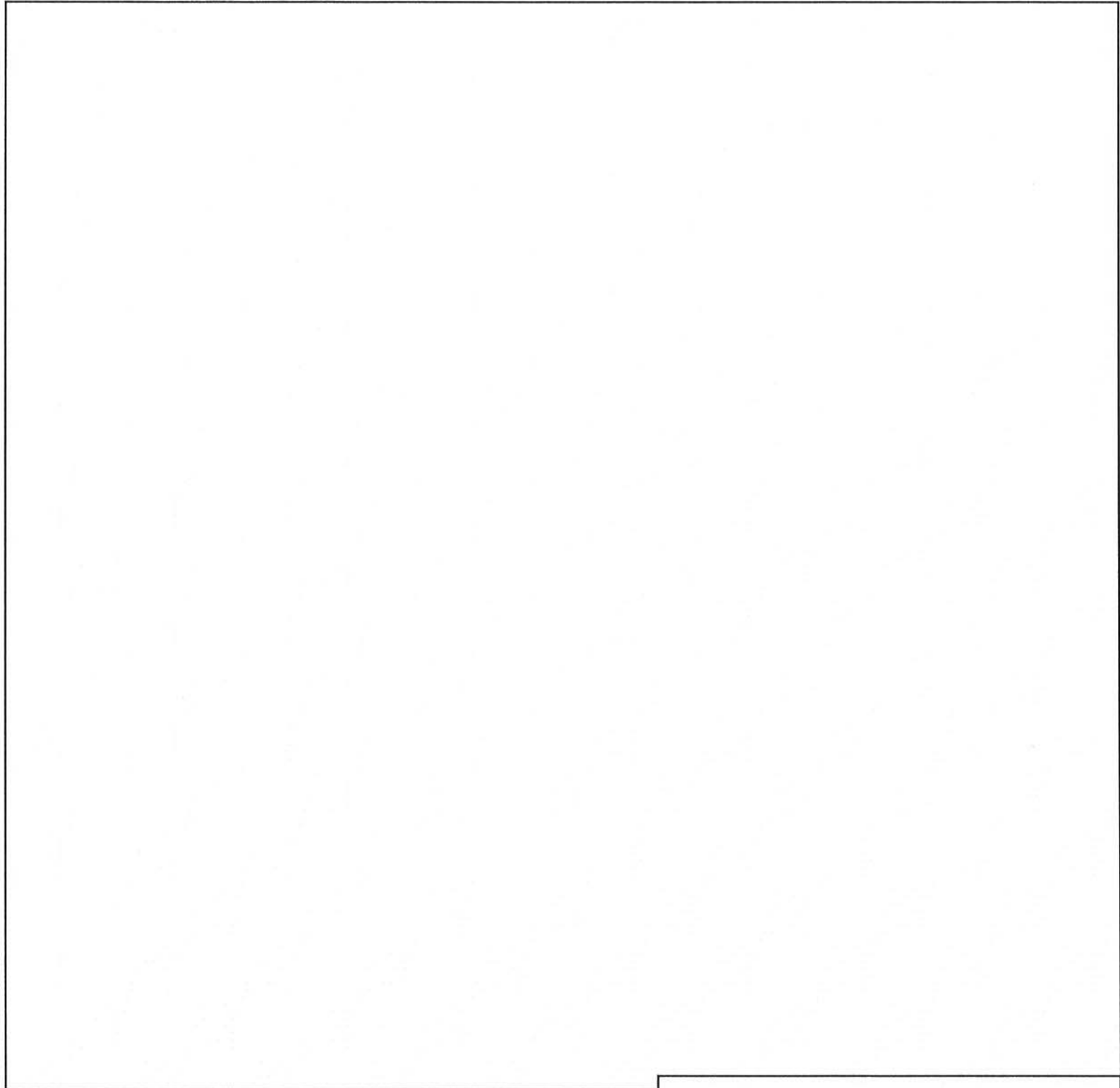
内は、耐震計算書の部位名称を示す

- \*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)
- \*2 : 耐腐食性材料 ()
- \*3 : 溢水水位 (床面より160mm)
- \*4 : インターロックの基数については  
インターロック系統図 (図イ制-9)  
参照
- \*5 : 形状寸法制限 (容積30.3L以下)
- \*6 : ケーシングによりウラン滞留部に  
溢水が浸入しない構造
- : ウランが滞留する部分
- ← : 申請機器の配管系統

単位 : mm

名 称	固液分離設備	
	ろ液分離槽 (1)-A, (1)-B, (2)-A, (2)-B	
図 番	図イ設-16 (1/4)	工場棟 転換工場

□内は、耐震計算書の部位名称を示す

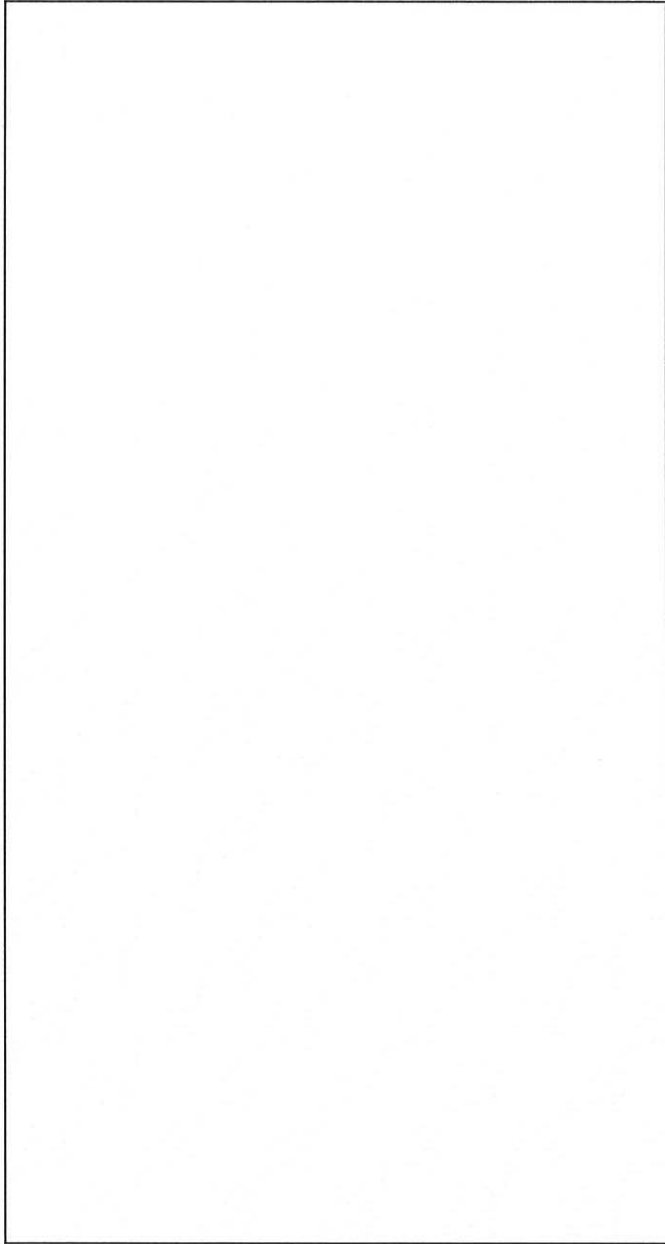


- \*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)
- \*2 : 耐腐食性材料 (□)
- \*3 : 溢水水位 (床面より160mm)
- \*5 : 形状寸法制限 (容積30.3L以下)
- \*6 : ケーシングによりウラン滞留部に  
溢水が浸入しない構造
- ▨ : ウランが滞留する部分
- ← : 申請機器の配管系統

単位 : mm

名 称	固液分離設備	
	ろ液分離槽(1)-A, (1)-B, (2)-A, (2)-B	
図 番	図イ設-16(2/4)	工場棟 転換工場

□内は、耐震計算書の部位名称を示す



\*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)

\*2 : 耐腐食性材料 (□)

\*3 : 溢水水位 (床面より160mm)

\*7 : {56} 液位高検知設定位置  
: 槽上面より10mm以上

\*8 : 液位計 (電極式)

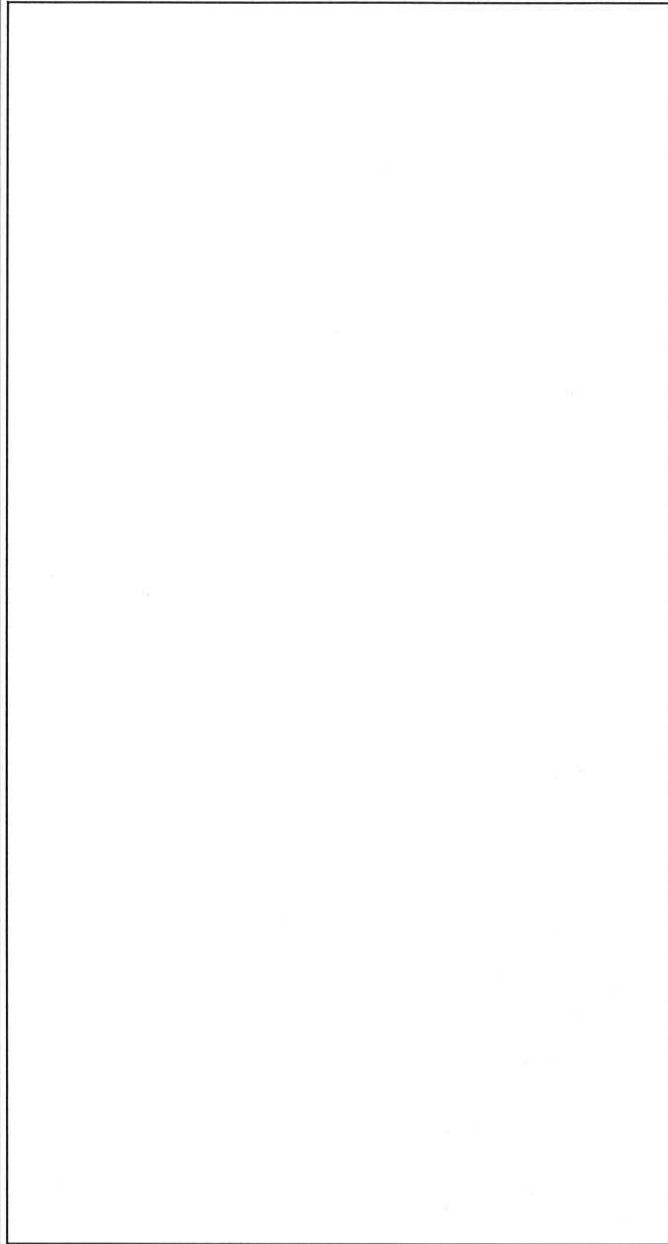
▨ : ウランが滞留する部分

← : 申請機器の配管系統

単位 : mm

名	固液分離設備	
称	ろ液分離槽(1)-A, (1)-B, (2)-A, (2)-B	
図	図イ設-16(3/4)	工場棟
番		転換工場

□内は、耐震計算書の部位名称を示す



\*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)

\*2 : 耐腐食性材料 (□)

\*3 : 溢水水位 (床面より160mm)

\*7 : {56} 液位高検知設定位置  
: 槽上面より10mm以上

\*8 : 液位計 (電極式)

▨ : ウランが滞留する部分

← : 申請機器の配管系統

単位 : mm

名	固液分離設備	
称	ろ液分離槽 (1)-A, (1)-B, (2)-A, (2)-B	
図	図イ設-16(4/4)	工場棟
番		転換工場

No.	安全機能を有する施設名称	基数
{57}	仕上り過機	2
{59}	仕上り過機異常インターロック	-

\*4

□内は、耐震計算書の部位名称を示す

- \*1 : 耐腐食性材料 (□)
- \*2 : 溢水水位 (床面より160mm)
- \*3 : 形状寸法制限 (容積30.3L以下)
- \*4 : インターロックの基数については  
インターロック系統図 (図イ制-10)
- \*5 : 回転計 (近接センサ)
- \*6 : ボルト支点間距離 (350mm以上)

▨ : ウランが滞留する部分

← : 申請機器の配管系統

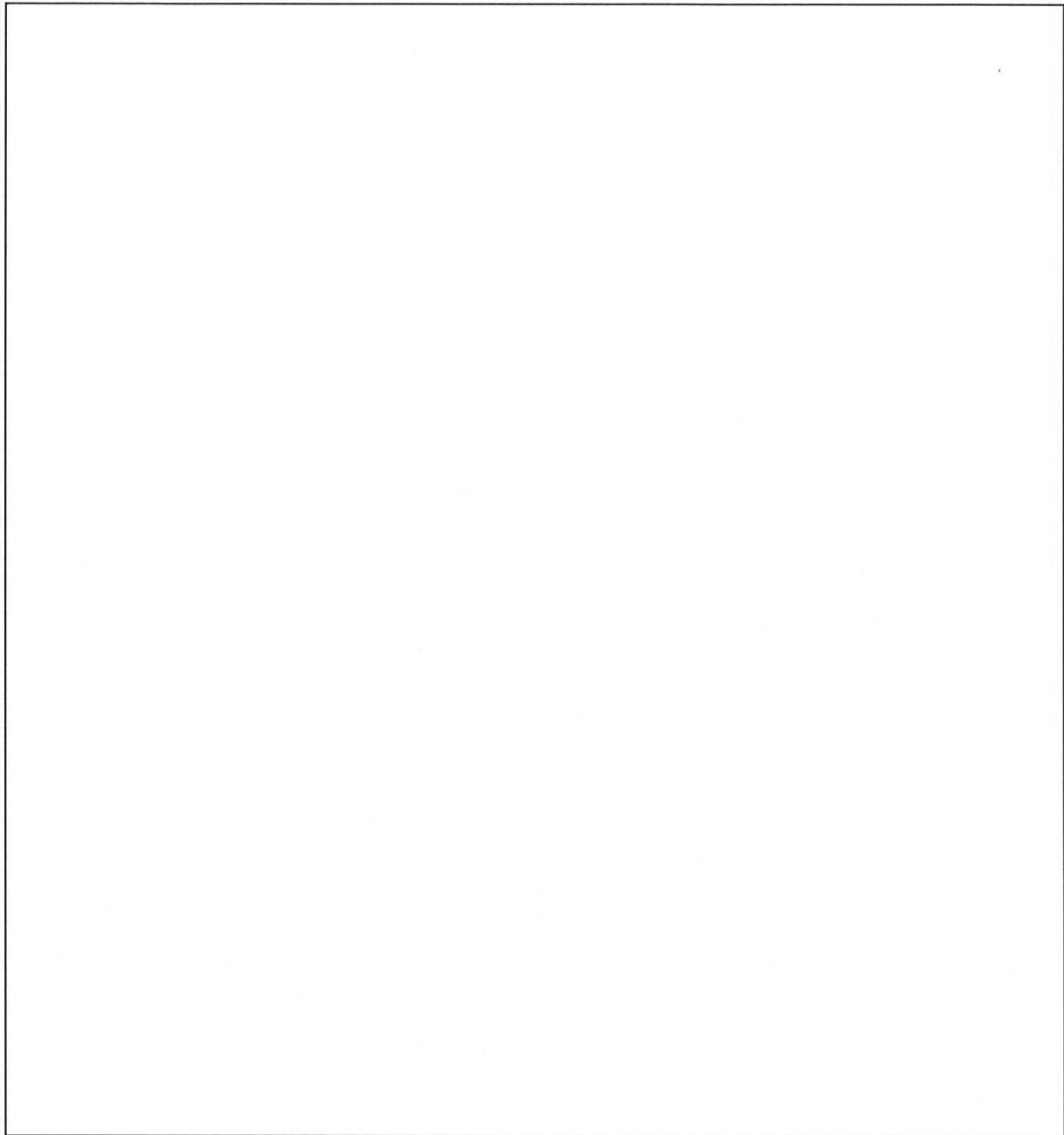
▩ : 縞鋼板

参照

単位 : mm

名	固液分離設備	
称	仕上り過機(1)(2)	
図	図イ設-17(1/4)	工場棟
番		転換工場

□内は、耐震計算書の部位名称を示す



- \*1 : 耐腐食性材料 (□)
- \*2 : 溢水水位 (床面より160mm)
- \*3 : 形状寸法制限 (容積30.3L以下)
- \*5 : 回転計 (近接センサ)
- \*6 : ボルト支点間距離 (350mm以上)

単位 : mm

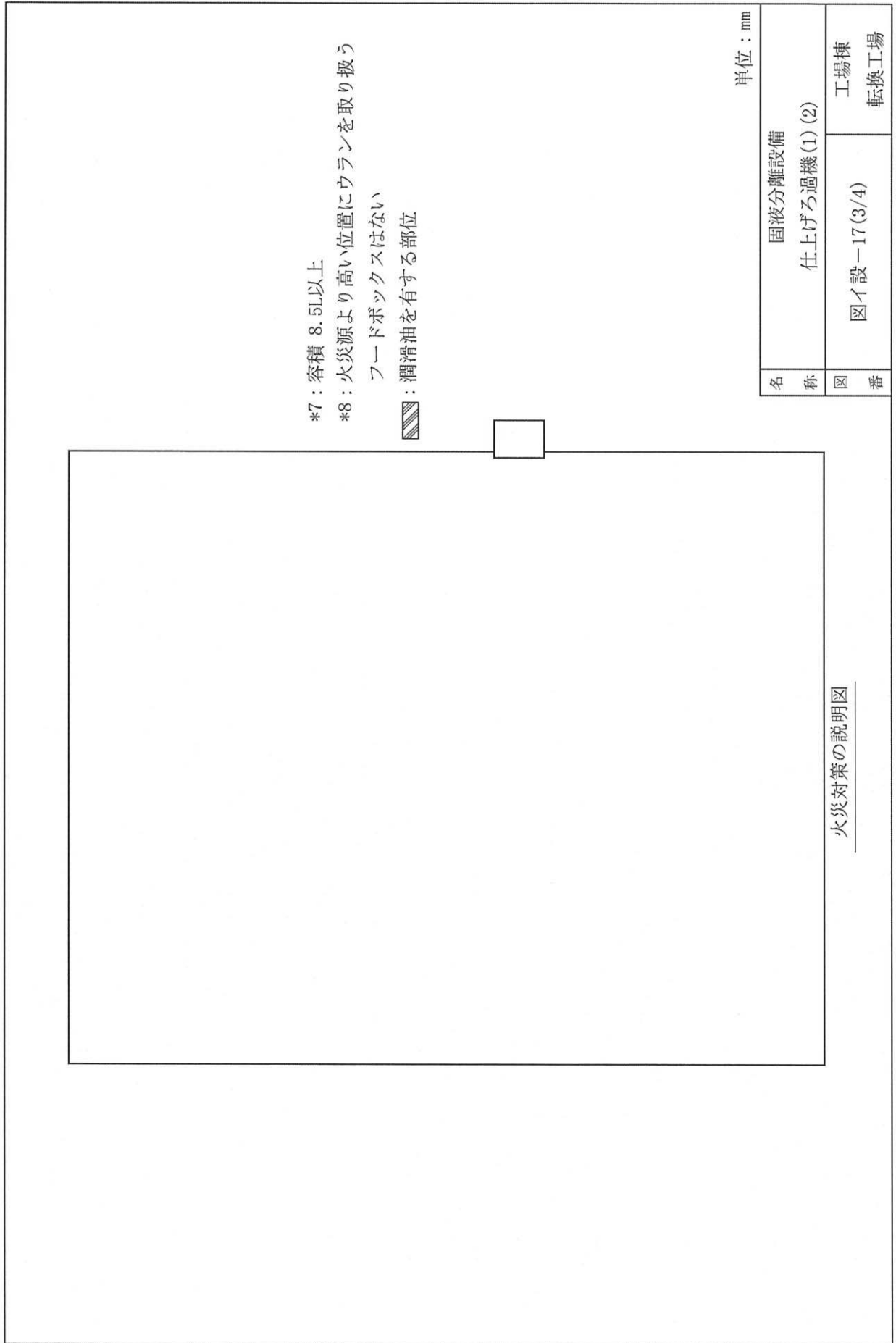
▨ : ウランが滞留する部分

← : 申請機器の配管系統

▩ : 縞鋼板

名称	固液分離設備 仕上げる過機(1)(2)	
図番	図イ設-17(2/4)	工場棟 転換工場





\*7: 容積 8.5L以上

\*8: 火災源より高い位置にウランを取り扱う

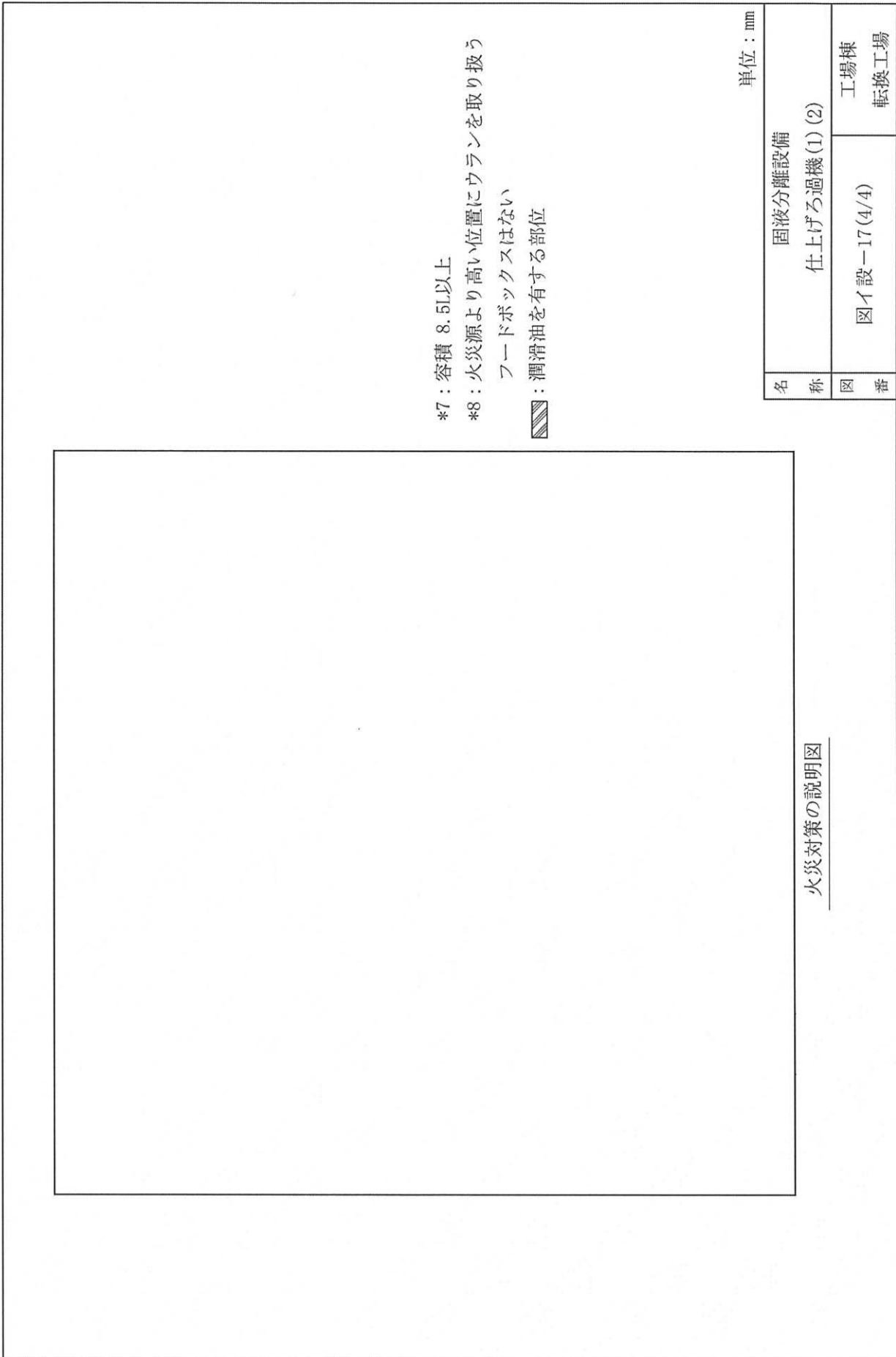
フードボックスはない


▨: 潤滑油を有する部位

単位: mm

名	固液分離設備	
称	仕上げる過機(1)(2)	
図	図イ設-17(3/4)	工場棟
番		転換工場

火災対策の説明図



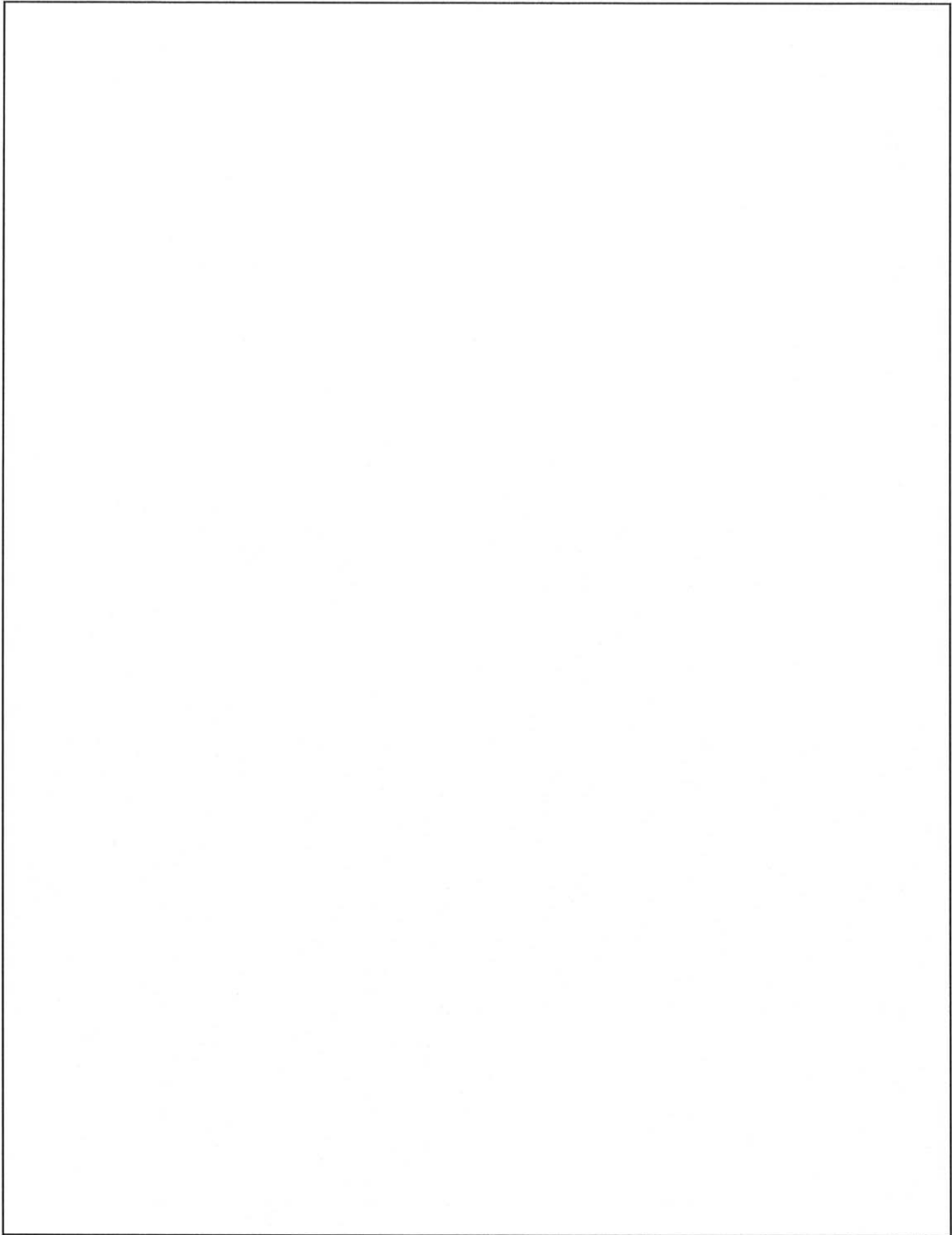
- \*7：容積 8.5L以上
- \*8：火災源より高い位置にウランを取り扱う  
フードボックスはない
- ：潤滑油を有する部位

単位：mm

名称	固液分離設備	
図番	図イ設-17(4/4)	工場棟 転換工場

火災対策の説明図

No.	安全機能を有する施設名称	基数
{58}	ろ過器	4



\*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)

単位 : mm

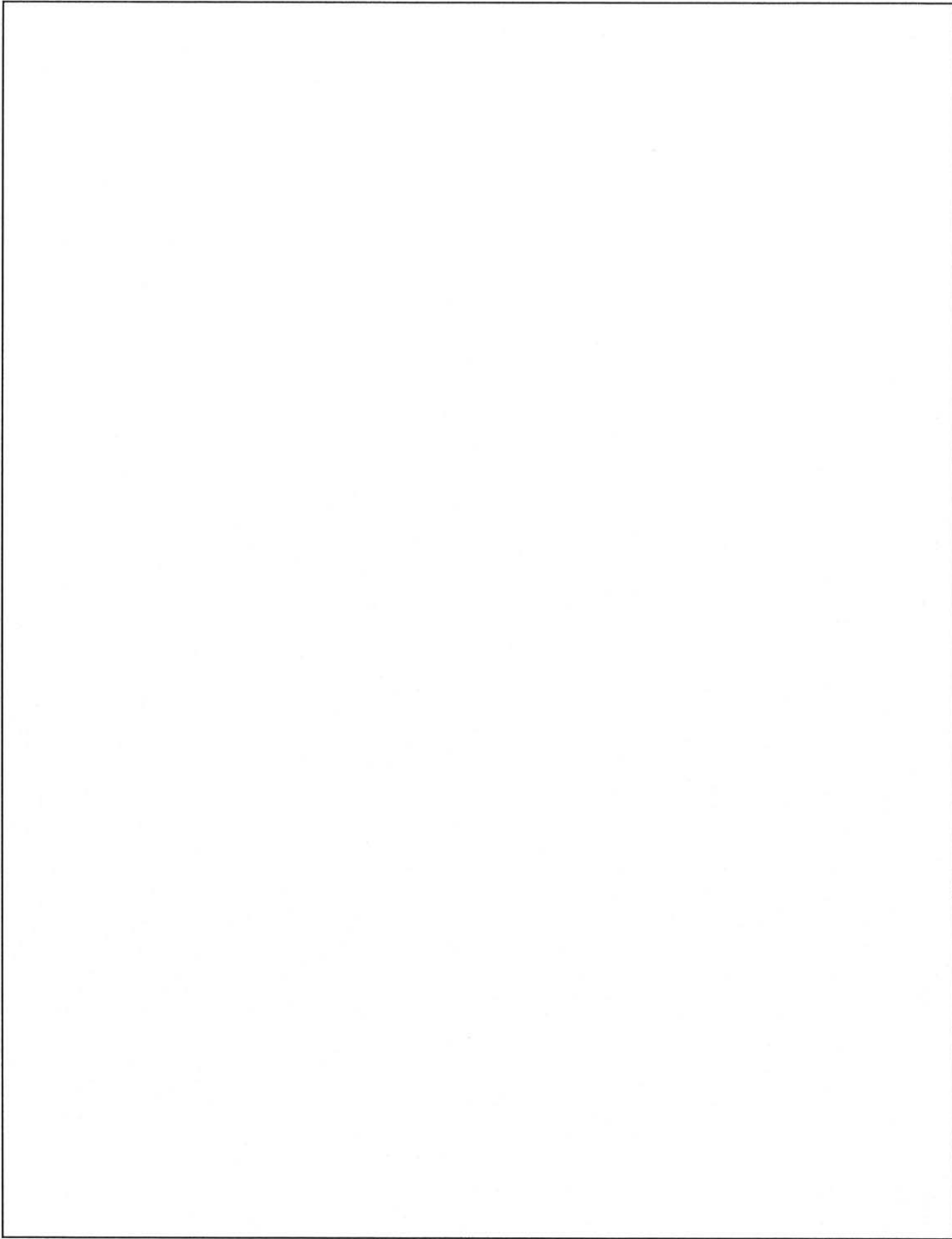
\*2 : 耐腐食性材料 ( )

\*3 : 溢水水位 (床面より160mm)

\*4 : 廃液に含まれるウランの除去


: ウランが滞留する部分

名称	固液分離設備	
	ろ過器(転換工程)(1)-A, (1)-B, (2)-A, (2)-B	
図番	図イ設-18(1/2)	工場棟 転換工場



\*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)

単位 : mm

\*2 : 耐腐食性材料 (  )

\*3 : 溢水水位 (床面より160mm)

\*4 : 廃液に含まれるウランの除去

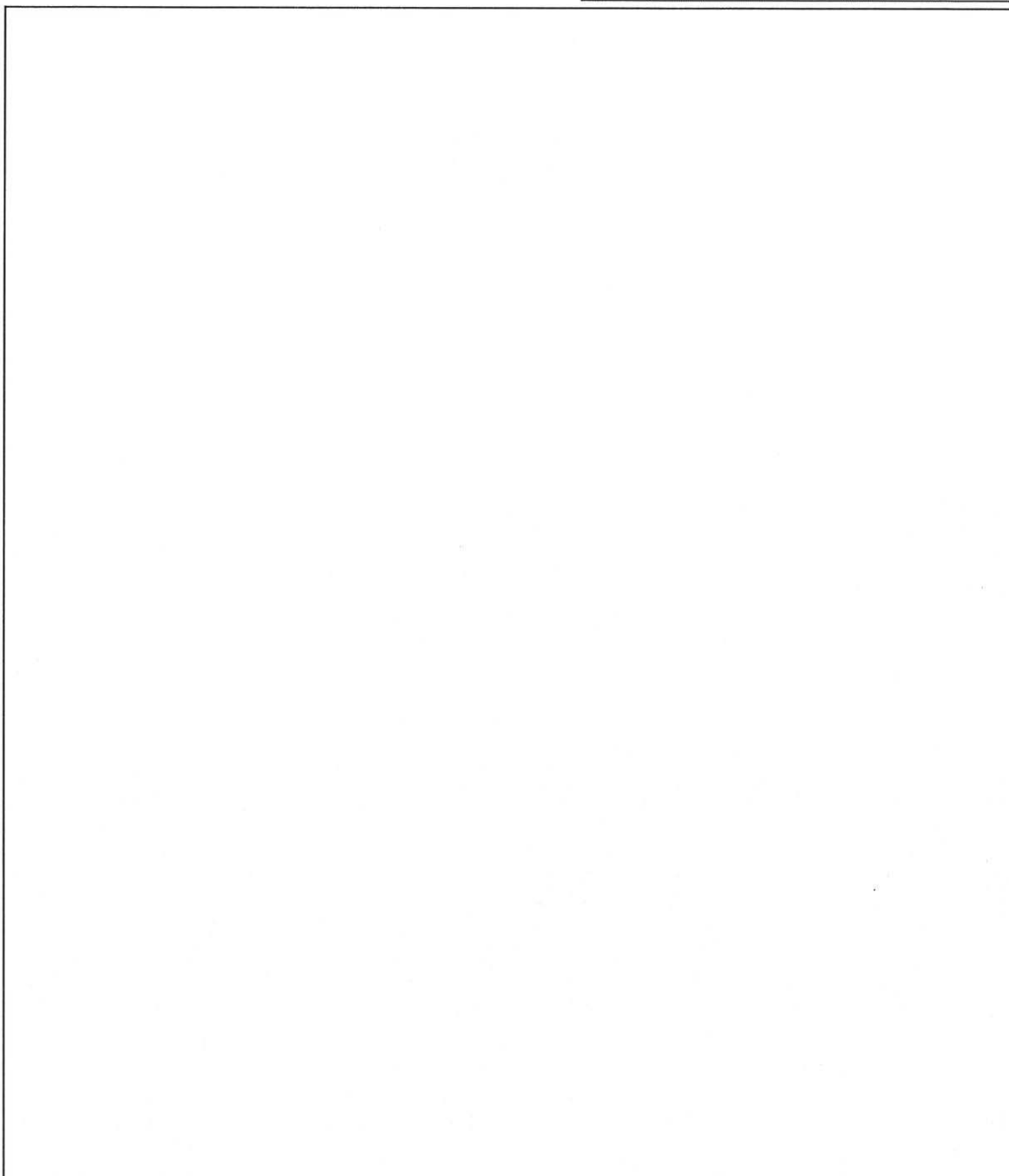
 : ウランが滞留する部分

名称	固液分離設備	
	ろ過器(転換工程)(1)-A, (1)-B, (2)-A, (2)-B	
図番	図イ設-18(2/2)	工場棟
		転換工場

□内は、耐震計算書の部位名称を示す

No.	安全機能を有する施設名称	基数
{60}	濃縮液受槽	2
{61}	濃縮液受槽液位高インターロック	-

\*5



\*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)

\*2 : 耐腐食性材料 (□)

\*3 : 溢水水位 (床面より160mm)

\*4 : {61} 液位高検知設定位置  
: 槽上面より10mm以上

\*5 : インターロックの基数については  
インターロック系統図 (図イ制-11)  
参照

\*6 : 液位計 (電極式)

\*7 : 形状寸法制限 (容積30.3L以下)

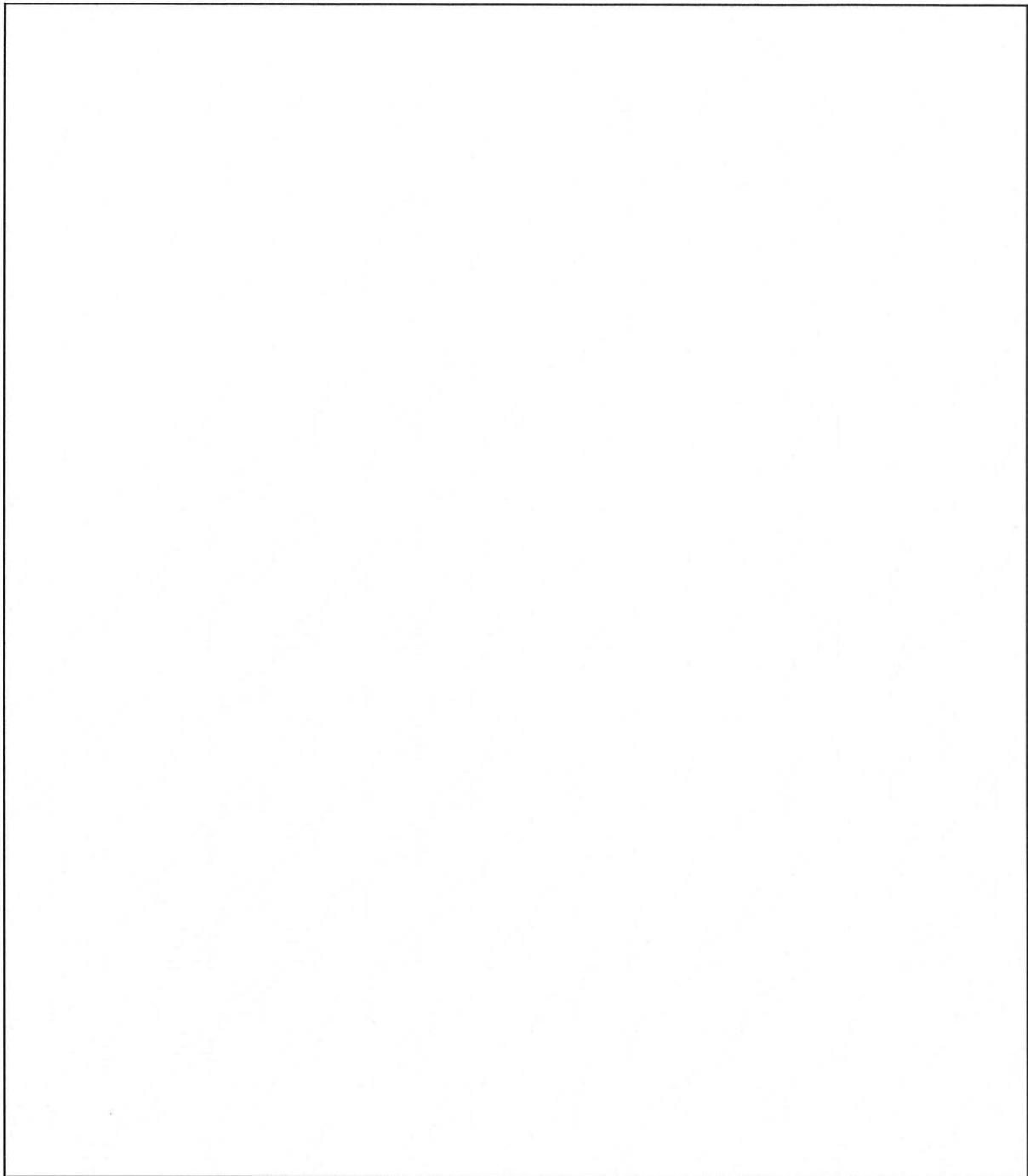
■ : ウランが滞留する部分

← : 申請機器の配管系統

単位 : mm

名称	固液分離設備 濃縮液受槽 (1) (2)	
	図イ設-19(1/4)	工場棟 転換工場

□内は、耐震計算書の部位名称を示す



\*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)

\*2 : 耐腐食性材料 (□)

\*3 : 溢水水位 (床面より160mm)

\*4 : {61} 液位高検知設定位置  
: 槽上面より10mm以上

\*6 : 液位計 (電極式)

\*7 : 形状寸法制限 (容積30.3L以下)

← : 申請機器の配管系統

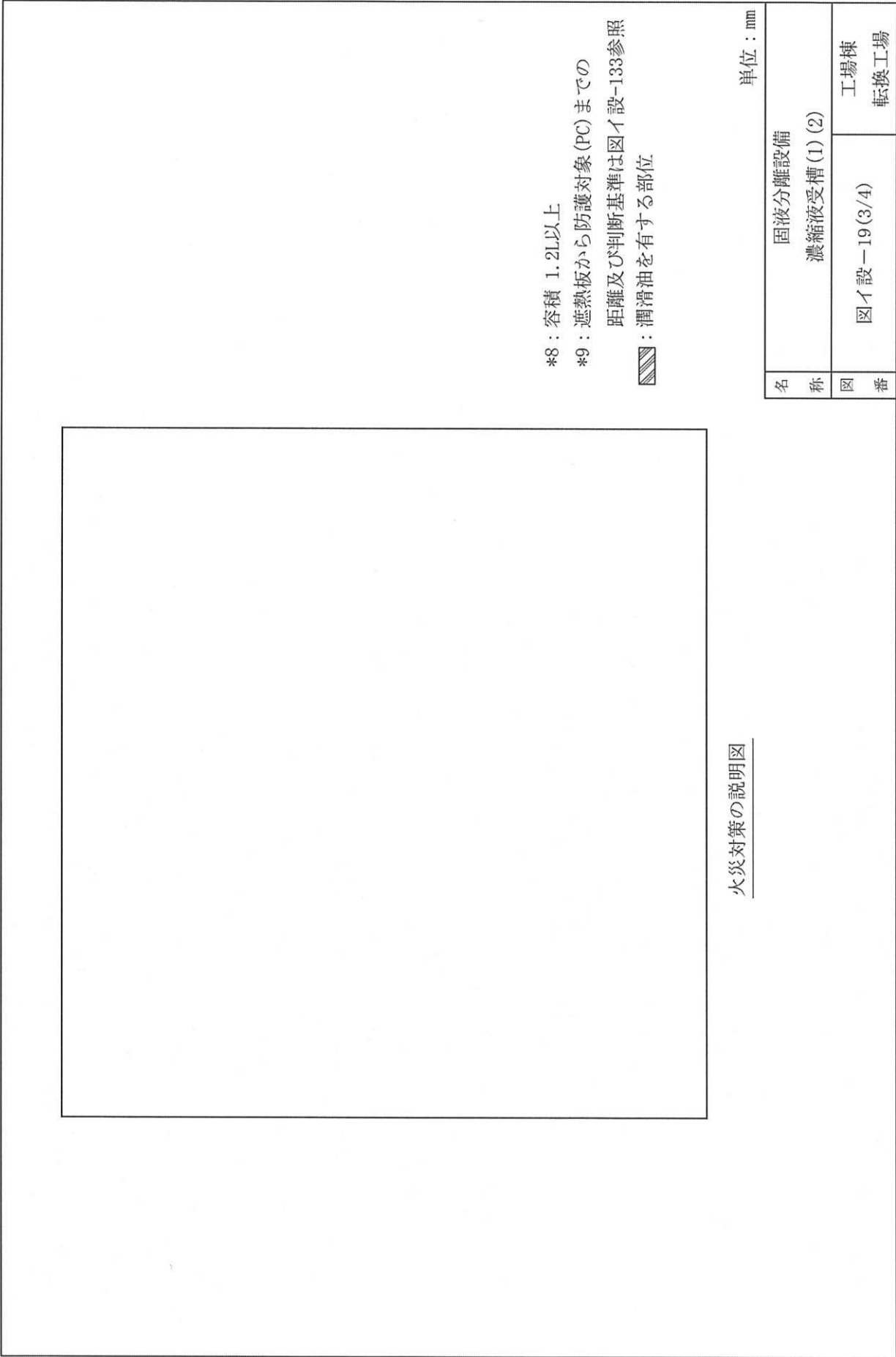
▨ : ウランが滞留する部分


⊠ : 架台取替(柱・梁 □ : □  
ベースプレート □mm : □)

▧ : 架台取替(梁 □ : □)

単位 : mm

名称	固液分離設備	
	濃縮液受槽 (1) (2)	
図番	図イ設-19(2/4)	工場棟 転換工場

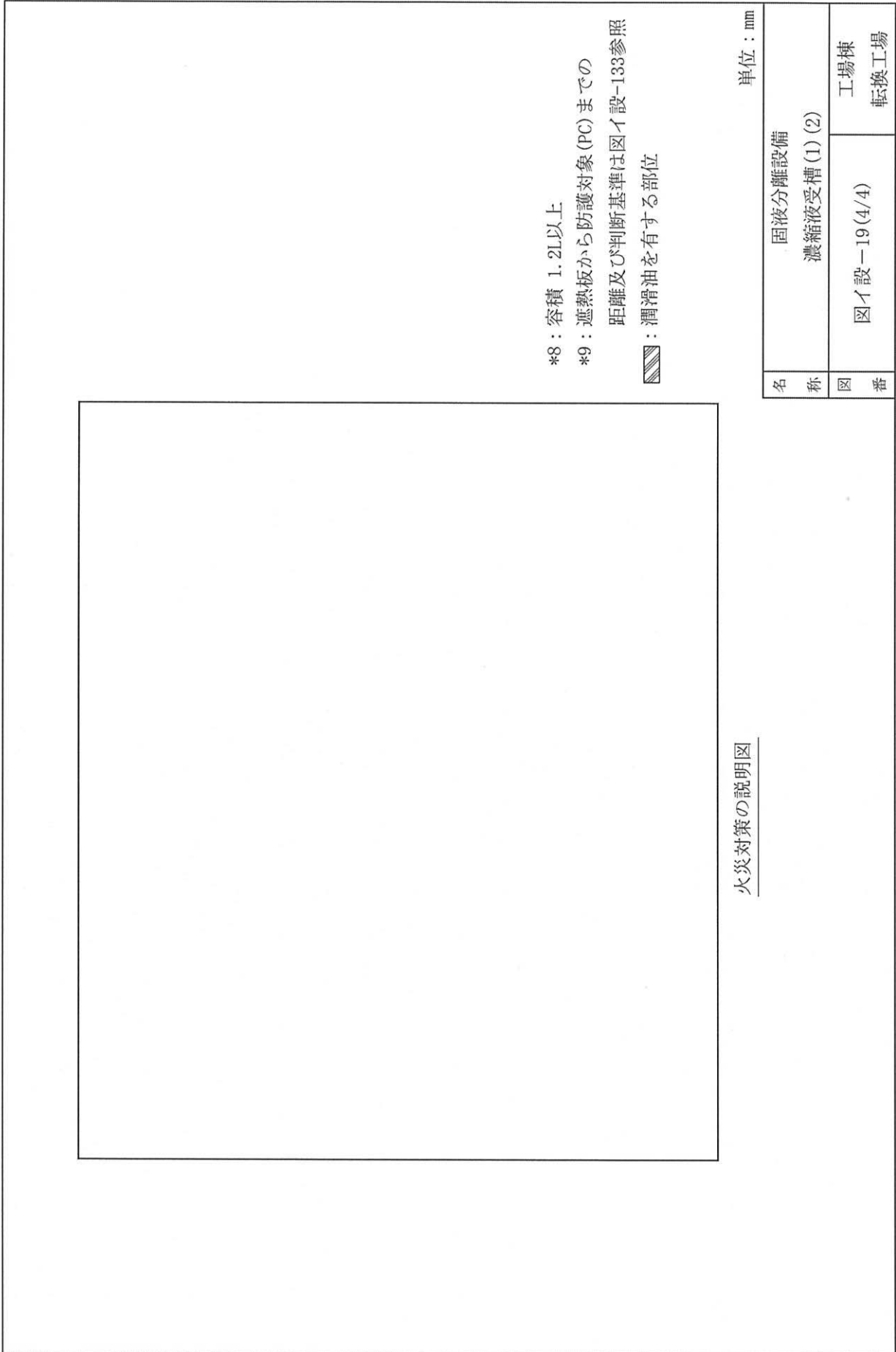


- \*8 : 容積 1.2L以上
- \*9 : 遮熱板から防護対象(PC)までの  
距離及び判断基準は図イ設-133参照
-  : 潤滑油を有する部位

火災対策の説明図

単位 : mm

名称	固液分離設備 濃縮液受槽(1)(2)	
図番	図イ設-19(3/4)	工場棟 転換工場



\*8 : 容積 1.2L以上

\*9 : 遮熱板から防護対象(PC)までの

距離及び判断基準は図イ設-133参照

 : 潤滑油を有する部位

火災対策の説明図

単位 : mm

名称	固液分離設備	
図番	濃縮液受槽(1)(2)	工場棟
	図イ設-19(4/4)	転換工場

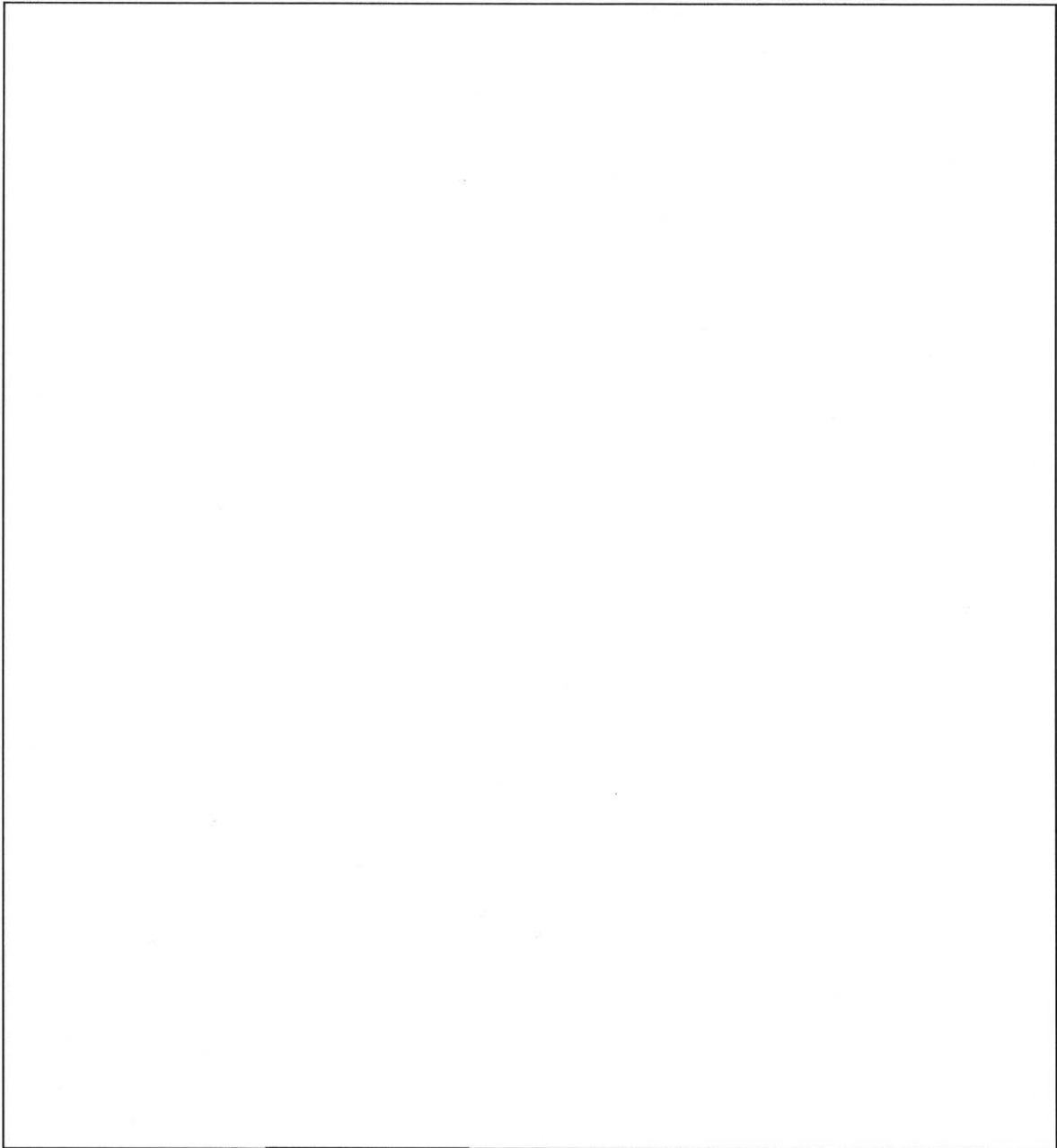


□内は、耐震計算書の部位名称を示す

No.	安全機能を有する施設名称	基数
{62}	清澄液受槽	6
{63}	清澄液受槽液位高インターロック	-
{64}	清澄液受槽pH異常インターロック	-

\*4

\*4



\*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)

\*2 : 耐腐食性材料 (□)

\*3 : 溢水水位 (床面より160mm)

\*4 : インターロックの基数については  
インターロック系統図  
(図イ制-12, 13) 参照

▨ : ウランが滞留する部分

← : 申請機器の配管系統

⊗ : 架台取替(柱・梁 □ : □)

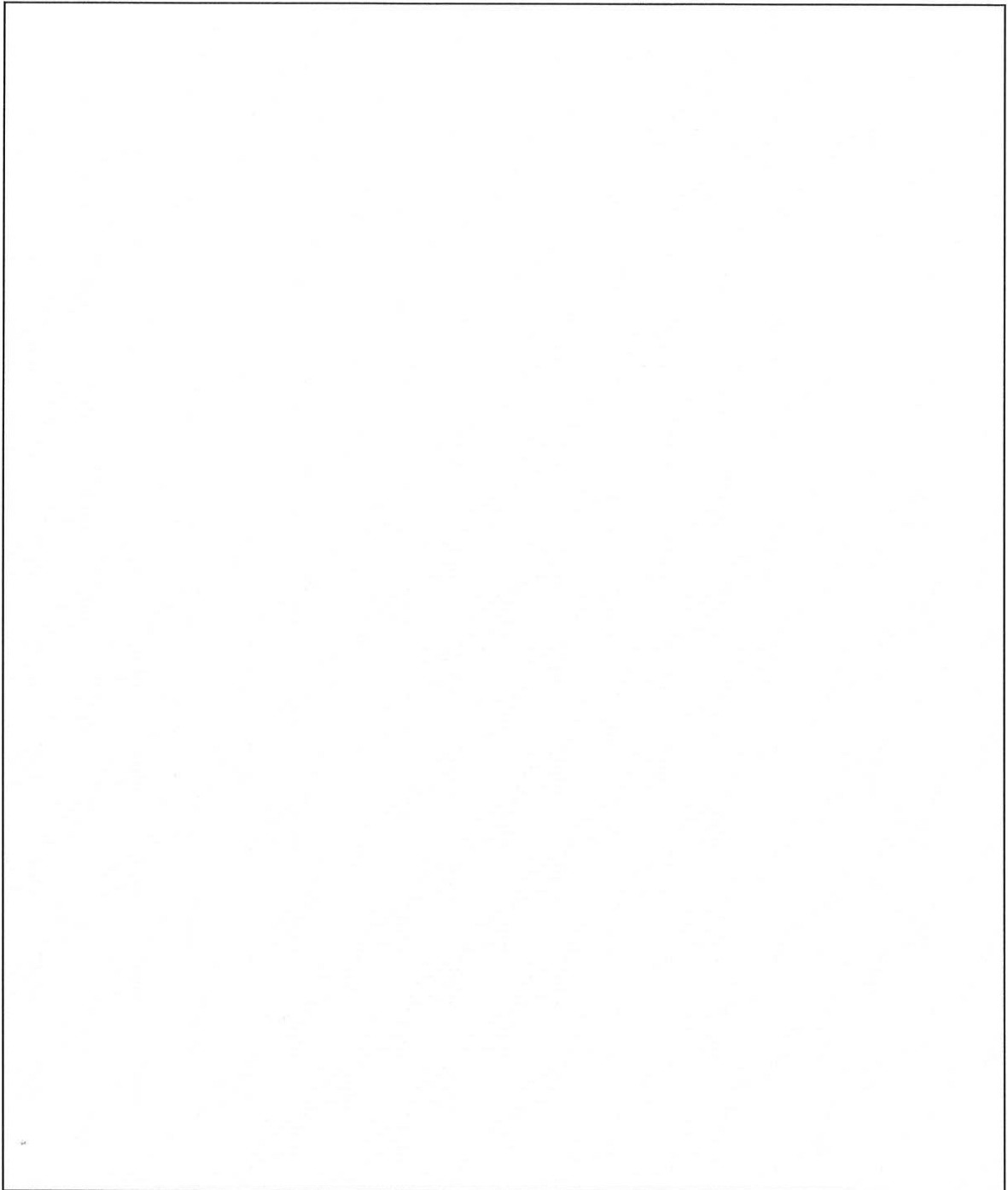
ベースプレート □mm : □

▨ : 架台取替(梁 □ : □)

単位 : mm

名	固液分離設備	
称	清澄液受槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (2)-A, (2)-B, (2)-C	
図	図イ設-20(1/6)	工場棟
番		転換工場

□内は、耐震計算書の部位名称を示す



\*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)

\*2 : 耐腐食性材料 □

\*3 : 溢水水位 (床面より160mm)

\*5 : pH計 (2線式)

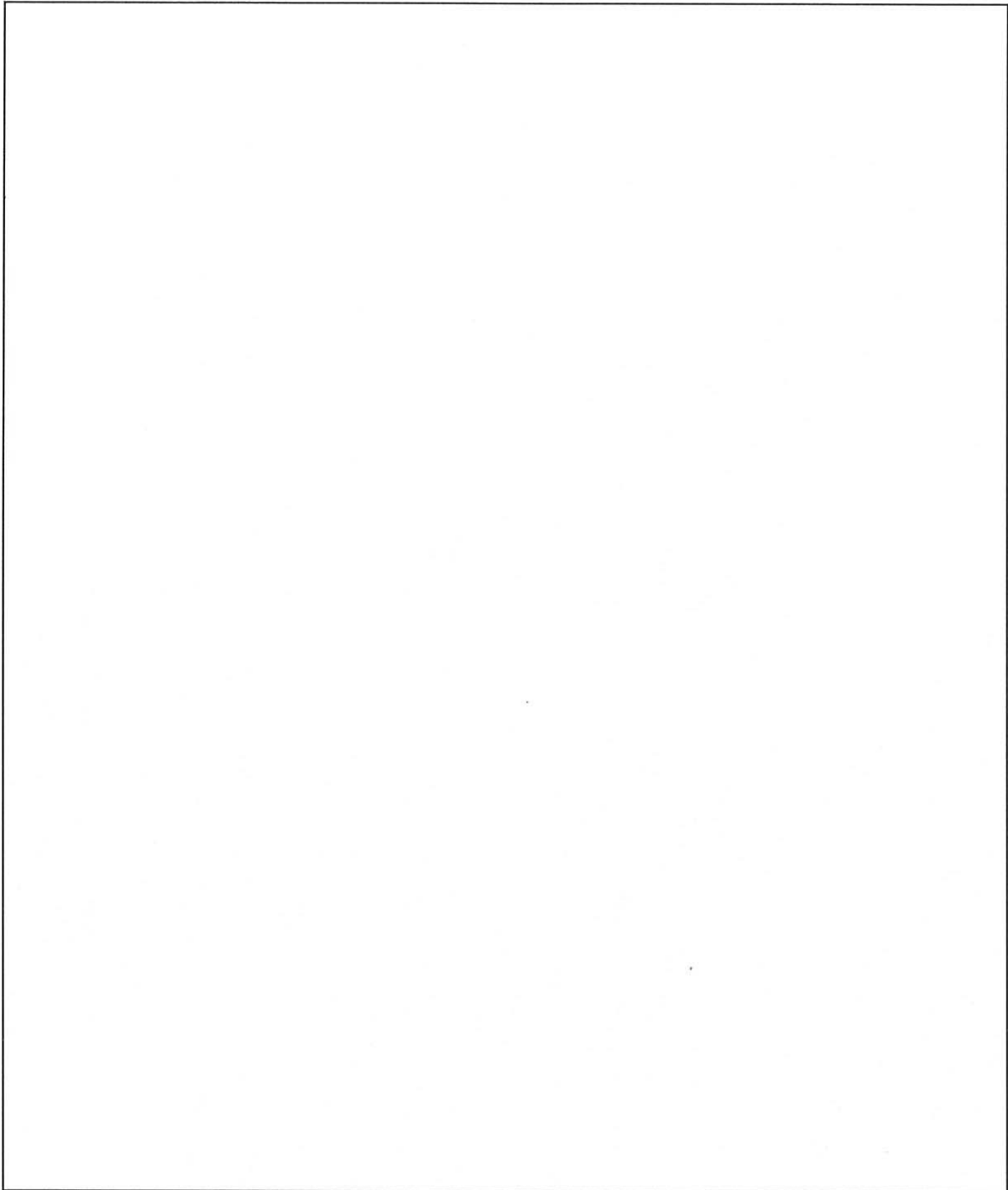
▨ : ウランが滞留する部分

← : 申請機器の配管系統

単位 : mm

名称	固液分離設備 清澄液受槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (2)-A, (2)-B, (2)-C	
図番	図イ設-20(2/6)	工場棟 転換工場

□内は、耐震計算書の部位名称を示す



\*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)

\*2 : 耐腐食性材料 (□)

\*3 : 溢水水位 (床面より160mm)

\*5 : pH計 (2線式)

\*6 : {63} 液位高検知設定位置  
: 槽上面より10mm以上

\*7 : 液位計 (電極式)

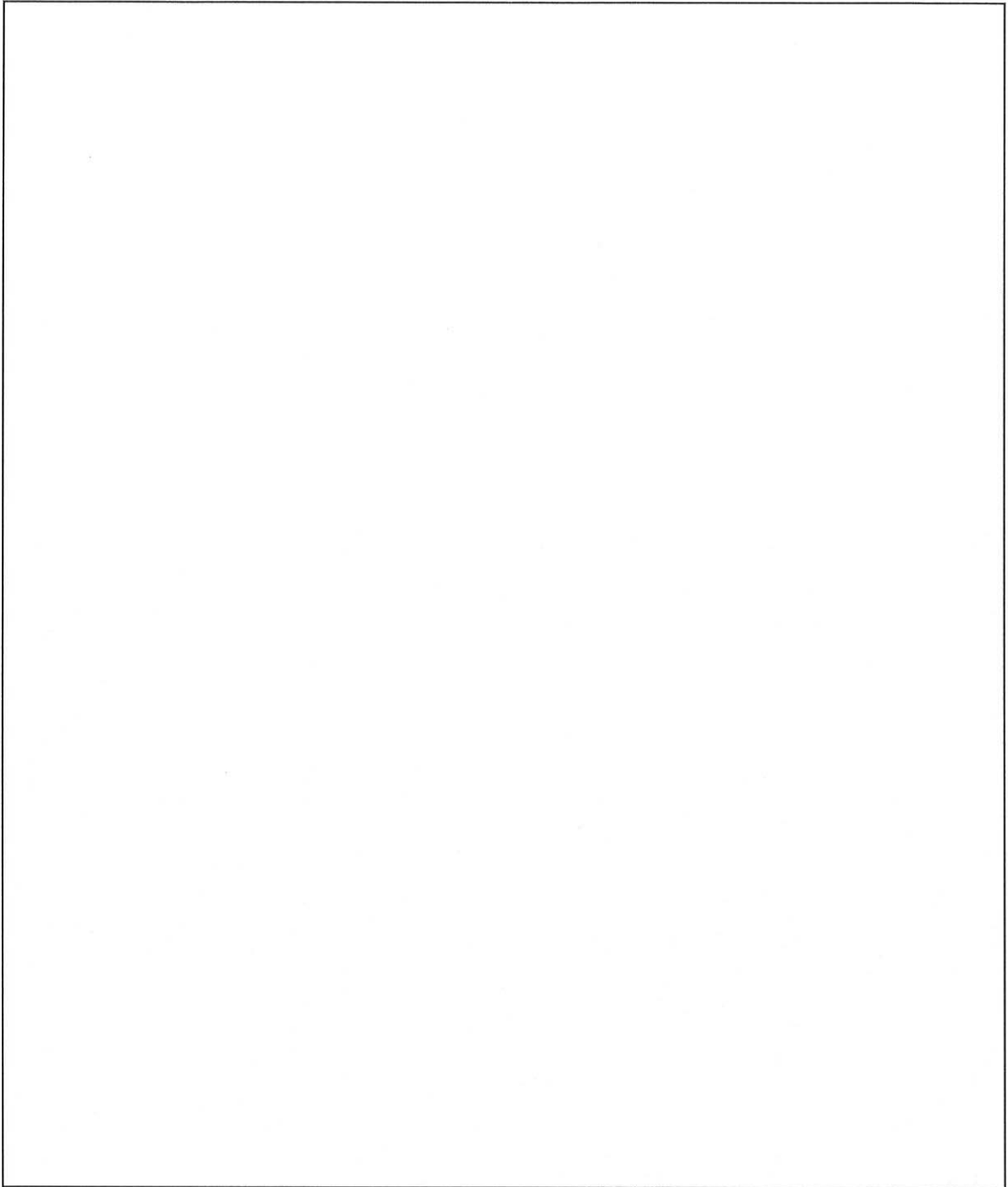
▨ : ウランが滞留する部分

← : 申請機器の配管系統

単位 : mm

名	固液分離設備	
称	清澄液受槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (2)-A, (2)-B, (2)-C	
図	図イ設-20(3/6)	工場棟
番		転換工場

□内は、耐震計算書の部位名称を示す



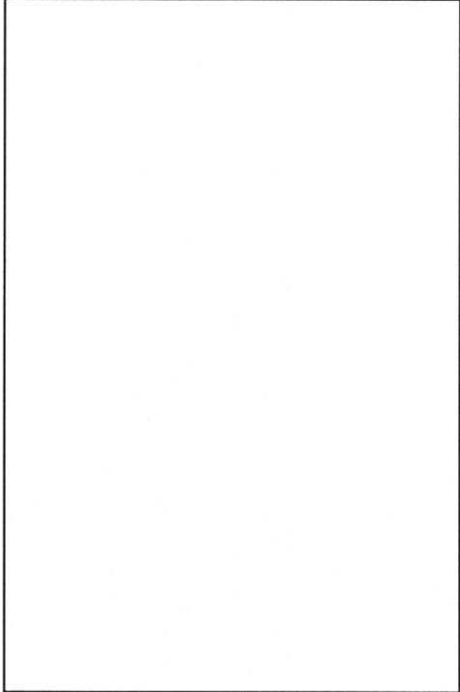
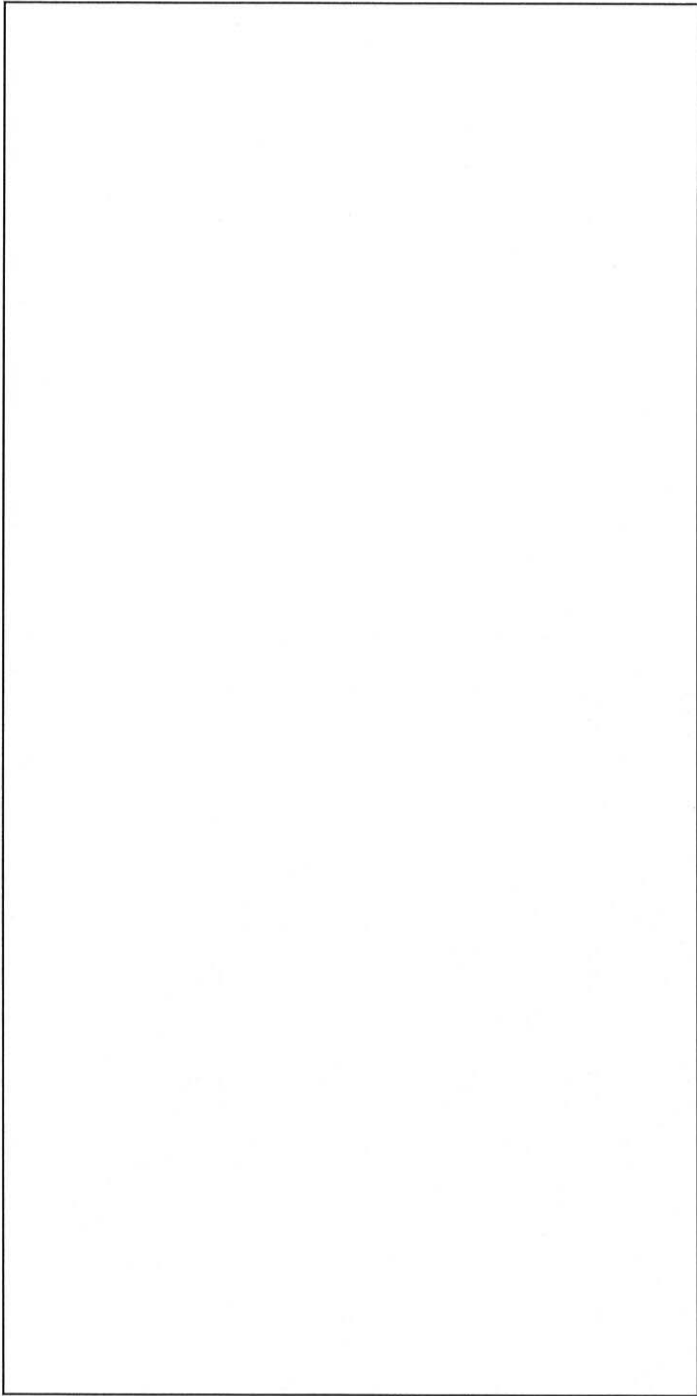
- \*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)
- \*2 : 耐腐食性材料 (□)
- \*3 : 溢水水位 (床面より160mm)
- \*6 : {63} 液位高検知設定位置  
: 槽上面より10mm以上
- \*7 : 液位計 (電極式)

- : ウランが滞留する部分
- ← : 申請機器の配管系統

単位 : mm

名	固液分離設備	
称	清澄液受槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (2)-A, (2)-B, (2)-C	
図番	図イ設-20(4/6)	工場棟 転換工場

□内は、耐震計算書の部位名称を示す



\*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)

\*2 : 耐腐食性材料 □

\*3 : 溢水水位 (床面より160mm)

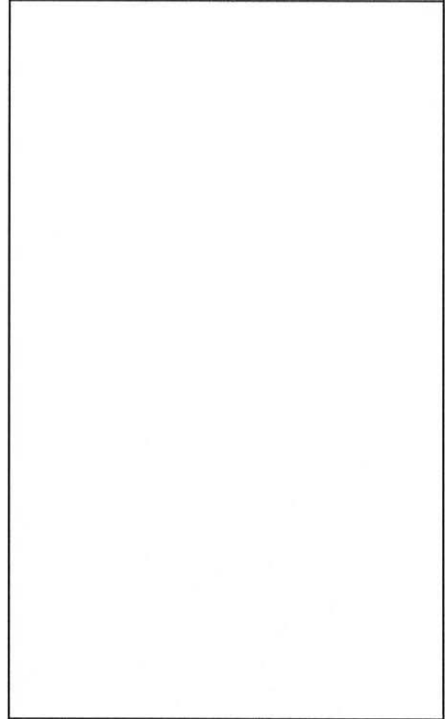
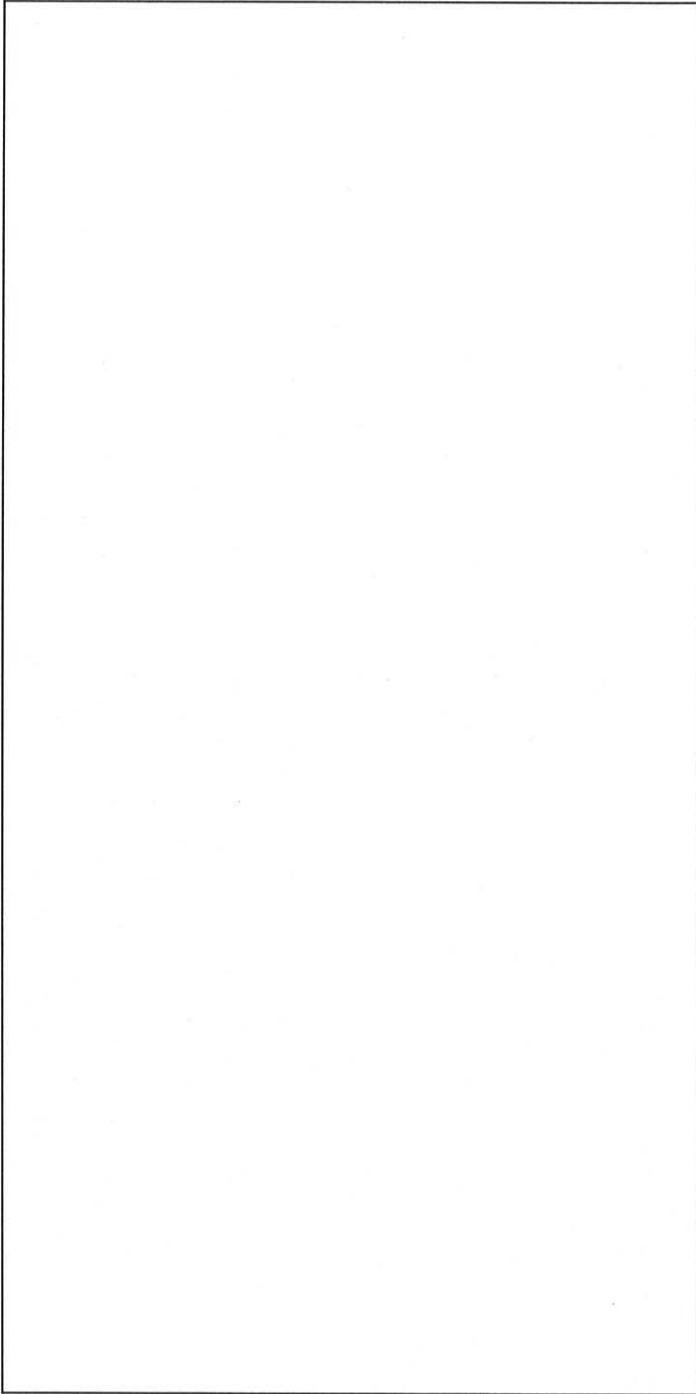
▨ : ウランが滞留する部分

← : 申請機器の配管系統

単位 : mm

名称	固液分離設備 清澄液受槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (2)-A, (2)-B, (2)-C	
図番	図イ設-20(5/6)	工場棟 転換工場

□内は、耐震計算書の部位名称を示す



\*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)

\*2 : 耐腐食性材料 (□)

\*3 : 溢水水位 (床面より160mm)

▨ : ウランが滞留する部分

← : 申請機器の配管系統

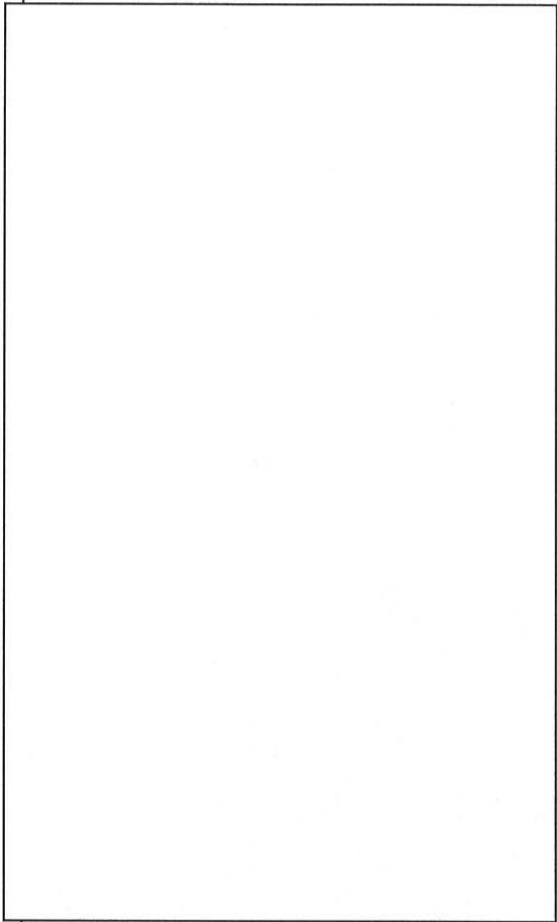
単位 : mm

名	固液分離設備	
称	清澄液受槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (2)-A, (2)-B, (2)-C	
図	図イ設-20(6/6)	工場棟
番		転換工場

No.	安全機能を有する施設名称	基数
{65}	再生液貯槽	6
{66}	再生液貯槽液位高インターロック	-

\*5

内は、耐震計算書の部位名称を示す



\*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)

\*2 : 耐腐食性材料 ( )

\*3 : 溢水水位 (床面より160mm)

\*4 : {66} 液位高検知設定位置  
: 槽上面より400mm以上

\*5 : インターロックの基数については  
インターロック系統図 (図イ制-14)  
参照

\*6 : 液位計 (フロート式)

\*7 : 形状寸法制限 (容積30.3L以下)

: ウランが滞留する部分

← : 申請機器の配管系統 単位 : mm

名	固液分離設備	
称	再生液貯槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (2)-A, (2)-B, (2)-C	
図	図イ設-21(1/8)	工場棟
番		転換工場

	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span> 内は、耐震計算書の部位名称を示す         </div>						
	<div style="border: 1px solid black; height: 300px; margin-bottom: 10px;"></div>						
	<p>*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)</p> <p>*2 : 耐腐食性材料 (<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 80px; height: 15px;"></span>)</p> <p>*3 : 溢水水位 (床面より160mm)</p> <p>*4 : {66} 液位高検知設定位置 : 槽上面より400mm以上</p> <p>*6 : 液位計 (フロート式)</p> <p>*7 : 形状寸法制限 (容積30.3L以下)</p> <p><span style="background-color: #cccccc; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span> : ウランが滞留する部分</p> <p>← : 申請機器の配管系統 <span style="float: right;">単位 : mm</span></p>						
名 称  図 番	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">固液分離設備</td> </tr> <tr> <td colspan="2">再生液貯槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (2)-A, (2)-B, (2)-C</td> </tr> <tr> <td style="width: 70%; text-align: center;">図イ設-21(2/8)</td> <td style="text-align: center;">工場棟 転換工場</td> </tr> </table>	固液分離設備		再生液貯槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (2)-A, (2)-B, (2)-C		図イ設-21(2/8)	工場棟 転換工場
固液分離設備							
再生液貯槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (2)-A, (2)-B, (2)-C							
図イ設-21(2/8)	工場棟 転換工場						



<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<p>□内は、耐震計算書の部位名称を示す</p>												
	<p>*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)          *2 : 耐腐食性材料 (□)          *3 : 溢水水位 (床面より160mm)</p> <p>■ : ウランが滞留する部分          ← : 申請機器の配管系統 単位 : mm</p>												
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">名</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">固液分離設備</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">称</td> <td colspan="2">再生液貯槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (2)-A, (2)-B, (2)-C</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">図</td> <td style="text-align: center;">図イ設-21(3/8)</td> <td style="text-align: center;">工場棟</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">番</td> <td></td> <td style="text-align: center;">転換工場</td> </tr> </table>	名	固液分離設備		称	再生液貯槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (2)-A, (2)-B, (2)-C		図	図イ設-21(3/8)	工場棟	番		転換工場
名	固液分離設備												
称	再生液貯槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (2)-A, (2)-B, (2)-C												
図	図イ設-21(3/8)	工場棟											
番		転換工場											

□内は、耐震計算書の部位名称を示す

\*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)

\*2 : 耐腐食性材料 □  
□

\*3 : 溢水水位 (床面より160mm)

▨ : ウランが滞留する部分

← : 申請機器の配管系統 単位 : mm

名	固液分離設備	
称	再生液貯槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (2)-A, (2)-B, (2)-C	
図	図イ設-21(4/8)	工場棟
番		転換工場

内は、耐震計算書の部位名称を示す

\*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)

\*2 : 耐腐食性材料

\*3 : 溢水水位 (床面より160mm)

\*4 : {66} 液位高検知設定位置  
: 槽上面より400mm以上

\*6 : 液位計 (フロート式)

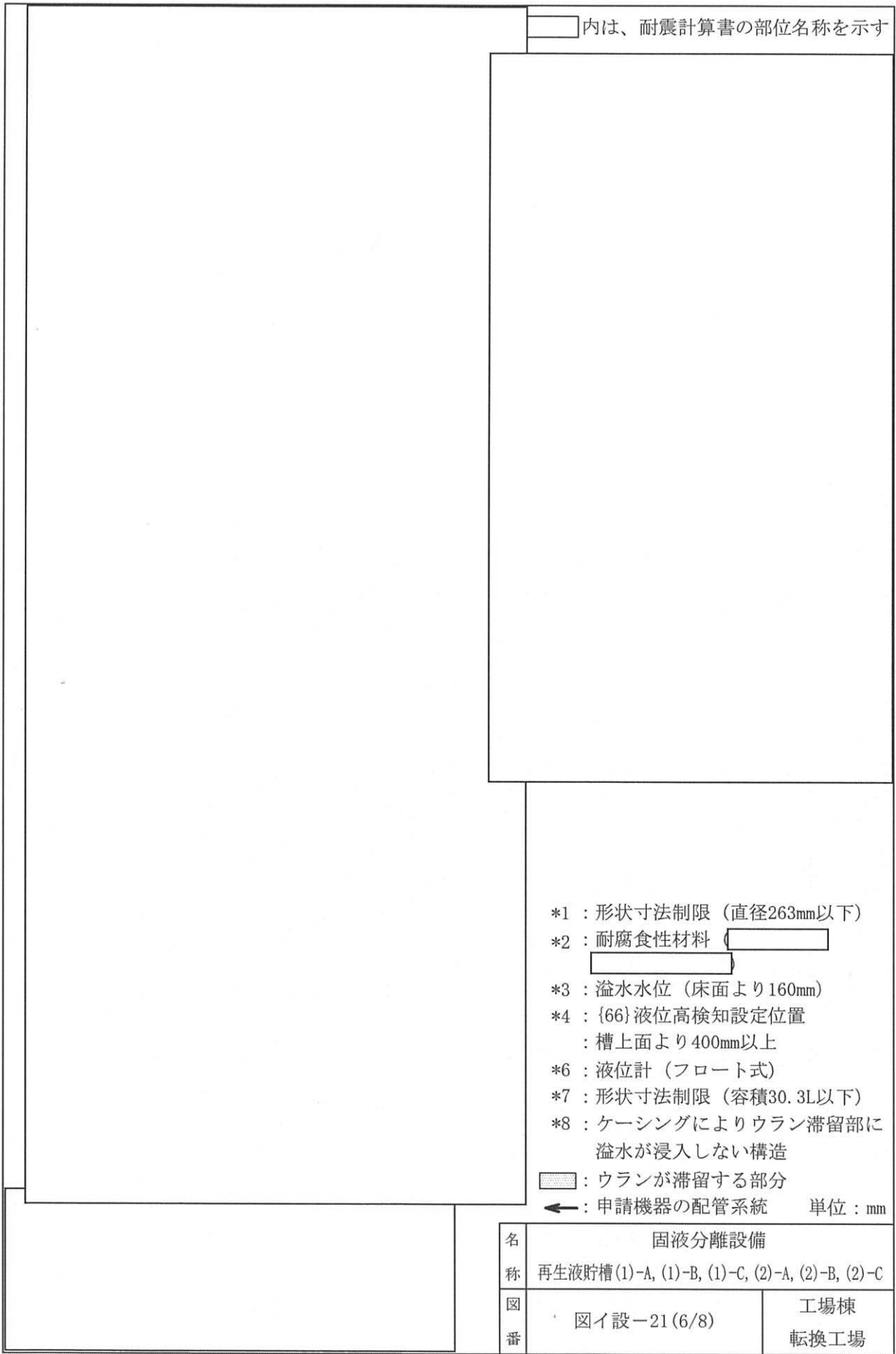
\*7 : 形状寸法制限 (容積30.3L以下)

\*8 : ケーシングによりウラン滞留部に  
溢水が浸入しない構造

: ウランが滞留する部分

← : 申請機器の配管系統 単位 : mm


名	固液分離設備	
称	再生液貯槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (2)-A, (2)-B, (2)-C	
図	図イ設-21(5/8)	工場棟
番		転換工場

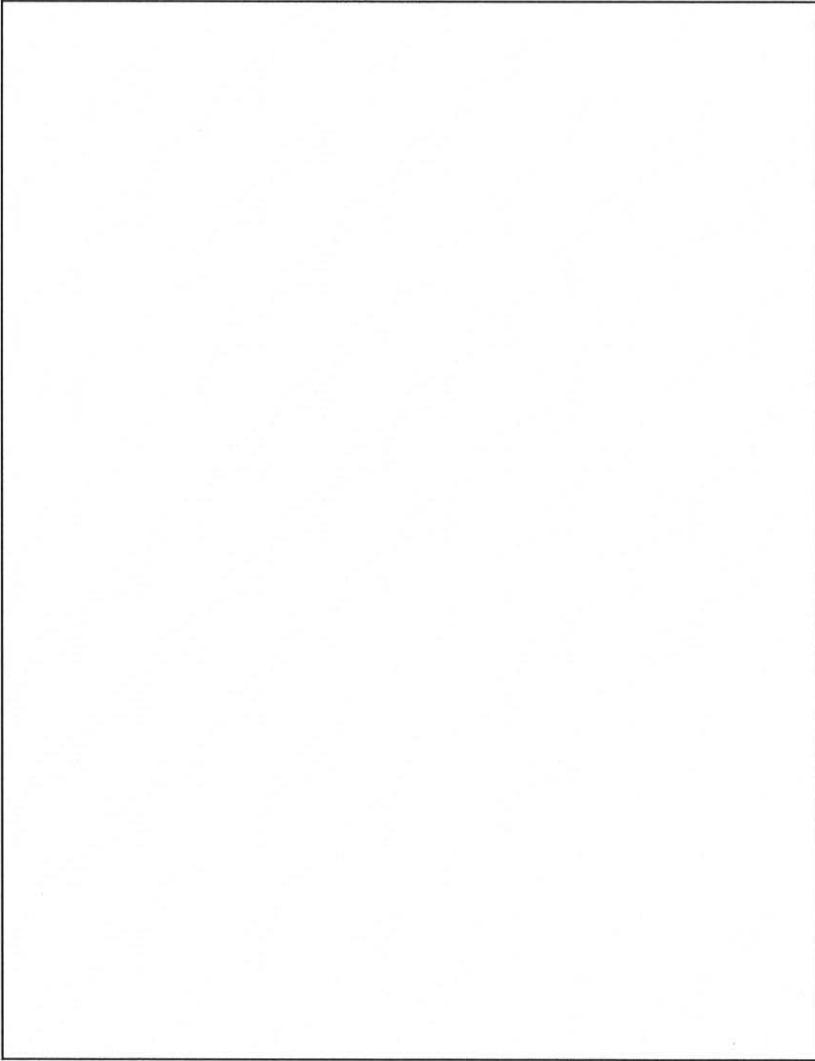



内は、耐震計算書の部位名称を示す

- \*1 : 形状寸法制限 (直径263mm以下)
- \*2 : 耐腐食性材料
- \*3 : 溢水水位 (床面より160mm)
- \*4 : {66} 液位高検知設定位置  
: 槽上面より400mm以上
- \*6 : 液位計 (フロート式)
- \*7 : 形状寸法制限 (容積30.3L以下)
- \*8 : ケーシングによりウラン滞留部に  
溢水が浸入しない構造
- : ウランが滞留する部分
- ← : 申請機器の配管系統      単位 : mm

名	固液分離設備	
称	再生液貯槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (2)-A, (2)-B, (2)-C	
図	図イ設-21(6/8)	工場棟
番		転換工場

<p>*9 : 容積 0.44L以上</p> <p>*10 : 遮熱板から防護対象(PC)までの距離 及び判断基準は図イ設-133参照</p> <p> : 潤滑油を有する部位</p>		<p>単位 : mm</p>	
		<p>名称</p>	<p>固液分離設備</p>
<p>図番</p>	<p>図イ設-21(7/8)</p>	<p>工場棟</p>	<p>転換工場</p>



- \*9 : 容積 0.44L以上
- \*10 : 遮熱板から防護対象 (PC) までの距離  
及び判断基準は図イ設-133参照
-  : 潤滑油を有する部位

火災対策の説明図

単位 : mm

名	固液分離設備	
称	再生液貯槽(1)-A, (1)-B, (1)-C, (2)-A, (2)-B, (2)-C	
図	図イ設-21(8/8)	工場棟
番		転換工場